

取扱説明書 ハイブリッド デジタル ビデオ レコーダー

本製品を使用する前に取扱説明書をよくお読みのうえ、後から参照できるように保管してください。

モデル
LE5016/LE5008 シリーズ
LE4016/LE4008 シリーズ

1

安全上のご注意



注意

感電の危険あり
開けないでください



注意: 感電の危険を減らすため
カバー(バック)を取り除かないでください。
ユーザに役に立つものは中にありません。
修理はサービスマンにご依頼ください。



三角形の中に矢印の付いた稲妻せん光は、この製品内にある絶縁していない危険な電圧(人体に感電の恐れのある高電圧)があることのユーザへの警告です。



正三角内の感嘆符(!)は、この製品の重要な動作および保守(サービス)に対するユーザへの注意です。

FCC 警告: この機器は無線周波数のエネルギーを発生または使用しています。この機器を変更または修正すると修正が取扱説明書で明示的に承認されていない限り、有害な干渉の原因となる可能性があります。許可されていない変更または修正がなされるとユーザはこの機器を操作する権限を失います。

規制情報: FCC第15部

この機器はテストされ、FCC規則の第15部に従ってクラスA デジタル機器の制限に準拠していることが実証されています。これらの制限は機器が商業的環境で動作されたときに有害な干渉に対して合理的な保護を提供するように設計されています。

この機器は無線周波数のエネルギーを発生、使用、放射でき、取扱説明書に従って設置、使用されなければ無線通信に有害な干渉を起こす可能性があります。この機器を居住地区で動作させると有害な干渉の原因となる可能性があり、その場合ユーザは自身の費用で干渉を修正することが要求されます。

- この製品のエンドユーザにおけるケーブル入力部で適切な入力導管、ノックアウト、またはグラウンドを備え付ける必要があります。
- 注意:** 電池が不適正に交換されると爆発の危険があります。メーカーによって推奨された同一または等価なタイプの電池と交換してください。メーカーの指示に従って使用済の電池を廃棄してください。
- 絶縁ワイヤが通過している金属の孔はスムーズな、丸い表面を備えるかまたはブッシングを備えている必要があります。

警告: この機器を本棚または類似の閉じられた空間に設置しないでください。

警告: 配線方法はNEC コード ANSI/NFPA 70に従ってください。

警告: これはクラスA製品です。家庭環境ではこの製品は無線干渉の原因となる可能性があり、その場合、ユーザは適切な手段を講じることが要求されます。

警告: 火災または電気ショックの危険を小さくするためにこの製品を雨または湿気にさらさないで下さい。

注意: この設置は資格のあるサービスマンによって成され、全てのローカルな規則に従う必要があります。

注意: 電氣的ショックを避けるためにキャビネットを開けないでください。サービスは資格のある人だけに依頼してください。

注意: 機器は水にさらさないようにし(水滴または、はね水)、液体の入った花瓶などを機器の上に置かないでください。

注意:

この製品にはレーザー システムが使われています。この製品を正しく使用するために、このマニュアルを良く読んでください、また将来参考にするために、このマニュアルは保管しておいてください。製品のメンテナンスが必要になったら、正規のサービス センターのご連絡ください。ここに指定された以外の、操作、調整あるいは手順を行った場合には、危険な放射線に曝されることがあります。直接、レーザー光線を受けることがないように、容器を開けようとししないでください。容器を開けると可視レーザー光線に曝されます。ビームをのぞき込まないでください。

本機器は主電源プラグを遮断装置として使用しております。機器は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置へ容易に手が届くようにして下さい。

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
V C C I-A

製品から安全に乾電池または電池パックを取り出す方法:

古い乾電池または電池パックを取り外す場合は、取り付けた時と逆の順序で行ってください。環境汚染を防止し、人や動物の健康への脅威を引き起こさないために、古い乾電池または電池パックを適切な容器に入れ、指定の収集場所に置いてください。乾電池や電池パックを他の廃棄物と一緒に処理しないでください。お住まいの地域の、乾電池や蓄電池の無料償還制度をご利用になることをお勧めします。火の近くや日光が当たる場所など、極度な高温になる場所に電池を置かないでください。

重要な安全上の注意

1. 以下の指示をお読みください。
2. 以下の指示に従ってください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 水のまわりでは、この装置を使用しないでください。
6. 清掃は乾燥した布だけを使ってください。
7. 換気口を塞がないでください。マニュアルの指示に従って設置してください。
8. ラジエータ、熱レジスタ、ストーブなどの熱源(アンプを含む)の近くにこの製品を置かないでください。
9. 極性またはアースのあるプラグの安全使用に違反しないでください。極性のあるプラグはブレードが2つあり、一つは他より広いです。アース型のプラグは二つのブレードと三番目の突起があります。広いブレードまたは三番目の突起が安全に寄与します。提供されたプラグがコンセントに合わない場合、その旧式コンセントの置換を電気技術者に相談してください。
10. 電源コードの上を歩いたり、とくにプラグ、ソケットおよびこの製品から出ている部分を挟んだりしないよう保護してください。
11. メーカーが指定する付属品/アクセサリだけを使用してください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルはメーカーが指定したものまたはこのデジタル・ビデオ・レコーダと共に販売されたものだけ使用してください。カートを使用するとき、移動でひっくり返してこの製品を破損しないよう注意してください。



13. 雷があつたり長い期間この製品を使用しない場合プラグを抜いてください。
14. すべての修理と保守は資格のあるサービスマンに依頼してください。この製品が故障したり、電源コードまたはプラグが傷ついたり、液体をこぼしたり、物体がこの製品上に落ちたり、雨や湿気にこの製品がさらされたり、正常に動作しないときに、修理または保守を依頼してください。

安全警告および注意

1

以下にユーザの安全とあらゆる財物損害の防止のための警告と注意を記しています。すべてをお読みください。

警告

- システムの設置前に電源をオフにします。同一のコンセントに複数の電気装置のプラグを差し込まないでください。
 - 過熱、火災、または感電の原因になります。
- 水、コーヒーなどの飲料の液体容器をシステム上に置かないでください。
 - 液体がシステムにかかると、システムが故障したり火災の原因になります。
- 電源コードをひどく曲げたり、重い物体を載せないでください。
 - これにより火災を起こすことがあります。
- システム周りから塵と埃を定期的に払ってください。システムを清掃するとき、常に乾燥した布を使用してください。濡れた布や有機溶剤を使用しないでください。
 - これはシステムの表面を損ない、システム故障や感電の原因になります。
- 湿気、塵、またはすすがある場所は避けてください。
 - それらが火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードをプラグから抜くとき、穏やかに引っ張ってください。濡れた手でプラグに触れないでください。コンセントの穴が緩すぎる場合そのプラグの使用を避けてください。
 - これにより火災や感電を起こすことがあります。
- システムをご自分で分解、修理、改変を行わないでください。これはシステムに高電圧があるため極めて危険です。
 - これにより火災や感電を起こしたり重大故障の原因になることがあります。
- 湿った床、電源コードがゆるいまたは傷ついている、設置台が不安定などの危険の兆候をチェックしてください。問題が生じたら、ディーラに助力をご依頼ください。
 - これにより火災や感電を起こすことがあります。
- システムの背面とシステムに接続するコードのある壁の間に少なくとも15cmの余地をとってください。さもないとコードは曲がったり、破損したり、切断することがあります。
 - これにより火災、感電、または傷害が起きることがあります。
- システムを直射日光のない涼しい場所に設置し、室温に保持してください。蝋燭やヒータなどの熱を発するデバイスを避けてください。システムを大勢の人がいる場所から離してください。
 - これにより火災が起こることがあります。
- システムを十分に換気されている平らな面においてください。高所には置かないでください。
 - これによりシステムが破損したり重大故障を起こしたりすることがあります。
- 電源コンセントはアースをとり、電圧範囲は定格の10 % 以内にしなければなりません。コンセントはヘアー・ドライヤー、アイロン、冷蔵庫など熱を発する機器と共用しないでください。
 - これにより火災、過熱、感電の恐れがあります。
- システムの電池が劣化したら同一メーカー指定の同等電池と交換してください。劣化した電池はメーカー指定により破棄してください。
 - これにより爆発の恐れがあります。
- システムのHDDの寿命がきたら、HDD内に保存したデータを回復できないことがあります。システム・スクリーンの映像が、システムのHDD内に保存した録画を再生しているとき、「損傷」したように見えるときは、新品と交換してください。HDDの交換はディーラの技術者から助力を得てください。
 - LG Electronicsはユーザの不手際によるデータの消去に責任を負いません。

注意

DVRを設置する前に以下の注意に気をつけてください。

- 湿気、塵、または煤に触れる場所にこのデジタル・ビデオ・レコーダを置くのは避けてください。
- 直接日光が当たる所や暖房機器に近い場所に置くのは避けてください。
- この製品を感電が起こる場所や磁気物質から離してください。
- 換気グリルを経て伝導材料を置かないでください。
- システムの設置前に電源をオフにしておいてください。
- コード接続のため十分なスペースがあることを確認してください。
- 十分に換気されている固体表面にシステムを置いてください。振動する表面は避けてください。
- ラジオまたはTVなどの電子デバイスの近くにシステムを置くと、この製品が故障する原因になることがあります。
- LG Electronicsからの助力なしでこの製品を分解しないでください。
- システムに重い物体を置かないでください。
- いかなる物質もシステムへの侵入を防いでください。
 - これによりシステムが故障することがあります。
- 換気が十分にされている場所にシステムを取り付けてください。
 - システムの背面と壁間は少なくとも15cmの間隔をとり、システムの側面と壁間は少なくとも5cmの間隔をとってください。
- 強い磁気、電気波、ラジオやTVなどの無線デバイスがある場所にシステムを設置しないでください。
 - 磁気物体、電気周波、振動のない場所にシステムを設置してください。
- システムに重い物体を置かないでください。
 - これによりシステムが故障することがあります。
- システムを安定した水平な表面に設置してください。
 - システムが正常に動作しないことがあります。
- システムを適度な湿気と温度の場所に設置してください。
 - 高温(40℃以上)と低温(0℃以下)でのシステムの設置は避けてください。
- システムは強い衝撃や振動で損なうことがあります。システムの周辺で物体を投げないでください。
- 直射日光や加熱機器を避けてください。
 - 推奨動作温度は0℃ (32°F)以上です。
- システム動作室を換気し、システムのカバーをしっかりときつく締めてください。
 - システムの故障は不適当な環境により起こることがあります。安定した電源供給にはAVR (自動電圧調整器)の使用を推奨します。電磁妨害を避けるためシステムのコネクタの周りにコア・フェライトを巻くことを推奨します。
- コンセントにはアースを取らなければなりません。
- 異音または異臭がしたら、電源コードのプラグをすぐに抜き、サービス・センタに連絡してください。
 - これにより火災や感電を起こすことがあります。
- 安定したシステム動作を維持するため、システムはサービス・センタにより定期的に点検してもらってください。
 - LG Electronicsはユーザの不手際に起因するシステムの故障に責任を持ちません。
 - 電池を不適当なタイプと交換すると爆発の危険があります。指示に従って使用済み電池を捨ててください。
- この製品を使用中に転倒させないでください。

目次

1 安全上のご注意

- 3 重要な安全上の注意

2 準備

- 8 始めに
 - 8 機能
 - 8 アクセサリ
- 9 前面パネル
- 11 背面パネル
- 12 リモート・コントロール

3 インストール

- 13 接続
 - 13 注意
 - 13 基本的な接続の概要
 - 14 カメラを接続する
 - 14 ディスプレイ機器への接続
 - 14 オーディオ機器を接続する
 - 15 USBデバイスの接続
 - 15 ATM/POS を接続する
 - 16 ネットワークを接続する
 - 16 RS-485デバイスの接続
 - 17 アラーム入力とアラーム出力を接続する
- 18 HDD のインストール
 - 18 ハードディスクドライブに関するご注意
 - 18 ハード・ディスク・ドライブのインストール
 - 19 ハード・ディスク・ドライブの交換
 - 19 推奨HDD
- 19 システムの操作
- 19 システムのシャット・ダウン
- 20 メイン・モニタのライブ・スクリーンの概要
 - 20 メイン・モニタ・スクリーン
 - 21 メインモニター画面のモードを選択する
 - 22 スポットモニター画面のモードを選択する
 - 22 PTZカメラ制御
 - 24 システム情報の表示
 - 24 システム・ログ・リストの表示
- 26 構築メニュー

- 27 システムの設定
 - 27 特性
 - 27 ネットワーク
 - 28 ネットワークストリーミング
 - 28 ダイナミックDNS
 - 28 日付/時間
 - 29 NTP
 - 29 コントローラ
 - 29 アップデート
 - 30 バックアップ
- 31 デバイスの設定
 - 31 カメラ
 - 31 PTZ
 - 32 IP カメラ
 - 32 ATM/POS
 - 33 ストレージ
- 33 ディスプレイの設定
 - 33 スクリーン表示
 - 33 シーケンス
 - 34 チャンネル構成
 - 34 映像調整
- 34 録画設定
 - 34 スケジュール
 - 34 週間の1日録画スケジュールの設定
 - 36 録画スケジュールのコピー
 - 36 ノーマル
 - 36 センサー
 - 37 モーション
 - 37 テキスト
 - 37 インスタント/パニック
 - 38 IP カメラ
- 38 イベント設定
 - 38 センサー
 - 38 モーション
 - 39 ATM/POSデータフォーマット
 - 39 イベント ポップアップ
 - 39 通知
 - 40 メール
 - 40 緊急通報
 - 40 出力
 - 41 ブザー
- 41 ユーザ設定
 - 41 グループ権限

4 操作

- 43 インスタント録画
- 43 パニック録画
- 44 簡単再生

44	検索と再生	78	録画タイム・テーブル(250GB HDD)
44	日時の検索	81	仕様
44	イベント サーチ		
45	ブックマーク サーチ		
45	ATM/POS 検索		
46	エクスポート検索		
47	再生中に使用可能な機能		

5 LG Network Client プログラム

48	ご使用の前に
48	推奨PC仕様
48	プログラムのインストールを行う前に
48	はじめに
48	お持ちの PC に LG Network Client をインストールする
48	LG Network Client を使用する
49	LG Network Client の概要
51	操作と設定
51	サイト名またはグループ名の登録
51	DVR への接続
52	グループデバイスの接続
52	サイト名またはグループ名の切断
52	ライブ機能を使用する
55	検索機能を使用する
56	リモート設定機能を使用する
61	エクスポート機能を使用する
62	E マップ機能を使用する
63	追加プログラム
63	緊急エージェント・プログラム
64	エクスポート・ビューア・プログラム
65	ウェブ ビューアー プログラム

6 トラブルシューティング

7 補足説明

69	推奨デバイス
69	推奨 USB メモリー
69	推奨外部機器
69	推奨 CD/DVD メディア
70	デバイスに対してサポートされている機能のリスト
70	サポートされているPTZカメラのリスト
71	タイム ゾーン
72	工場初期構成の設定

2 準備

始めに

モデルLE5016D(16チャンネル)はこの操作ガイドの記述、操作および詳細に使用されます。

機能




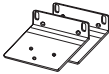
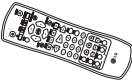


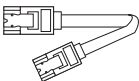
- 安定な組込みLinuxオペレーティング・システム。
- ファイル・システムのジャーナル処理による電源回復後のHDDファイル・システムの回復。
- H.264圧縮による小さなファイル・サイズ。
- 内部記憶容量は最大4TBまで拡張可能です(新HDD使用により)。
- NTSCとPALビデオ・フォーマットが選択可能。
- 完全なリアルタイム録画。

NTSC	最大 480 IPS @ 704x480, LE5016 シリーズ 最大 240 IPS @ 704x480, LE5008 シリーズ 最大 480 IPS @ 352x240, LE4016 シリーズ 最大 240 IPS @ 352x240, LE4008 シリーズ
PAL	最大 400 IPS @ 704x576, LE5016 シリーズ 最大 200 IPS @ 704x576, LE5008 シリーズ 最大 400 IPS @ 352x288, LE4016 シリーズ 最大 200 IPS @ 352x288, LE4008 シリーズ

- 色々な録画解像度と画質レベル。
- | | |
|------|---|
| NTSC | D1(704x480), 半D1(704x240), CIF(352x240) |
| PAL | D1(704x576), 半D1(704x288), CIF(352x288) |
- 5ステップの画質レベル(最高、高、標準、低、最低)
 - 色々なユーザ・インターフェースとユーザ・フレンドリなGUIを用いて容易な操作。
 - 光学マウス、完全な機能IRリモート・コントロール、揺れ/シャトル
 - 強力なマルチプレックス機能
 - 同時ライブ表示、録画、再生、ネットワーク転送、バックアップ
 - 色々な検索機能
 - 日付/時間検索(カレンダー・サーチ)、イベント検索、ブックマーク検索
 - イベント・パーティション録画によるイベント・データ保護
 - プリ・アラーム録画(最長1分)
 - モーション・イベント録画およびモーション感度のプレビュー試験機能
 - 画像録画速度とカメラごとの画質調節
 - 強力な録画スケジューリング。

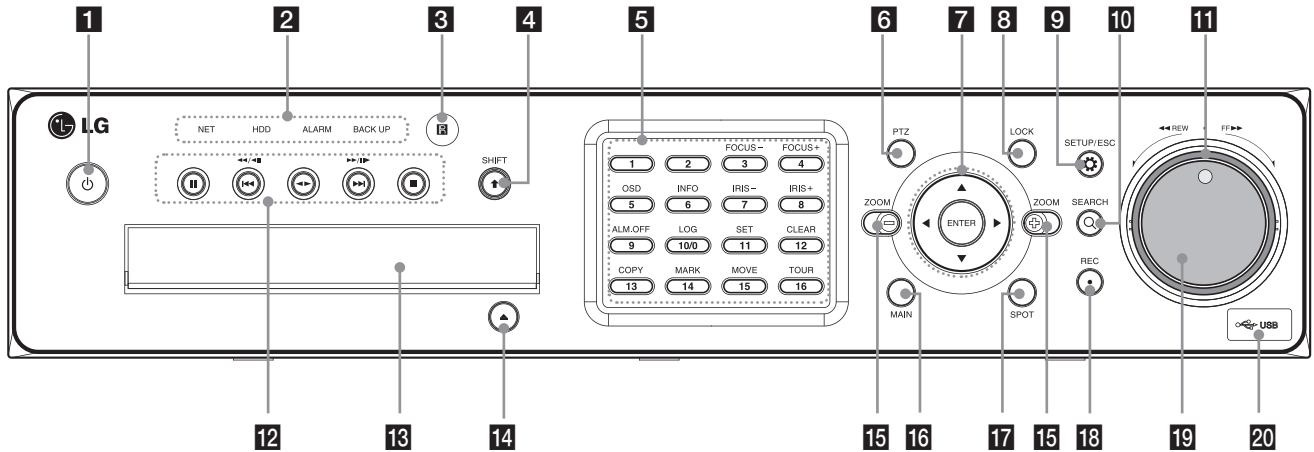
- ライブモードでの簡単再生。
- オーディオとビデオの完全な同期
- スケジュールによる自動バックアップ
- 画像確認(透かし)
- バックアップ・インターフェース用USB 2.0ポート×3
- USB メモリースティックを使用しての設定情報のエクスポートとインポート。
- USB メモリースティックでのシステムの簡単なソフトウェア更新。
- クライアントS/Wは最大100 DVRサーバ管理可能
- 最大5クライアントが1つのDVRサーバに同時アクセス可能
- ネットワーク帯域幅スロット
 - この装置のネットワーク速度の状態により自動帯域幅調節
- クライアント・ソフトウェアまたは電子メールによるリモート・アラームの通知
- NTPサーバから時刻と日付の同期
- デイライト調整モード
- カメラ非表示機能
- Gigabit Ethernet 対応。
- E-SATA ストレージインターフェース。
- 双方向オーディオ。
- ATM および POS 機器用へのテキスト入力。
- ユーザ管理(ユーザ・レベル制御)
- PTZ制御。
 - ドーム・カメラ・テレメトリ制御(ドームOSD制御)

アクセサリ

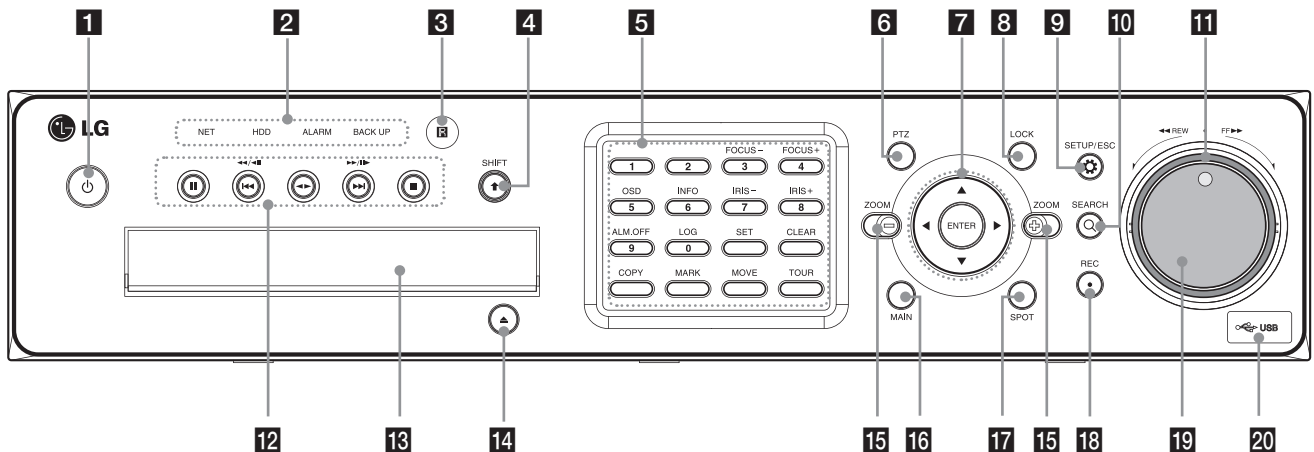
ソフトウェア・インストールCD		ネジ	
マウス		ラック・マウント・ブラケット	
リモート・コントロール		電源プラグ	
単4乾電池		電源プラグ	

前面パネル

LE5016/LE4016 シリーズ機器の前面



LE5008/LE4008 シリーズ機器の前面



- 1** 電源: DVRの電源をオン/オフします。オン/オフには2秒以上押し続けます。
- 2** インジケータ
 - ・ NET: ネットワークが接続しているとき点灯します。
 - ・ HDD: HDDがアクセスするとき点滅します。
 - ・ アラーム: アラームが出ているとき点灯します。
 - ・ バックアップ: データのバックアップ中に点灯します。
- 3** リモート・センサー: レコーダのリモート・コントロールをここに指します。
- 4** SHIFT ボタン: チャンネル・ボタンの補助機能を使用すると、このSHIFTボタンによりそのボタンがアクティブになります。
- 5** チャンネル・ボタン: チャンネル・ボタンに番号を入力できます。
サブ機能に対しては、SHIFTボタンと一緒にチャンネル ボタンを使用することもできます（8チャンネルDVRの11で16ボタンは、SHIFTボタンを使わずにサブ機能に使います）。
 - ・ ボタンのLEDは以下を示します。
 - オフ: ライブ モードの現在のステータス
 - 赤: 録画モード
 - イベントの発生で点滅します。

サブファンクション

ボタン番号	機能	内容
3/4	FOCUS - / FOCUS +	焦点位置を調節します。
5	OSD	システム制御バー(OSD)にアクセスするか、または削除します。
6	INFO	システム情報を表示するか削除します。
7/8	IRIS - / IRIS +	絞り位置を調節します。
9	ALM.OFF	アラーム起動を取り消し、システムをアラーム起動前の状態に戻します。
10/0	LOG	システム・ログ・リストを表示するか取り除きます。
11	SET	PTZカメラのプリセット位置を登録します。
12	CLEAR	記憶したプリセット位置を削除します。
13	COPY	外部デバイスに録画データをコピーします。
14	MARK	録画検索のためマーク・ポイントをセットします。
15	MOVE	カメラをプリセット位置に移動します。
16	TOUR	カメラのすべての登録プリセット位置を巡回します。

- 6

PTZ: このデジタル・ビデオ・レコーダをPTZモードに切替え接続PTZカメラを制御します。
- 7

矢印ボタン
 - ◀▶▲▼: メニューのオプションを選択するか移動します。
 - ENTER: メニューの選択を確認します。
- 8

LOCK: ユーザ形式を変更したりシステム操作を禁止するためロック・メニューを表示します。
- 9

SETUP/ESC: セットアップ・メニューを表示するか、その操作を取り消します。
- 10

SEARCH: 検索メニューを表示します。
- 11

シャトル・リング: ダイアルを回すと前方または後方に映像を高速検索します。
- 12

再生制御ボタン
 - ⏏: 再生中断。
 - ◀◀, ⏮/◀◀: 録画画像を逆方向に記録画像を検索するか、あるいは記録画像をスキップします。
 - ▶▶: 録画画像を再生または逆再生します。
 - ▶▶, ▶▶/⏭: 録画画像を前方に検索するか、または録画画像をスキップします。
 - : 再生停止
- 13

ディスクトレイ: ここにディスクを挿入します。
- 14

OPEN: ディスクトレイを開く、あるいは閉めます。
- 15

ZOOM +/-: 再生ウィンドウ上でズーム イン/アウト
- 16

MAIN: メインモニターの画面設定メニューを表示または消します。
- 17

SPOT: SPOT モニターの画面設定メニューを表示または消します。
- 18

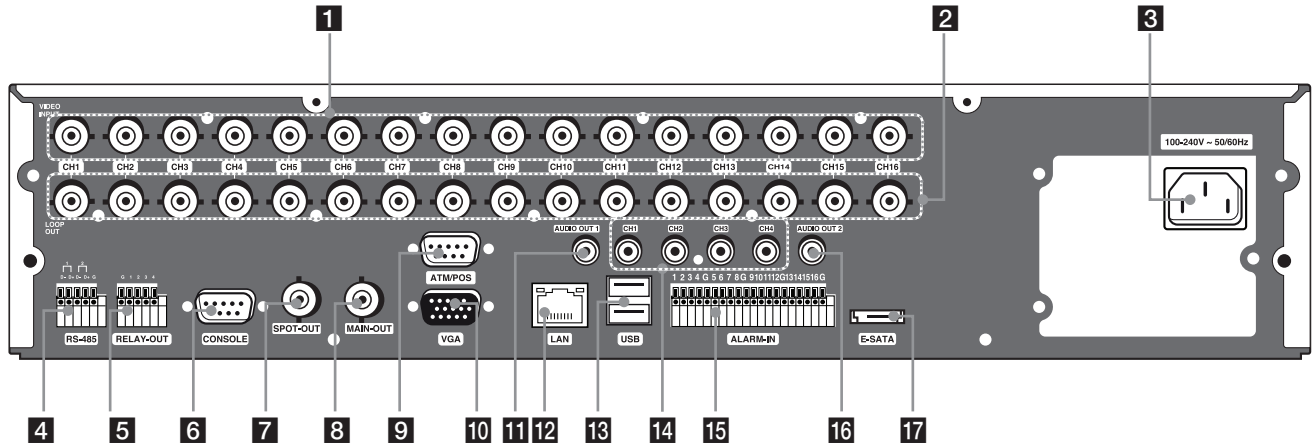
REC: インスタント録画を開始または停止します。
- 19

JOGダイアル: 前方または後方フレーム検索をします。中断モードでは、回すとフレームごとに録画フレームを再生します。オプションの値を増やしたり減らしたりします。
- 20

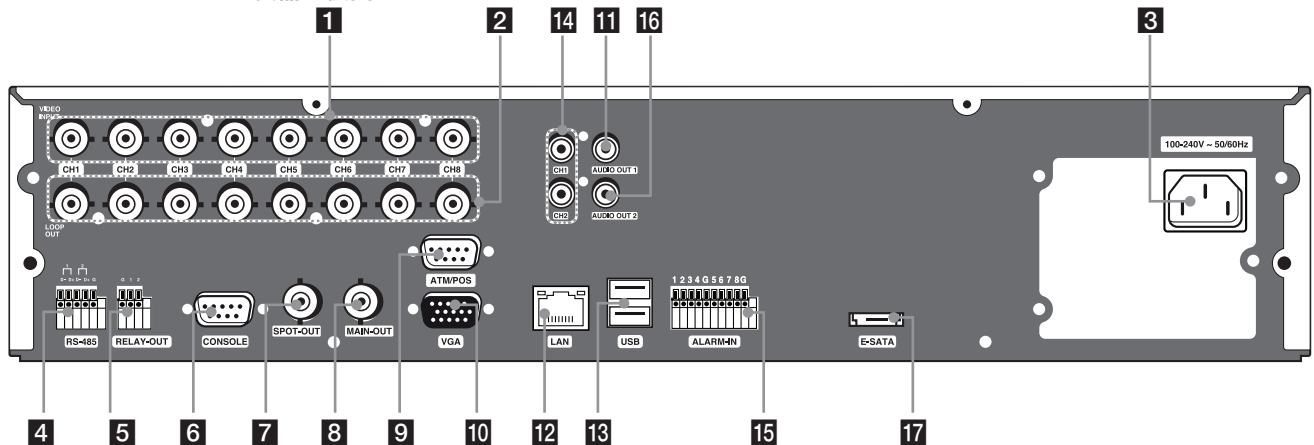
USBポート: バックアップまたは再生のため外部USBデバイスを接続します。

背面パネル

LE5016/LE4016 シリーズ機器の後面

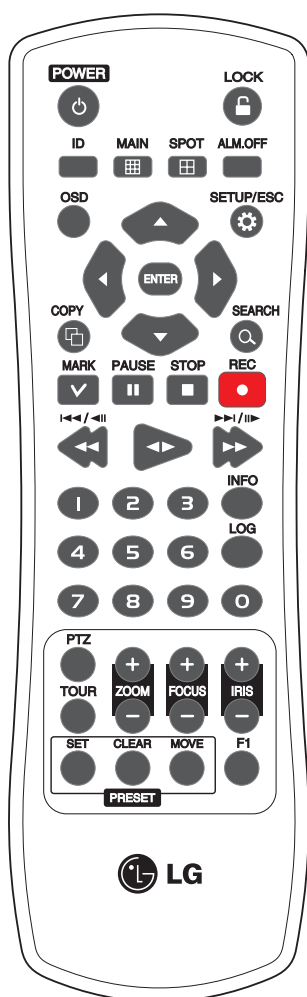


LE5008/LE4008 シリーズ機器の後面



- 1** VIDEO INPUT: これらのBNCコネクタにカメラのビデオ出力を接続します。
- 2** LOOP OUT: VIDEO INPUTコネクタからの信号はこのコネクタにループします。
- 3** 電源コード入口(AC IN): 電源プラグを接続します。
- 4** RS-485 ターミナル: RS-485互換カメラを接続します。
- 5** RELAY-OUT ターミナル: アラーム（リレー）信号に対する出力ターミナル
- 6** CONSOLE: RS-232Cコネクタ(パソコンなど)を備えているホスト・デバイス(パソコンなど)への接続に使用します。
- 7** SPOT-OUT (BNC形コネクタ): スポット・モニタまたは表示デバイスに接続します。
- 8** MAIN-OUT (BNC形コネクタ): メイン・モニタまたは表示デバイスに接続します。
- 9** ATM/POS: ATM/ POS 機器への接続に使用
- 10** VGA: VGAモニタを接続します。
- 11** AUDIO OUT 1: アンプ内蔵アクティブスピーカーへの接続。
- 12** LANポート: PCネットワーク経由でこのデジタル・ビデオ・レコーダを制御するために、イーサネット 10/100/1000 Mbpsネットワーク・ケーブルをこのポートに接続します。
- 13** USBポート: オプションの拡張USBデバイスを接続します。
- 14** AUDIO INPUT: 外部デバイスのオーディオ出力を接続します。
- 15** ALARM-IN ターミナル: アラーム（リレー）信号に対する入力ターミナル
- 16** AUDIO OUT 2: アンプ内蔵アクティブスピーカーへの接続。双方向オーディオの出力。
- 17** E-SATA: 外付け SATA デバイスの接続。

リモート・コントロール



ボタン	内容
POWER (⏻)	DVRをオン/オフします。
LOCK	ユーザ・タイプの変更またはシステム動作を無効にするためロック・メニューを表示します。
ID	複数のDVRを使用する場合、IRリモート・コントローラを使って操作するために、DVRの適切なシステムIDを設定します。 IDボタンを押し、つぎに2秒以内に番号ボタンを押しDVRのシステムIDを選びます。 システムIDを「0」にセットしたら、同時にマルチDVRを制御できます。
MAIN	メインモニターの画面設定メニューを表示または消します。
SPOT	SPOT モニターの画面設定メニューを表示または消します。
ALM.OFF	アラーム起動を取り消し、システムをアラーム始動前の状態に戻します。
OSD	システム制御バーにアクセスするか、または削除します。
SETUP/ESC	セットアップ・メニューを表示するか、またはセットアップ・メニューの操作を取り消します。
◀▶▲▼	メニューのオプションの間を移動したり、オプションを選択したりします。
ENTER	メニューの選択を入力します。
COPY	外部デバイスに録画データをコピーします。
SEARCH	検索メニューを表示します。
MARK	録画検索のためマーク・ポイントをセットします。シングルまたはマルチチャンネルの録画データの再生中に、マークポイントを設定することができます。
PAUSE (⏸)	再生を中断します。
STOP (■)	再生を停止します。
REC (●)	録画を開始または停止します。
◀◀, ◀◀/◀◀	録画画像を逆方向に記録画像を検索するか、あるいは記録画像をスキップします。
◀▶	録画画像を順方向に再生するか、あるいは逆方向に再生します。
▶▶, ▶▶/▶▶	録画画像を前方に検索するか、または録画画像をスキップします。
番号ボタン	PTZプリセット番号、IDまたはチャンネルを選択します。
INFO	システム情報ウィンドウを表示するか、または削除します。
LOG	システム・ログ・リストのウィンドウを表示するか、または削除します。
PTZ	このデジタル・ビデオ・レコーダをPTZモードに切替えて、接続されているPTZカメラを制御します。
TOUR	カメラのすべての登録プリセット位置を巡回します。
ZOOM +/-	再生ウィンドウ上でズーム イン/アウト
FOCUS +/-	カメラの焦点を調節します。
IRIS +/-	カメラの絞りを調節します。
SET	PTZカメラのプリセット位置を登録します。
CLEAR	記憶したプリセット位置を削除します。
MOVE	カメラをプリセット位置に移動します。
F1	このボタンは使用できません。

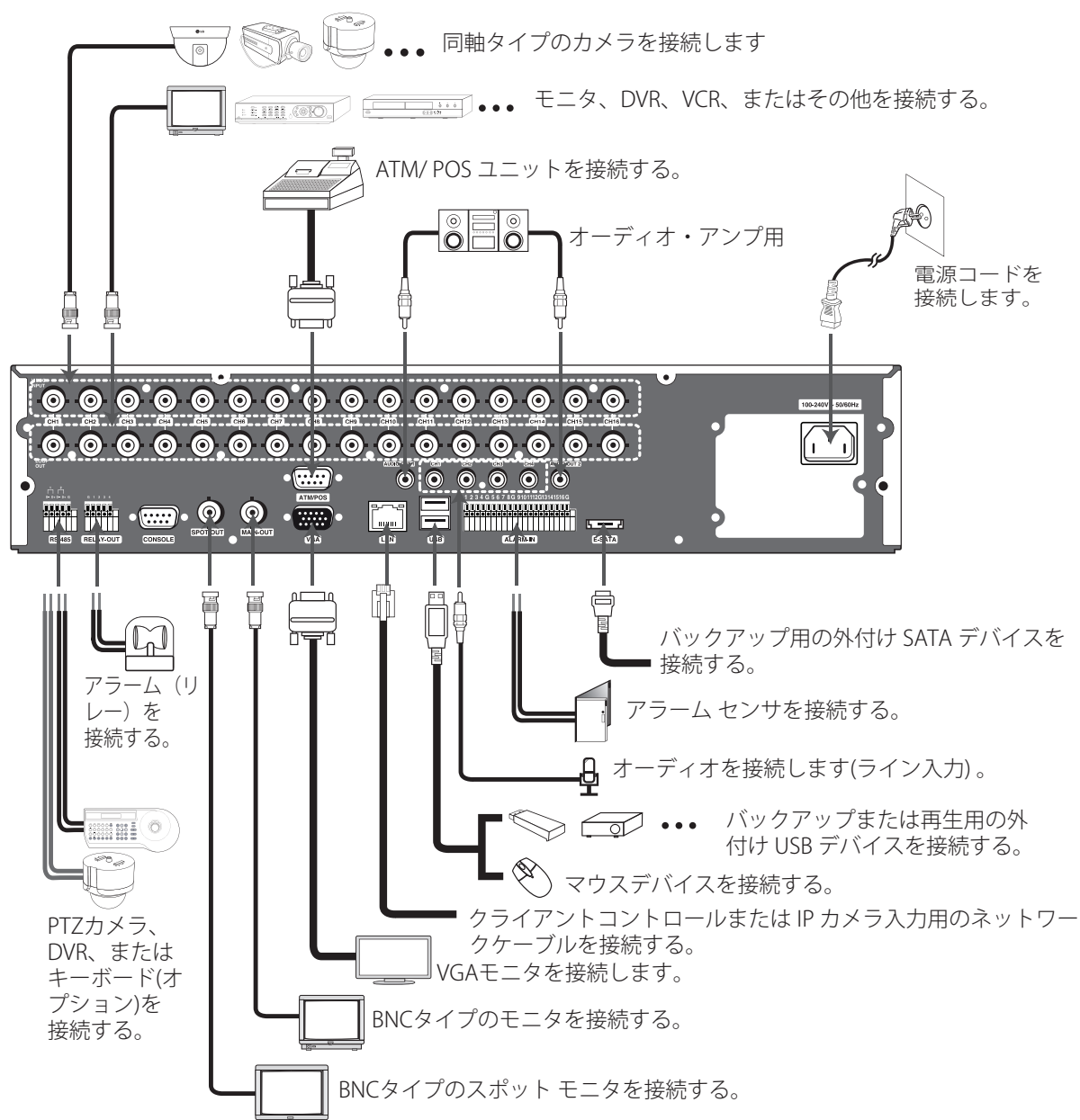
3 インストール

接続

注意

- このデジタル・ビデオ・レコーダは、色々な方式のカメラと他の機器に応じて、このデジタル・ビデオ・レコーダを接続できます。付加した接続情報については必要に応じてカメラまたはその他のデバイスのマニュアルを参照してください。
- インストールと接続前にはカメラをオフにすることを忘れないでください。

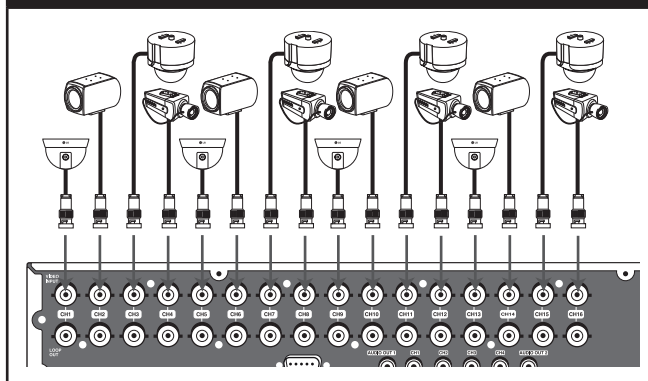
基本的な接続の概要



カメラを接続する

BNC 端子付き 75 Ω 標準ビデオ同軸ケーブルを使用して、お持ちのカメラの映像出力を本機に接続します。

カメラの接続



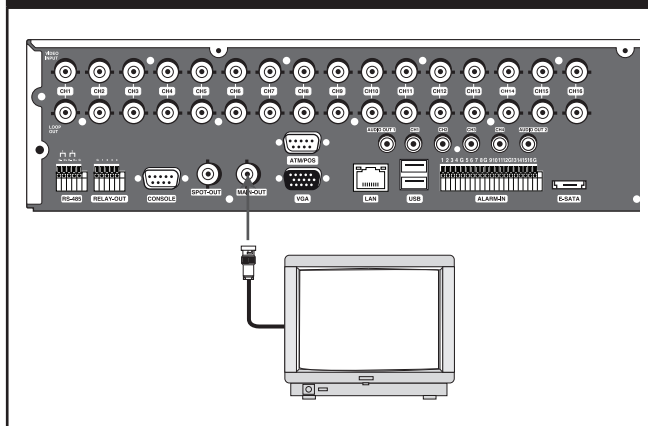
ディスプレイ機器への接続

本機を VGA 端子と MAIN OUT 端子から同時に出力することができます。DVR からのビデオ信号をモニタに接続します。

CCTV（コンポジットビデオ タイプ）モニターの接続

BNC 端子付き 75 Ω ビデオ同軸ケーブルを使用して、本機を CCTV モニターに接続します。

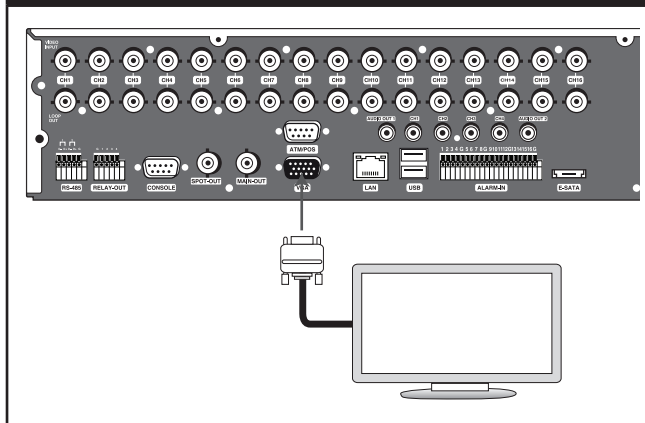
CCTV モニターの接続



VGA モニターの接続

VGA ケーブルを使用して、本機後面の VGA 端子をテレビまたはモニターの対応する入力端子に接続します。

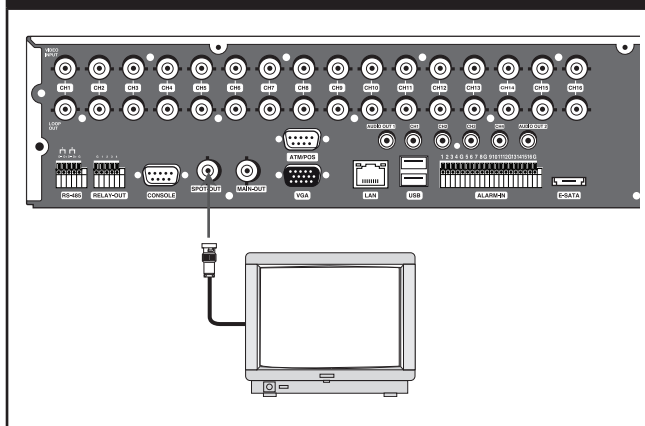
VGA モニターの接続



SPOT モニターの接続

BNC 端子付き 75 Ω ビデオ同軸ケーブルを使用して、本機を SPOT モニターに接続します。

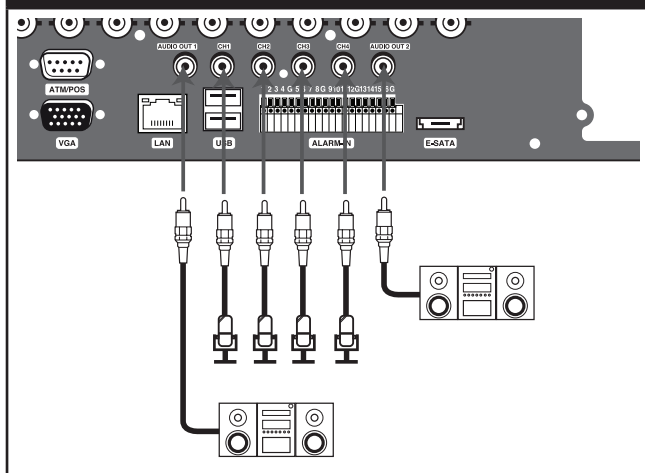
SPOT モニターの接続



オーディオ機器を接続する

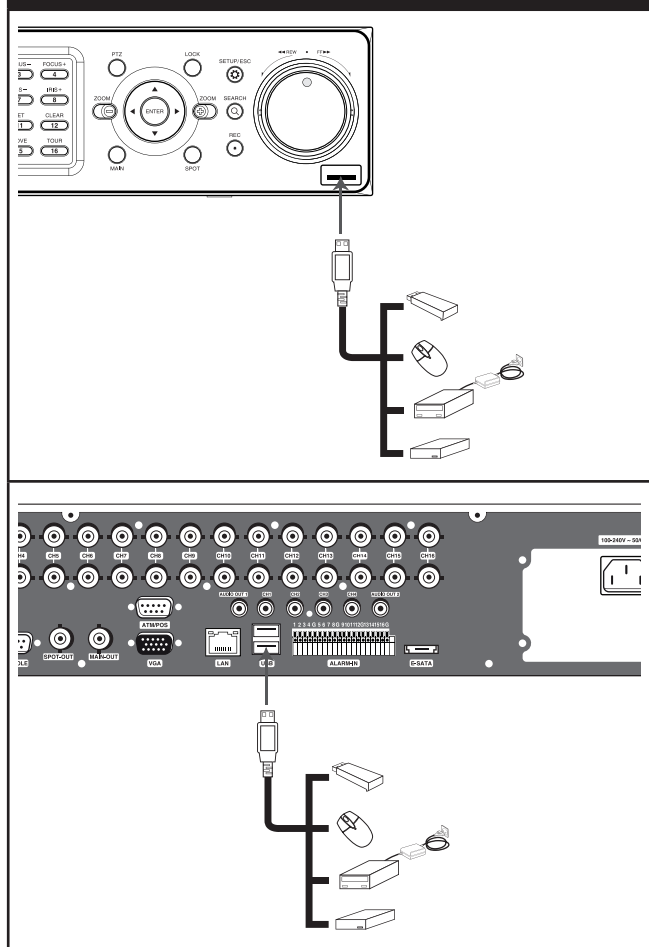
本機の音声出力端子を、使用しているオーディオ機器のモノラル音声入力端子に接続します。

マイクとスピーカーの接続



USBデバイスの接続

USB デバイスの接続



USBメモリ・デバイス

USBポートにメモリ・デバイスを挿入します。システムは自動的にデバイスを認識します。USBメモリ・デバイスを用いて、システム・ソフトウェアを容易にアップグレードできます。

外付け USB デバイス

外部機器を USB ポートに接続します。
(例：外付け HDD またはその他の外部ストレージ)

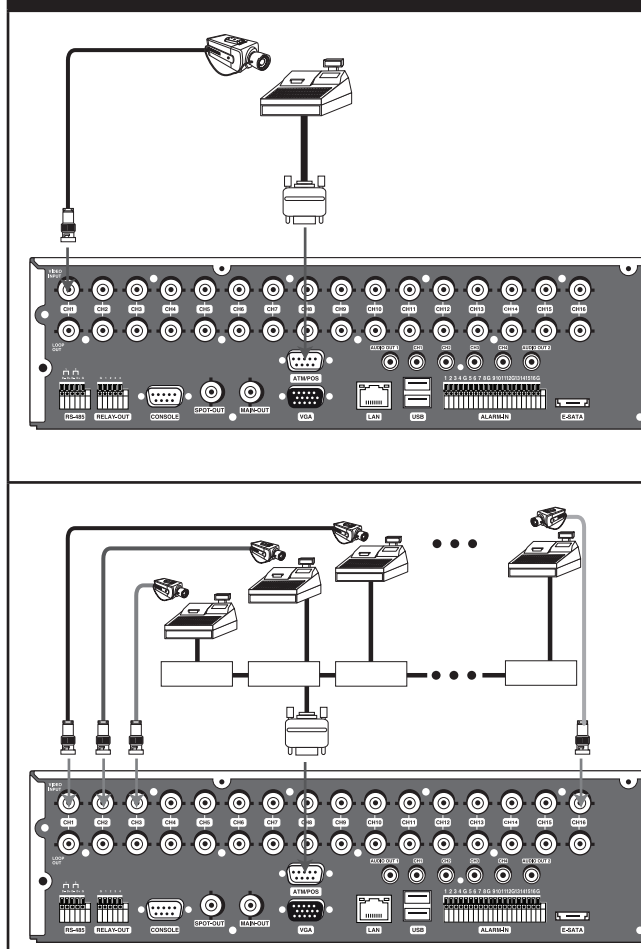
マウス

マウスを接続して本機を操作します。

ATM/POS を接続する

ATM/POS ユニットを ATM/POS ポートに接続します。

ATM/POS 機器の接続

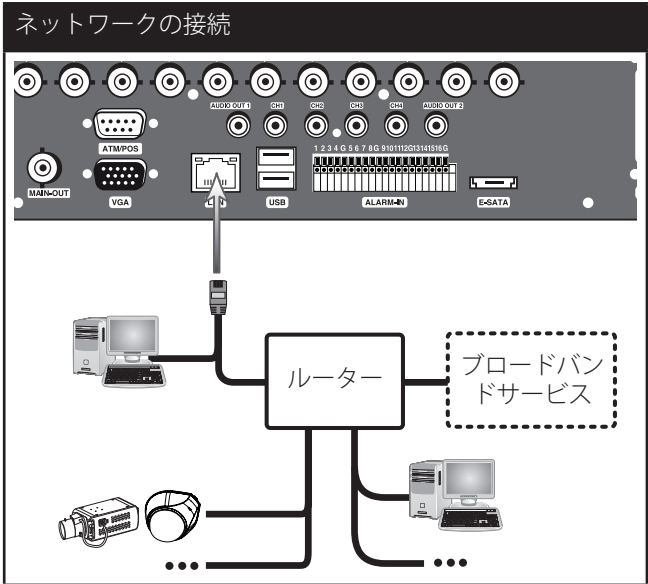


！ 注

- 以下のデバイスはテスト済みのため、互換性が保証されています。複数のATM/POS 機器を使用する場合は、推奨機器をご利用ください。
 - AVE 製品
 - VSI-PRO：映像シリアルインターフェース
 - Regcom：RS-485 ネットワーカ
 - Hydra：RS-485 から RS-232 へのコンバーター
- 設置や接続作業は、専門のサービス技術員、またはシステム設置者が行い、地域の規程のすべてに従ってください。

ネットワークを接続する

ネットワーク経由でシステムの操作や監視を行うことができます。リモコン（監視用）を使用して、ネットワーク経由でシステムの構成を変更したり、画像を監視したりすることができます。インストール完了後、リモコンと監視動作のネットワーク設定を確認してください。



LAN接続

まっすぐなイーサネット・コード(支給されない)を用い10/100/1000ベースTポートにLANポートを接続します。前面パネルのNETインジケータが点灯します。

IP カメラの接続

IP カメラを接続します。インストール完了後、設定メニューのIP カメラ設定を確認してください。

自動ネットワーク構成

DVRはDHCPを経て自動的にネットワーク・インターフェースを得て、構成できます。

手動ネットワーク構成

DVRは、IPアドレス、サブネット・マスク、ゲートエイ、DNSを割当てて手動で構成できます。

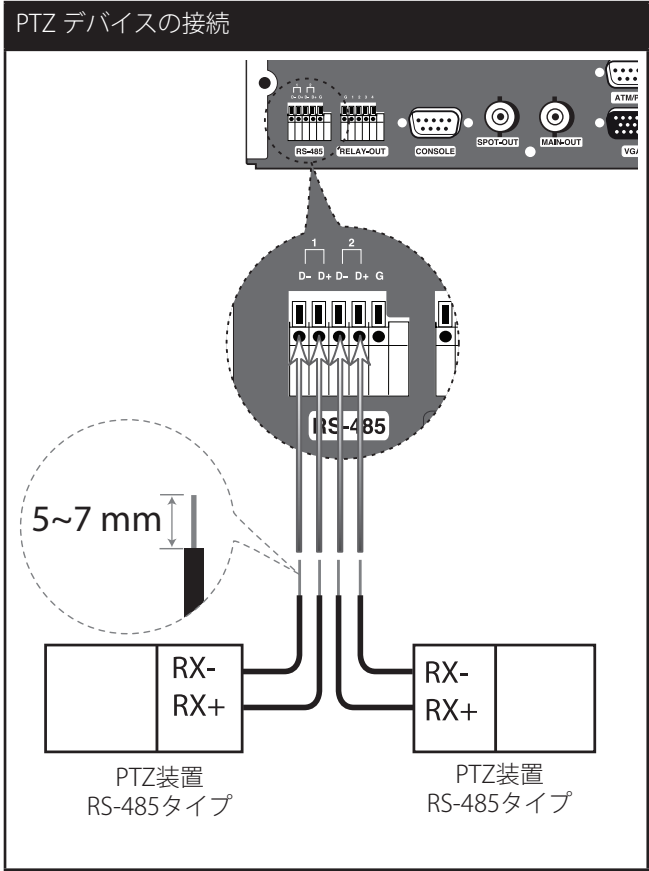
RS-485デバイスの接続

このDVRには2つのDATAターミナルがあります。PTZカメラ、DVRまたはキーパッド (オプション)を接続するのにこのポートを使用します。

RS-485ターミナル	内容
D - (DATA -)	データ転送/受信
D + (DATA +)	データ転送/受信
GND	シールド

PTZ デバイスを接続する

PTZシリアル通信ラインのRS-485ターミナルへの接続

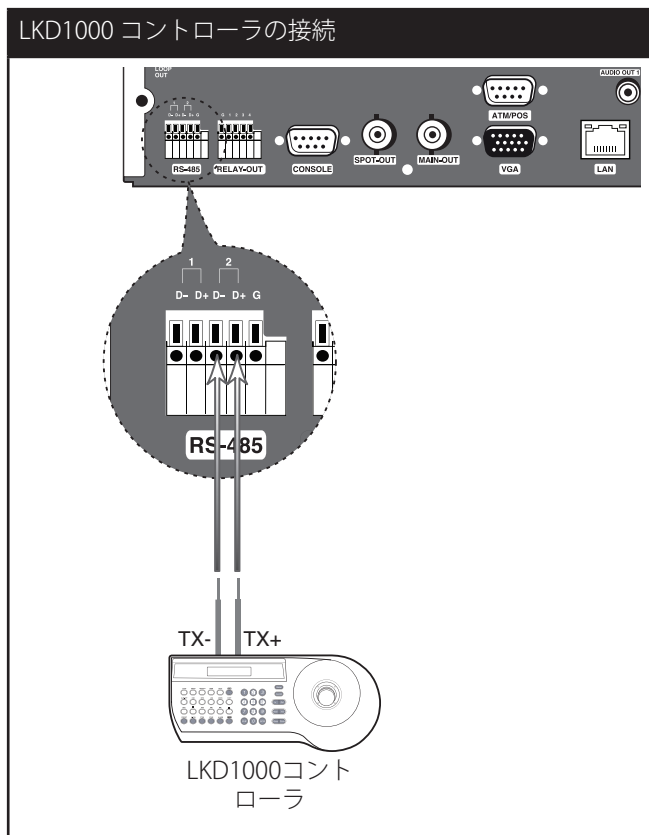


注

- ・ ラインを接続する時には、DVRの“D -” をPTZ装置のRX - へ、DVRの“D +” をPTZ装置のRX + へ正しく接続します。
- ・ 推奨初期データは9600ボー・レート、8データ・ビット、1ストップ・ビット、およびパリティ無しです。
- ・ PTZカメラをDVRに接続するとき、カメラとDVRのRS-485設定に従いこのデジタル・ビデオ・レコーダのSETUP MENUをセットすることが必要です。

LKD1000コントローラの接続

DVRコントロールのためのLKD1000コントローラの接続（詳細に関しては、LKD1000コントローラのマニュアルを参照してください）。図のようにLKD1000コントローラを2（データ2）端子に接続する必要があります。LKD1000コントローラを1（データ1）端子に接続すると、LKD1000コントローラは動作しません。



注

PTZ カメラと LKD1000 コントローラを同時に D1 または D2 端子に接続しないでください。故障の原因になることがあります。

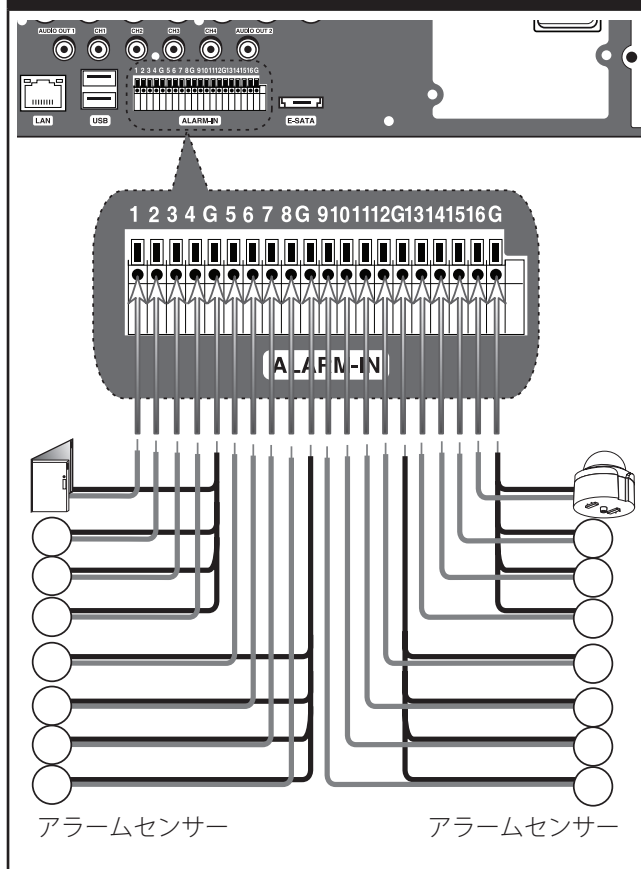
アラーム入力とアラーム出力を接続する

センサー、ドアスイッチなどのアラーム装置の接続にはアラーム・ターミナルを使用します。

アラーム入力

最大16個のアラーム センサを接続できます（LE5008/LE4008: 8個のアラーム センサ）。各アラーム・センサーは G (GND) に接続してください。信号状態はSETUP MENUでN/O (通常開) またはN/C (通常閉) に設定可能です。

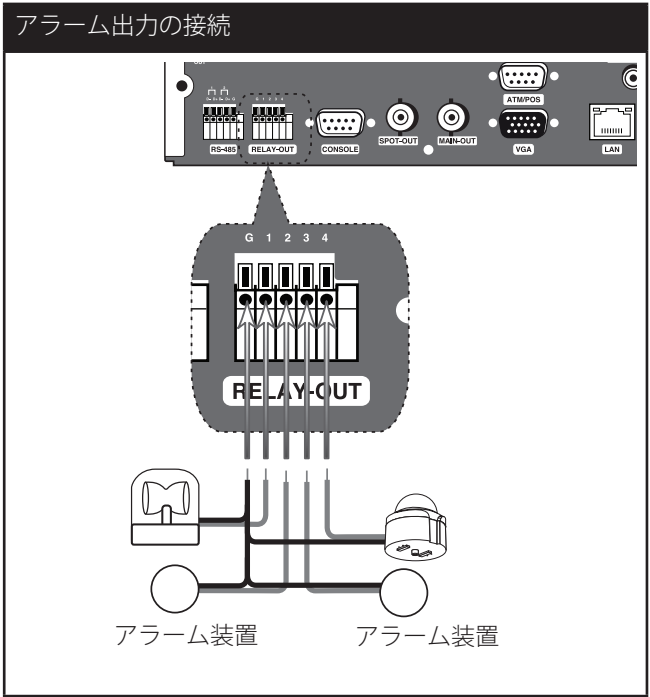
センサー入力の接続



ターミナル番号	内容
1	センサー入力 1
2	センサー入力 2
3	センサー入力 3
4	センサー入力 4
G	アース
5	センサー入力 5
6	センサー入力 6
7	センサー入力 7
8	センサー入力 8
G	アース
9	センサー入力 9
10	センサー入力 10
11	センサー入力 11
12	センサー入力 12
G	アース
13	センサー入力 13
14	センサー入力 14
15	センサー入力 15
16	センサー入力 16
G	アース

アラーム出力

アラーム装置をアラーム出力に接続します。アラーム信号はイベント発生で出力します。



ターミナル番号	内容
G	アース
1	アラーム出力 1
2	アラーム出力 2
3	アラーム出力 3
4	アラーム出力 4

！ 注
内部切換リレーの定格は125 V ACで0.3 Aまたは30 V DCで1 Aです。電流がそれより大きいと、デバイスは損傷することがあります。

HDD のインストール

ハードディスクドライブに関するご注意

内蔵ハード・ディスク・ドライブ(HDD)は壊れやすいデバイスです。HDD 障害に対して保護するために以下のガイドラインによりDVRを用いてください。当社は不測の損傷を防ぐため重要な録画を外部バックアップ・デバイスにバックアップすることを推奨します。

- HDDを接続したり取り外すときは電源がオフになっていることを確かめてください。
- 電源がオンのときはDVRを動かさないでください。
- 過度に熱かったり湿気のある場所や温度が急に変化する場所でDVRを使用しないでください。
急な温度変化によりDVRの中で凝縮が起こります。これはHDD 障害の原因になります。
- DVRの電源がオンのときは、コンセントからプラグを抜いたり、ブレーカで電源を切断しないでください。
- DVRがオンのとき電源を切ると、HDD内のデータが失われることがあります。
- HDDを落とさないでください。またHDDトレイに硬貨やドライバなどの金属を入れないでください。
- 録画中に電源が切れたときは、HDD追加、交換、持運びを避けてください。録画データが消えることがあります。この場合、電源切断の時に使用したHDDを接続したまま電源をオンにして通常どおり起動してください。それからHDD追加、交換、持運びを行ってください。
- HDDは非常に過敏です。HDDを注意して扱い、小さな衝撃でもHDD 内蔵部品を損なう恐れがあるため下記の注意して扱ってください。
 - 机やテーブルにHDDを直接置かないでください。小さい衝撃でHDD内の部品を傷つける恐れがあるのでHDD下に厚いクッションを敷いてください。
 - 電動ドライバを使用しないでください。電動ドライバにより起こされる振動と衝撃でHDD内の部品を損なうことがあります。
 - HDDを交換するとき、他のHDDやHDDトレイなどの他の部品でHDDを叩かないでください。
 - HDDを交換するとき、ドライバなどの道具でHDDを叩かないでください。
- ハード・ディスク・ドライブを静電気から保護してください。

ハード・ディスク・ドライブのインストール

- 最大、4台のHDDを取り付けることができます。
- 不適切なインストールやセットアップは、HDDの認識または通常の製品動作に支障を来す場合があります。その際は、お買上げ店舗の専門担当者にご相談ください。
- ねじを外した後、上ケースを滑らせて取り外します。
 - ねじを外し、この装置からハード・ディスク取付金具を取り外します。
 - ネジ（4本）を用いて、HDDをハードディスク取り付けブラケットに取り付けます。
 - ハードディスク取り付けブラケットをネジで取り付ける。

5. HDDの電源ケーブルを接続する。
6. SATA ケーブルを HDD に接続します。
7. SATAケーブルをメイン ボード上のSATAコネクタに接続する。
8. トップ ケースを組み立てます。
9. ねじを固定します。
10. 本機の電源を入れると、新規に接続された HDD は自動的に検出されフォーマットされます。

ハード・ディスク・ドライブの交換

この装置の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き外します。

1. [ハード・ディスク・ドライブの取付け]に記載されたステップ1で2に従ってください。
2. HDDからコネクタを抜きます。
3. ハード・ディスク取付金具の左/右側のハード・ディスク・ドライブからねじを抜きます。
4. ハード・ディスク取付金具からHDDを外します。
5. 新規に HDD をインストールします。
6. ハード・ディスク・ドライブ交換後、電源プラグをコンセントに挿入し、この装置の電源をオンにします。新規に接続された HDD は自動的に検出されフォーマットされます。

！ 注

- ・ SATAケーブルの各々が、孔を通してコネクタハウジングに接続されていることを確認してください。
- ・ それらを固定するのに電動ドライバを使用しないでください。

推奨HDD

以下のHDDは試験し、互換性を確認してあります。複数のHDDを接続するとき、推奨HDDを用いてください。

メーカー	RPM	容量	インターフェース	モデル番号
Seagate	7,200	500GB	SATA	ST3500410SV
	7,200	250GB		ST3250311SV

システムの操作

1. 本機の電源を入れます。システムが起動を開始します。システムの起動中には、LGロゴの画像がメイン・モニタに表示されます。
2. 起動が終わると、ライブウィンドウが表示されます。システムのコントロールバーのLOCKボタンをクリックするか、またはリモコンのLOCKボタンを押すと、ログインウィンドウが表示されます。
3. マウスまたは矢印キーを用いてユーザIDを選択し、次いでリモコンまたは前面パネルのENTERボタンを押します。最初は、管理者のユーザ名以外を選択することはできません。ユーザ設定メニューを利用して、各種アクセス権を設定した新規ユーザーを登録することができます。
4. 仮想キーボードを用いてパスワードを入力します。（管理者パスワードは初期状態で「000000」に設定されています。）
5. LOCKを押すか[OK]アイコンをクリックします。ライブ・スクリーンを見たり、システムを操作できます。

！ 注

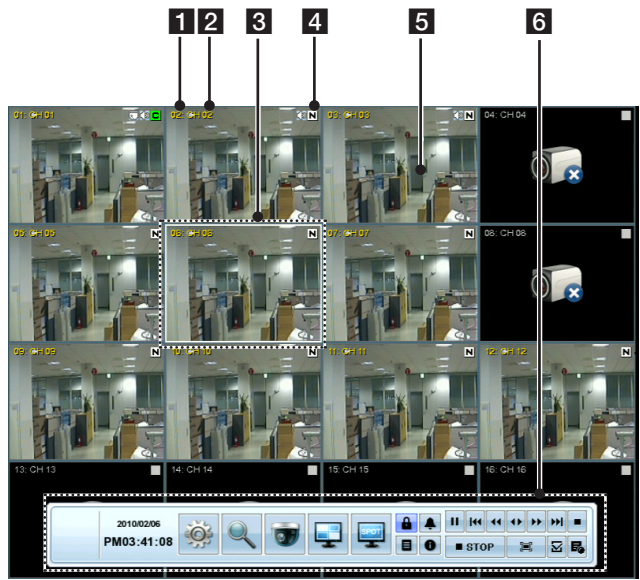
- ・ このDVRは、OSDを使用したVGAモニタをベースにしています。このDVRにはVGAモニタの使用を推奨します。コンボジットモニタを使用すると、OSDの読取り品質は低くなります。
- ・ DVRの電源が誤って切れてしまい再度電源を入れる場合は、DVRの再起動に時間がかかることがあります。

システムのシャット・ダウン

1. 最初に、再生を停止し、セットアップ・メニューから出なければなりません。再生では、STOPを押します。
2. ビープ音が鳴るまで(Power)ボタンを押し続けると、ログアウトウィンドウが表示されます。
3. 仮想キーボードを用いてパスワードを入力します。
4. LOCKを押すか[OK]アイコンをクリックします。システムが終了します。

メイン・モニタのライブ・スクリーンの概要

メイン・モニタ・スクリーン



1	チャンネル番号 チャンネル番号を表示します。
2	チャンネル番号 編集されたチャンネル名を表示します。
3	選択チャンネル 選択したチャンネルをは、白いボックスで表示されます。
4	カメラ状態のアイコン
	PTZカメラの状態を表示します。
	入力オーディオ状態を表示します。
	緑の“C”は連続録画を示します。
	緑の“I”はインスタント録画を示します。
	赤の“S”はセンサー・トリガーの録画を示します。
	青の“M”はモーション検出の録画を示します。
	白の“N”はそのチャンネルが録画されないことを示します。
	紫色の“T”は、テキストイベントの記録を示しています。

5 **ライブ・スクリーン**
現在の監視ライブ・スクリーンを表示します。

6	システム制御バー
	現在の日時を表示
	セットアップ・メニューを表示
	検索メニューを表示
	PTZリモート・コントロール・ウィンドウを表示
	メイン・モニタ上のライブ・スクリーンの概要
	スポット・モニタのスクリーン分割選択ウィンドウを表示
	ユーザ・タイプ変更またはシステム動作無効のためのロック・メニューを表示
	アラームをオフ
	システム・ログ・リストのウィンドウを表示
	システム情報のウィンドウを表示
	再生を中断
	同日に録画した現在のデータの最初にジャンプ
	スキャン速度を選択
	選択した録画チャンネルで簡単再生を開始します。録画データがない場合は、警告メッセージが表示されます。
	同日に録画した現在のデータの最後の1分にジャンプ
	再生を終了
	再生状態を表示

	<p>表示されている画像をキャプチャし、JPEG ファイル形式で保存することができます。キャプチャした画像を保存するには、外部機器を接続する必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 録画データを再生します。 2. 再生中に、希望するポイントで一時停止します。 3. ボタンをクリックします。デバイスを選択する画面が表示されます。 4. デバイスを選択して [OK] をクリックします。 5. JPEG ファイルを保存すると、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。
	再生中にマークしたいポイントをクリックします。最大15ポイントをマークできます。
	コピー(エクスポート)メニューを表示。

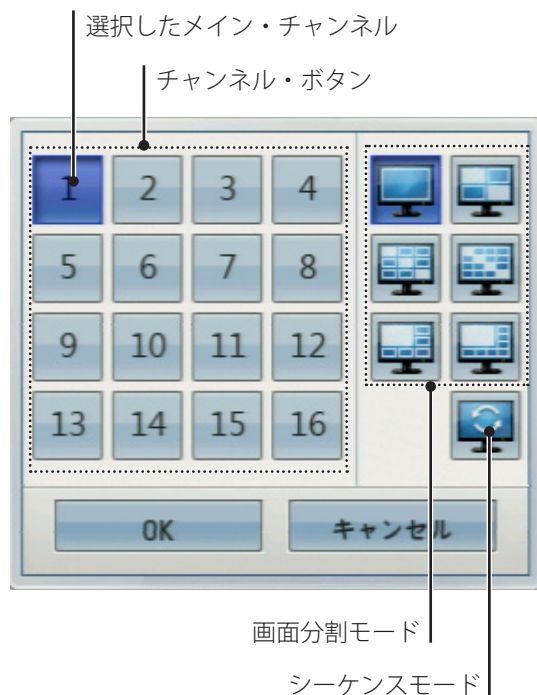
！ 注

システムコントロールバーを表示/非表示にするには
ライブ画面モードで前面パネルのシフトボタンを押すか、マウスの右ボタンをクリックして OSD を表示させてから、システムコントロールバーを表示または非表示に設定します。

メインモニター画面のモードを選択する

ライブ・スクリーン・モードで、メイン・モニタをフル画面、4分割、6分割、8分割、9分割、16分割できます。

1. MAINを押すか、システム制御バーの アイコンをクリックします。
メイン・モニタのスクリーン・モード選択メニューはメイン・モニタに表示されます。
2. スクリーン・モードを選んでください。




- ・ チャンネル番号: メイン・モニタの選択ライブ・スクリーンの現在の監視画像を見るため1で16チャンネル・ボタンを押します。
 - ・ フル・スクリーン・モード: フル・スクリーンの選択チャンネルを見る時。
 - ・ 4、9、16、1+5 および 1+7 分割モード: メイン・モニタの選択した分割画面を表示します。
 - ・ シーケンス: すべてのチャンネルを順に見ます。16分割 (LE5008/LE4008 シリーズは 8 分割) 表示のシーケンスモードは使用できません。
3. [OK] を選び、ENTERを押します。

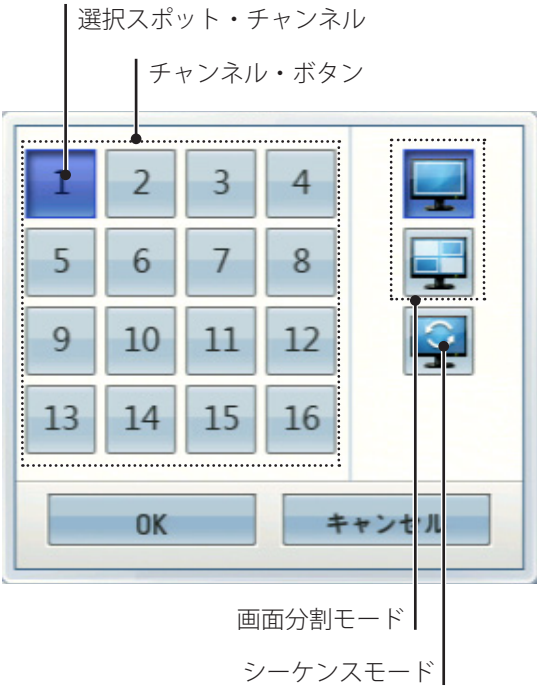
！ 注

フル・スクリーンで表示するには、希望チャンネルをダブル・クリックします。

スポットモニター画面のモードを選択する

スポット・モニタでライブ・スクリーン・モードのフルまたは4分割スクリーンを選べます。


- 1. SPOTを押すか、システム制御バーの  アイコンをクリックします。
SPOTモニタのスクリーン・モード選択メニューはメイン・モニタに表示されます。
- 2. スクリーン・モードを選びます。



- ・ チャンネル番号: スポット・モニタで現在の監視画像を見るには1で16チャンネル・ボタンを押します。
 - ・ フル・スクリーン・モード: フル・スクリーンで選択したチャンネルを見る時のモードです。
 - ・ 4分割モード: スポット・モニタで4分割画面を表示します。
 - ・ シーケンス: すべてのチャンネルを順に見ます。
3. [OK]を選択し、ENTERを押します。

PTZカメラ制御

RS-485ターミナルのデータ・ポートを経て接続するカメラを制御できます。PTZカメラとDVR間の構成をセットしなければなりません。

- 1. 制御したいメイン・モニタのPTZカメラ・チャンネルを選んでください。
- 2. PTZを押すか、システム制御バーの  アイコンをクリックします。
仮想PTZリモート・コントロールはメイン・モニタに表示されます。
- 3. PTZカメラの制御に使用する項目。

ボタン	機能
	PTZ仮想リモート・コントロールを削除します。
	カメラのパン/チルトに使用します。
	プリセット位置を確認します。
SPEED 	パン、チルト、ズームの速度を選択します。
 ZOOM 	カメラのズームを調節します。
 FOCUS 	カメラの焦点を手動で調節します。
 IRIS 	カメラの絞りを手動で調節します。
PRESET 	選択したプリセット番号を表示
 	プリセット番号を入力します。
	カメラのプリセット位置を登録します。
	カメラをプリセット位置に動かします。
	記憶しているプリセット位置を削除します。
	プリセット・ツアーを開始します。
	PTZカメラのセットアップ・メニューを表示します。

プリセット設定







プリセット位置は、位置番号と関連付けられるカメラ監視位置(プリセット位置)を登録する機能です。
位置番号の入力により、プリセット位置にカメラを移動できます。



注

この機能を働かせるには、PTZカメラのプリセット位置を登録する必要があります。

プリセット位置の登録方法



1. , , ,  を用いて望みのポイントにカメラを移動します。
2. SETを押すか、 アイコンをクリックします。
3. 登録したいプリセット番号を選びます。
4. ENTERを押すか、 アイコンをクリックします。
位置とその番号は記憶されます。
5. ステップ1で4を繰り返し、位置を追加します。

！ 注

プリセット番号はこのデジタル・ビデオ・レコーダで0から255まで使用できます。しかし実際のプリセット範囲はPTZカメラにより異なります。



プリセット位置での画像変更

以下の機能はプリセット機能のあるカメラのみに使用できます。プリセット機能はコンビネーション・カメラをプログラムしたプリセット位置に移動させます。コンビネーション・カメラ用にあらかじめプリセット位置をプログラムすることが必要です。

1. MOVEボタンを押すか、 アイコンをクリックします。
2. 記憶したプリセット位置のインデックス番号を入力するため番号ボタンを使用し、ENTERを押すか
 アイコンをクリックします。カメラはプリセット位置に移動し、その位置のカメラの映像がモニタに現われます。

プリセット位置のクリア

記憶したプリセット位置をクリアできます。



1. CLEARボタンを押すか、 アイコンをクリックします。
2. 記憶したプリセット・インデックス番号を入力するのに番号ボタンを使用し、ENTERを押すか
 アイコンをクリックします。

！ 注

この機能はPTZカメラにより使用できないことがあります。













プリセット位置をツアーする

プリセットしたすべての位置をツアーできます。

1. TOURボタンを押すか、 アイコンをクリックします。カメラのすべての登録したプリセット位置が選ばれ、カメラの位置の画像は動作しているモニタでオンになります。
2. TOURボタンを押すか、 アイコンをクリックしてツアーを停止できます。

PTZカメラ用のセットアップ

メニューのそれぞれの項目をセットアップしてカメラを条件に適應させることができます。


1.  アイコンをクリックします。
SETUP MENUがメイン・モニタの選択ウィンドウに現われます。
2. 矢印、, , , ,  ZOOM ,
 FOCUS ,  IRIS , および
 ボタンを用いてオプションを設定します。

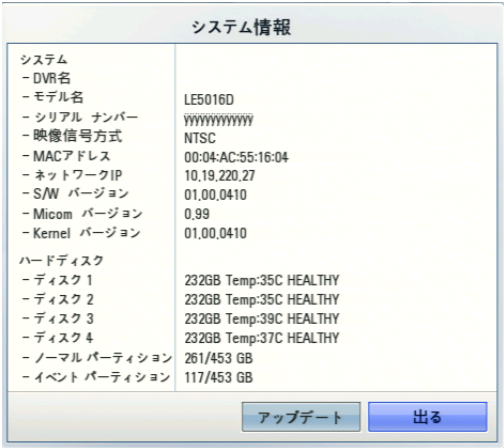
！ 注

- ・ 詳細はPTZカメラのマニュアルを参照してください。
- ・ このデジタル・ビデオ・レコーダと正常に動作しないPTZカメラもあります。
- ・ PTZ仮想リモート・コントロールを表示しているとき他の機能を制御できません。

システム情報の表示

システム情報を見ることができます。


- 1. INFOを押すか、システム制御バーの  アイコンをクリックします。
システム情報ウィンドウがメイン・モニタに表示されます。



- アップデート: このボタンを押してシステム情報を更新します。
- 2. INFOを押すか、[出る]ボタンをクリックしてウィンドウを終了します。

システム・ログ・リストの表示

システム・ログ・リストを見ることができます。

- 1. LOGを押すか、システム制御バーの  アイコンをクリックします。
システム ログ リストは、メイン モニターへ表示されます。

システム履歴リスト		
No.	システム履歴	日付/時間
001	Configuration Changed	2010/03/30 - 10:14:12
002	Configuration Changed	2010/03/30 - 09:18:31
003	Configuration Changed	2010/03/30 - 09:15:54
004	Configuration Changed	2010/03/30 - 09:02:27
005	Configuration Changed	2010/03/24 - 19:11:42
006	Configuration Changed	2010/03/24 - 19:04:53
007	ADMINISTRATOR Login (Local)	2010/03/24 - 14:45:16
008	ADMINISTRATOR Logout (Local)	2010/03/24 - 14:42:48
009	ADMINISTRATOR Logout (Remote)	2010/03/23 - 15:13:24
010	ADMINISTRATOR Login (Remote)	2010/03/23 - 15:04:34

◀ 001/400 ▶

出る

- 2. 前か次のログ・リストを見るには◀ / ▶を用います。
- 3. LOGを押すか、[出る] ボタンクリックしウィンドウから出ます。




注

以下のシステム ログ リストを参照してください。

No.	ログ メッセージ
1	電源オン
2	電源オフ
3	管理者ログイン (リモート)
4	管理者ログアウト (リモート)
5	管理者ログイン (ローカル)
6	管理者ログアウト (ローカル)
7	コンフィギュレーション変更
8	コンフィギュレーション インポート
9	出荷時デフォルト設定
10	電源リカバリー
11	バックアップ開始
12	バックアップ終了
13	バックアップ失敗
14	エクスポート開始
15	エクスポート終了
16	エクスポート失敗
17	S/W更新
18	システム ファン故障
19	HDD損傷 (HDD1)
20	HDD損傷 (HDD2)
21	HDD損傷 (HDD3)
22	HDD損傷 (HDD4)
23	HDD追加 (HDD1)
24	HDD追加 (HDD2)
25	HDD追加 (HDD3)
26	HDD追加 (HDD4)
27	HDD取り外し (HDD1)
28	HDD取り外し (HDD2)
29	HDD取り外し (HDD3)
30	HDD取り外し (HDD4)
31	HDDフォーマット (HDD1)
32	HDDフォーマット (HDD2)
33	HDDフォーマット (HDD3)
34	HDDフォーマット (HDD4)
35	HDD交換 (HDD1)
36	HDD交換 (HDD2)
37	HDD交換 (HDD3)
38	HDD交換 (HDD4)

録画データをエクスポートします。









このデジタル・ビデオ・レコーダでは、録画画像を内蔵HDDから外部録画デバイスに手動でコピーできます。

1. COPYを押すか、システムコントロールバーの  アイコンをクリックします。
エクスポート・メニューのウィンドウが現われます。



The screenshot shows the 'Export' menu window. It has the following fields and buttons:

- ターゲット装置 (Target Device):** A dropdown menu showing '1.DVD T DVD-RAM GH40L'.
- チャンネル (Channel):** A grid of buttons numbered 1 through 18. Buttons 17 and 18 are labeled 'IP1' and 'IP2' respectively.
- スタート日付/時間 (Start Date/Time):** Fields for year (2010), month (03), day (30), and time (10:18).
- エンド日付/時間 (End Date/Time):** Fields for year (2010), month (03), day (30), and time (10:18).
- Buttons at the bottom:** 'フォーマット' (Format), 'コピー' (Copy), and 'キャンセル' (Cancel).

2. [ターゲット装置] を選択して ENTER を押します。
3.   でターゲットデバイスを選択し、エクスポートします。
4. ENTER を押して終了します。
5. チャンネル番号を選択してから ENTER を押します。このステップを繰り返して、複数のチャンネルを選択します。
6. コピーの[スタート日付/時間]と[エンド日付/時間]を設定します。
 -   /  / : オプション項目を移動します。
 -  : 選択した項目を設定します。
 - ENTER: 項目の選択、または設定の確認を行います。
7. COPYを押すか、または[エクスポート]アイコンをクリックして、エクスポートを開始します。
エクスポートしたデータは保存前にこのデジタル・ビデオ・レコーダにより承認され、専用ソフトでのみ再生できます。

！ 注

- 操作を続ける前にエクスポート・デバイスをチェックします。
- エクスポート機能用に前面パネルのCOPYボタンも使用できます。
- ライブモードの時だけ、録画データをエクスポートできます。
- 外部機器を使用する場合は、外部機器を本機でフォーマットする必要があります。
 1. 外部機器をDVRの前面または後面にあるUSB端子に接続します。
 2. アイコン、[フォーマット]を選択してから、[ENTER]を押します。フォーマットが完了したらウィンドウが表示されることを確認します。
 3. [OK]を選択してから、ENTERを押してウィンドウを閉じます。
- 選択したデータのサイズと外部機器の空き容量を確認します。デバイスに十分な空き容量がない場合は、デバイスの容量を増やすか、過去に保存したデータを消去してください。
- エクスポートはバックアップ中に実行できません。
- 付属視聴ソフトウェアでエクスポートしたデータを検索できます。
- 録画データをエクスポートする場合は、音声データもエクスポートされます。
- 録画データをエクスポートする場合、エクスポートビューアーもデバイスの[ExportViewer]フォルダーにエクスポートされます。このとき、エクスポートされるデータのファイル名は、自動的に[チャンネル name_export date_export time.exp]のようになります。
- エクスポート中はUSBデバイスを取り外さないでください。機能不全の原因になることがあります。
- 下記の場合に、警告メッセージが現われます。
 - 開始日/時刻と終了日/時刻が同じである時。
 - 開始日/時刻が終了日/時刻より遅い時。
 - エクスポートするメディアに十分なスペースがない時。
 - データがない時刻を設定する時。
- 外部メディアは、機能不全を避けるため、このデジタル・ビデオ・レコーダでフォーマットしなければなりません。
- DVD+RWとDVD-RWディスクの使用前に初期化しなければなりません。



構築メニュー


DVRの機能とオプションはメニューにより構成されます。このデジタル・ビデオ・レコーダの動作はメイン・モニタに表示されるメニューによりセットできます。前面パネルとリモート・コントロールのボタンを用いて、またはこの装置に接続するUSBマウスを用いて動作状態を選び、セットできます。管理者レベルのユーザーのみが設定メニューにアクセスして、DVRを構築することができます。




マウスを用いたメニューの設定







メニューのセットは左右のマウス・ボタンを使用します。

ボタン		機能
	左ボタン	<ul style="list-style-type: none">必要な項目を選択するため、またはオプション値を下げるために使用します。ボタンをダブルクリックすると、選択したチャンネルをフルスクリーンで表示することができます。
	右のボタン	オプション値を上げるために使用します。


- マウスの左ボタンでシステムコントロールバーの  アイコンをクリックし、設定メニューを表示します。
- マウスの左ボタンで希望する項目をクリックし、第2階層または第3階層のメニュー項目を表示します。
- 左マウス・ボタンで希望のオプションをクリックします。
- 選択したオプション値をセットします。

- セットアップ・メニューから出るため  アイコンをクリックします。
保存メッセージが現われたら、左マウス・ボタンで[OK]をクリックし設定を保存します。

前面パネルのボタンをまたはリモート・コントロールのボタンを用いてメニューの設定

前面パネル	リモート・コントロール	内容
		メニュー・オプションの選択またはオプション値の調節のため矢印ボタンを使用します。
		オプションの選択または設定の確認をします。
		前のメニューまたはレベルに戻ります。

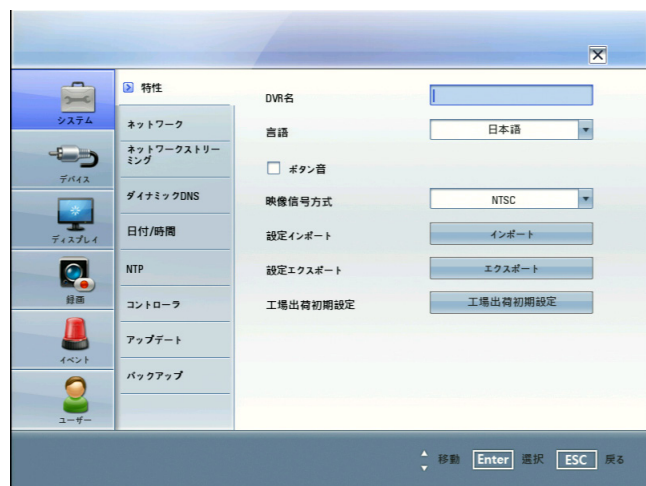
- SETUP/ESCを押してセットアップ・メニューを表示します。
- ▲/▼で希望するメニュー項目を選択してから、ENTERを押してサブメニューを表示します。
- ▲/▼で希望するサブメニュー項目を選択してから、ENTERを押して設定項目を表示します。
- ▲/▼を用いて希望のオプションを選び、それからENTERを押して値をセットします。
- ◀/▶を用いて希望の設定を選び、それからENTERを押して選択を確認します。
- SETUP/ESCを押してセットアップ・メニューから出ます。保存メッセージが表示された場合は、[OK]を選択してからENTERを押して設定を保存します。

 **注**

- リモート・コントロールと前面パネルのボタンを用いて機能メニューを動作させると、両方のボタンは同じ動作をし、機能メニューを制御します。
- 次に示すように、前面パネル上の番号ボタンの他の機能を使用します。
 - SHIFTを押します。ボタンインジケータが赤色に点灯します。
 - 希望のファンクション・ボタンを選択します。
- 動作のすべての説明はリモート・コントロールの使用を基準としています。

システムの設定

特性



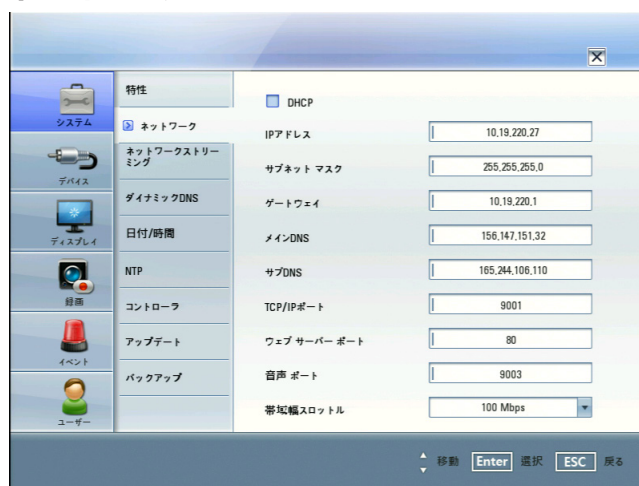
- ・ DVR名: 最長 20 文字までの DVR 名を入力します。
- ・ 言語: アップ・メニューと情報表示の言語を選びます。
- ・ ボタン音: チェックして、ボタンビープ音を有効にします。ボタンを使用すると、ボタンビープ音が鳴ります。
- ・ 映像信号方式: ビデオ・システムのフォーマットに従い、NTSC方式、またはPAL方式のフォーマットを選びます。ビデオ形式を変更すると、HDD は選択したビデオ形式でフォーマットされます。HDD がフォーマットされると、フォーマット完了のメッセージが表示されます。[OK] を選択してから ENTER を押します。システムが再起動します。

！ 注

故障の危険があるので、ビデオ形式を変更する前には、すべてのカメラを取り外してください。

- ・ 設定インポート: このDVRからUSBメモリ・スティックへ構成データをエクスポートします。
- ・ 設定エクスポート: USBメモリ・スティックからDVRの構成データをインポートします。
- ・ 工場出荷初期設定: 元の工場設定にDVRをリセットできます。あるオプション(日付、時刻、サマータイム調整、時間帯およびユーザ・パスワードの設定)はリセットできません。

ネットワーク



- ・ DHCP: DHCP サーバーがネットワークにインストールされているときは、IP アドレスを割り当てるためにこの項目を選択してください。この設定で、IP アドレスは自動的に割り当てられます。
- ・ IPアドレス: IP アドレスを入力します。
- ・ サブネット マスク: サブネット マスク アドレスを入力します。
- ・ ゲートウェイ: ゲートウェイ アドレスを入力します。
- ・ メインDNS: ホスト名を IP アドレスに変換するプライマリ ドメインのネームサーバを入力します。
- ・ サブDNS: プライマリ DNS サーバをバックアップするためのセカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。
- ・ TCP/IPポート: TCP/IP ポート番号を入力します。PCのクライアント・プログラムを用いて、ネットワーク上の監視画像をライブで監視できます。工場出荷時のTCP/IPポートは9001です。しかしある場合には付加した柔軟性または機密保護のためこのポート番号を変更したほうがよいです。ポート番号の変更は、1 025 で 65 535 の範囲で行うことができます。
- ・ ウェブ サーバー ポート: ウェブサーバ用のポート番号を入力します。ウェブ・ブラウザでネットワーク上の監視ライブ画像を見ます。普通HTTPにより使用されるTCPポートは80です。しかしある場合には付加した柔軟性または機密保護のためこのポート番号を変更したほうがよいです。通信ポートを80または1 025 で 65 535に編集できます。
- ・ 音声 ポート: オーディオポート番号を入力します。ポート番号の変更は、1 025 で 65 535 の範囲で行うことができます。
- ・ 帯域幅スロットル: データ トラフィックを調整するためにバンド幅を入力します。

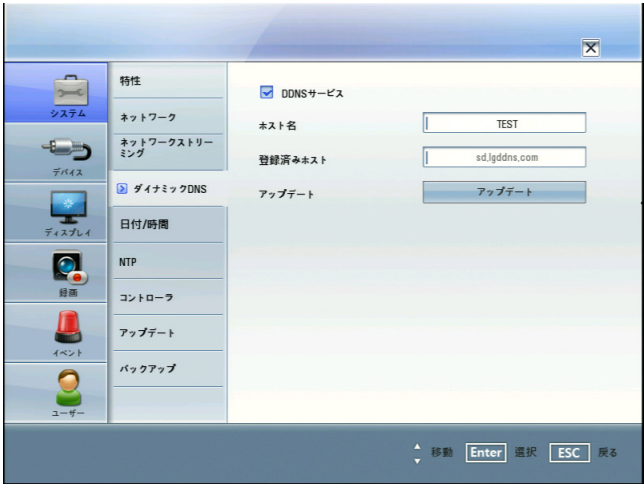
ネットワークストリーミング



- Ch: チャンネル番号を表示します。
- 解像度: 録画解像度を選びます。「チャンネル1でチャンネル8」や「チャンネル9でチャンネル16」などのグループごとと同じ解像度が設定されています。
- 画質: 録画品質を選びます。
- フレームレート: フレーム・レートを選びます。フレーム率は、1秒あたりの転送可能なフレーム数です。解像度によりフレーム・レートは自動的にセットされます。手動でセットする場合、下表を参照してください。

解像度		フレーム・レート
NTSC	352*240	1, 3, 5, 7.5, 10, 15
	704*240	1, 3, 5, 7.5
	704*480	1, 3
PAL	352*288	1, 3, 5, 6, 7.5, 12.5
	704*288	1, 3, 5, 6
	704*576	1, 3

ダイナミックDNS



この無料サービスは、LGのDDNSサーバーと組み合わせると大変便利になります。ユーザーは、IP アドレスではなく、URL を使用して IP 機器を接続することができます。また、ダイナミックIPアドレスを持つことの不便さも解消できます。

- DDNSサービス: DDNS 機能の有効にチェックします。

- ホスト名: 使用したいホスト名を入力します。ホスト名に「www」、「mail」、「http」、「ftp」、「com」、「lg」、「lge」、「lgddns」、「lgddns」、「ddns」を使用することはできません。
- 登録済みホスト: 登録したそのホスト名が表示されます。
- アップデート: [ホスト名]に入力したホスト名を、LGのDDNSサーバーに登録します。

DDNSホスト名の登録方法

DDNS機能を利用すれば、LGのDVRを容易に使用できます。

LGのDVR購入後、初めてDDNS機能を使用するときには

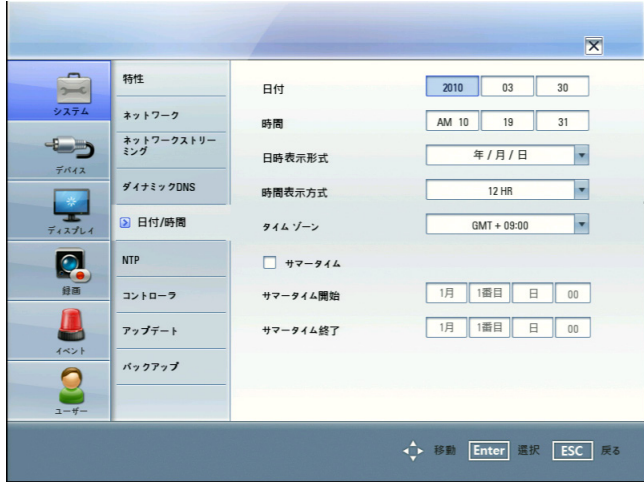
1. DVR設定メニューを表示します。
2. [システム]を選択後に、[ダイナミックDNS]オプションを選択します([システム]>[ダイナミックDNS])。
3. [DDNSサービス]項目をチェックします。
4. [ホスト名]オプションにホスト名を入力します。
5. [アップデート]ボタンを押します。ホストへの登録が完了すると、[登録済みホスト]オプションにホスト名が表示されます。[アップデート]後にホスト名が登録されない場合は、ネットワーク接続を確認してください。

DDNSホスト名を変更する場合

登録済みのホスト名を新しい名前に変更する場合には、次に示すようにします。

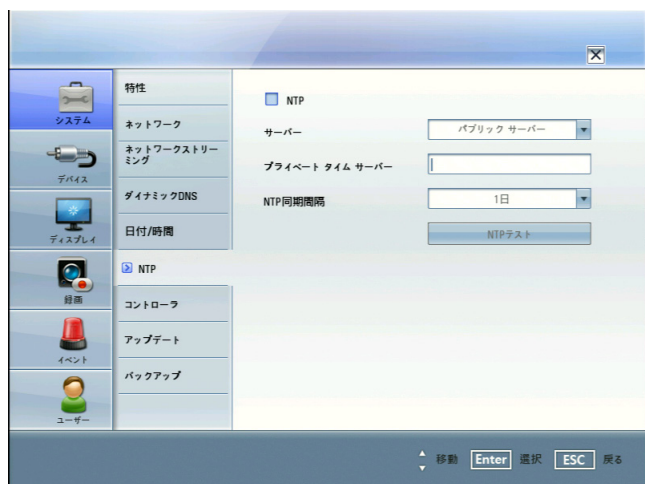
1. [ホスト名]オプションに新しいホスト名を入力します。
2. [アップデート]ボタンを押します。ホスト名を変更するための確認ウィンドウが表示されます。
3. [OK]ボタンをクリックします。ホスト名が正しく変更されると、変更されたそのホスト名が[登録済みホスト]に表示されます。更新後にホスト名が登録されない場合は、ネットワーク接続を確認してください。

日付/時間



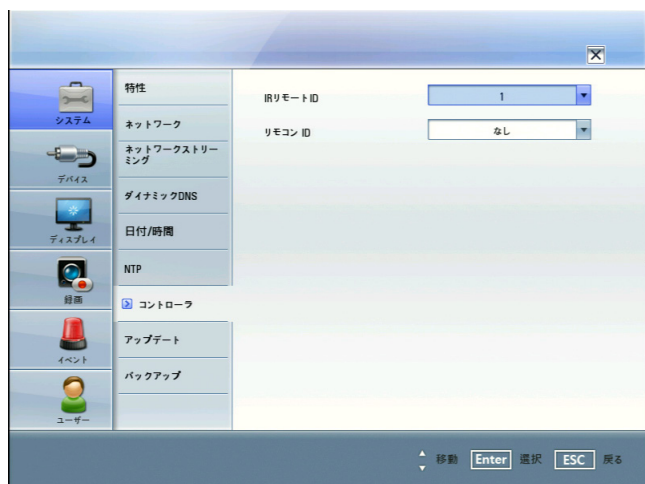
- 日付: 現在の年・月・日を選択します。
- 時間: 現在の時刻を選択します。
- 日時表示形式: 日付表示フォーマットを選びます。
- 時間表示方式: 時刻表示フォーマットを選択します。
- タイムゾーン: DVR を設置する地域のタイムゾーンを選択します。
- サマータイム: サマータイム機能を利用する場合はチェックを付けます。
- サマータイム開始: 夏時間開始の時間を選択します。
- サマータイム終了: 夏時間終了の時間を選択します。

NTP



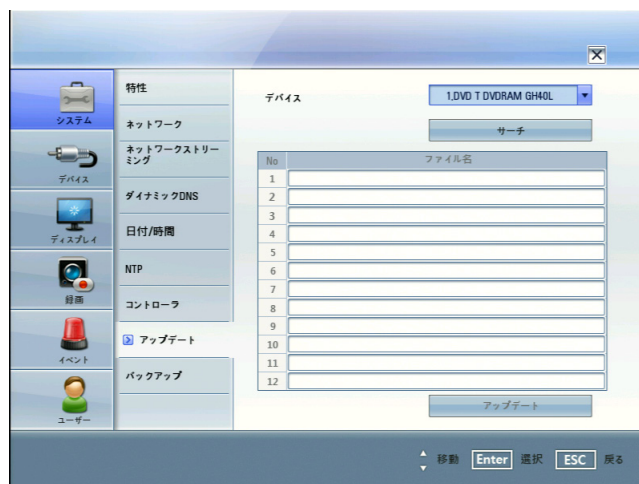
- NTP: DVR の日付と時刻を NTP (Network Time Protocol : ネットワークタイムプロトコル) と呼ばれるタイムサーバと同期させる場合はチェックを付けます。NTP サーバの名前を指定します。
- サーバー: ほとんどの場合に公共を選びます。DVRは5つの公共サーバ (time.nist.gov、time-a.nist.gov、time-b.nist.gov、ntp.nasa.gov、clock.isc.org) の平均時間を得ます。
- プライベート タイムサーバ: 仮想キーボードを用いてプライベート・タイム・サーバのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
- NTP同期間隔: NTPタイム・サーバとの同期間隔を1日、1時間、1か月および1週間に設定できます。
- NTPテスト: NTPサーバを試験するため[NTPテスト]を選びます。

コントローラ



- IRリモートID: この装置に対するIRリモートID (01で09) を選択します。複数のシステムを使用している場合は、各DVR装置に対してIRリモートIDを設定します。
- リモコン ID: 本機のリモコン ID を選択します。複数のシステムを使用する場合は、各 DVR のリモコン ID を設定してください。LKD 1000 コントローラを使用して DVR を操作することができます。(詳細に関しては、LKD1000の取扱説明書を参照してください。)

アップデート



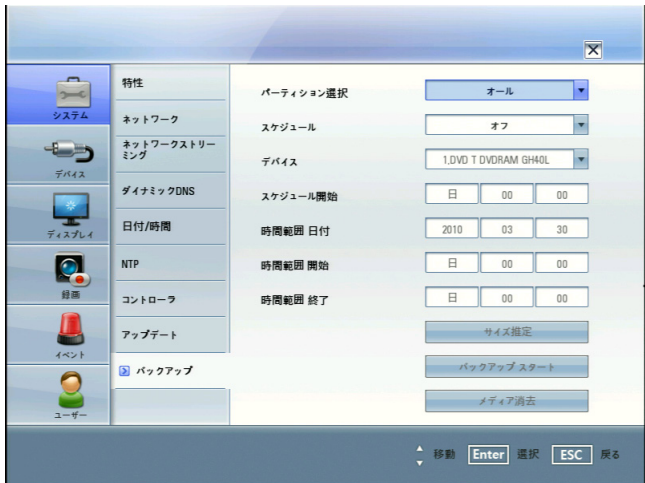
アップデートすることにより、DVRソフトウェアをアップグレードし、PTZプロトコルを追加/アップグレードできます。この場合、アップデート中は現在のDVRの設定は削除されないし交換もされません。

1. 更新ファイルを含むデバイスを接続します。
2. ドロップダウンリストから更新用デバイスを選択します。
3. [サーチ] ボタンを選択してから ENTER を押します。リストに更新ファイルが表示されます。
4. リストから更新ファイルを選択します。
5. [アップデート] ボタンを選択してから ENTER を押します。確認画面が表示されます。
6. [OK]を選択してアップデート プロセスを開始するか、[取消]をクリックしてプロセスを停止、終了します。アップデート プロセスが完了すると、システム ダイアログ ボックス、システムを再起動します。が表示されます。
7. [OK]をクリックして、DVRを再起動します。

！ 注

- 故障の防止のため、更新中に電源を切らないでください。
- 更新の実行中に、更新の対象である外部機器や CD/DVD ディスクは取り外さないでください。故障の原因になることがあります。

バックアップ



- パーティション選択: バックアップ パーティションを選択します。
- スケジュール: バックアップ・スケジュールを設定できます。
 - オフ: バックアップ・スケジュールを使用しません。
 - 週間 または 毎日: バックアップ・データは設定により自動的に保存されます。
 - インスタント: バックアップ・データが手動で保存されます。
- デバイス: バックアップ・デバイスを選びます。
- スケジュール開始: スケジュール開始日(週の日と時刻)を設定します。
- 時間範囲 日付: バックアップ時間範囲を入力します。バックアップする日を入力します。
- 時間範囲 開始: 開始する曜日あるいは時間を入力します。
- 時間範囲 終了: 終了する曜日あるいは時間を入力します。
- サイズ推定: バックアップデータのサイズと外部機器の空き容量を表示します。
- バックアップ スタート: バックアップを開始します。
- メディア消去: メディアを消去します。

インスタント・バックアップ

- バックアップ用のディスク ドライバに、バックアップ USB デバイスを接続、または記録可能なディスクを挿入する。
- バックアップするパーティションを選択する。
- スケジュール・オプションでインスタントを選びます。
- バックアップ・デバイスを選びます。
- バックアップのために、時間範囲 日付、時間範囲 開始時間および時間範囲 終了時間を選択します。
- [サイズ推定]アイコンを選び、ENTERを押します。
- 選択されたデータと空きスペースのサイズを確認します。デバイスに十分な空き容量がない場合は、デバイスの容量を増やすか、過去に保存したデータを消去してください。
- [バックアップ スタート]アイコンを選び、ENTERを押してバックアップを開始します。
- セットアップ・メニューを終了します。バックアップ中にシステム制御バーのバックアップ状態をチェックできます。

毎日/毎週のバックアップID

- バックアップのためUSBデバイスを接続します。毎日または毎週のバックアップのためCDまたはDVDライタを使用できません。
- スケジュール・オプションの週間または毎日を選びます。
- バックアップ・デバイスを選びます。
- スケジュールの開始オプションにバックアップを開始する日付と時間を入力します。
- 時間範囲の開始オプションに週の日と時刻を入力します。
- 時間範囲の終了オプションに週の日と時刻を入力します。
- [サイズ推定]アイコン選び、ENTERを押します。
- 選択データのサイズおよびUSBデバイスのフリー・スペースをチェックします。USB デバイスに十分な空き容量がない場合は、十分な空き容量のある USB デバイスに変更するか、接続されている USB デバイスの中味を消去してください。

注

- 外付けのUSB CD-ROMドライバに関しては、バックアップ機能はサポートされていません。
- バックアップに利用できる外部機器。

デバイス	容量
USB HDD	1TB 未満。
E-SATA HDD	制限なし。

- 機能不全を防ぐため推奨した外部USBデバイスを使用します (69参照)。
- CD-R、DVD-RまたはDVD+Rディスクは、フォーマットできません。
- DVD+RWおよびDVD-RWディスクは使用前に初期化しなければなりません。
- 外部メディアは機能不全を防ぐためこのデジタル・ビデオ・レコーダでフォーマットされなければなりません。
- バックアップ処理中には、[サイズ推定]、[バックアップ開始]および[メディア消去]のオプションは使用できません。
- バックアップの最中に外部機器を外さないでください。故障の原因になります。
- FAT32タイプのPCを用いて外部メディアをフォーマットする場合、そのメディアはこのデジタル・ビデオ・レコーダで使用できないことがあります。
- 選択したデータのサイズと外部機器の空き容量を確認します。デバイスに十分な空き容量がない場合は、デバイスの容量を増やすか、過去に保存したデータを消去してください。
 - [サイズ推定] アイコンを選択してから ENTER を押します。選択したデータのサイズと空き容量が表示されます。
 - [OK] を選択してから ENTER を押して画面を閉じます。
- バックアップ中にバックアップを停止できません。
- 下記の状態で警告メッセージが現われます。
 - 開始時刻と終了時刻が同じである時。
 - 終了時刻が開始時刻より前である時。
 - データが無い時刻を設定する時
 - 開始時刻および終了時刻の設定が間違っている。
 - メディアに十分なスペースがない。
 - 選択USBデバイスが切断している時。

注

- ディスク焼付けは単一セッション閉止フォーマットにより使用されます。
- CD/DVDライター機器をバックアップに使用する場合は、ISOイメージを作成してからバックアップデータをCD/DVDに書き込みます。
- バックアップの進行状況をシステムコントロールバーから確認できます。
- バックアップ・データの推定サイズはおおよそのサイズだけです。従って、メディアにスペースが足りなくならないよう十分なスペースを用意しなければなりません。
- スケジュールした録画時に、システム制御バーでバックアップ状態をチェックできます。
- エクスポート中か外部USBデバイスからのバックアップ・データを検索している間は、スケジュールしたバックアップは開始しません。エクスポートまたはバックアップ検索が終了した後、スケジュールしたバックアップが再起動します。
- スケジュールバックアップを設定した場合、バックアップデータのサイズはSetupメニューの録画設定から推定されます。この推定した録画データサイズよりも実際の録画データサイズが大きい場合には、スケジュールバックアップは起動されません。

デバイスの設定

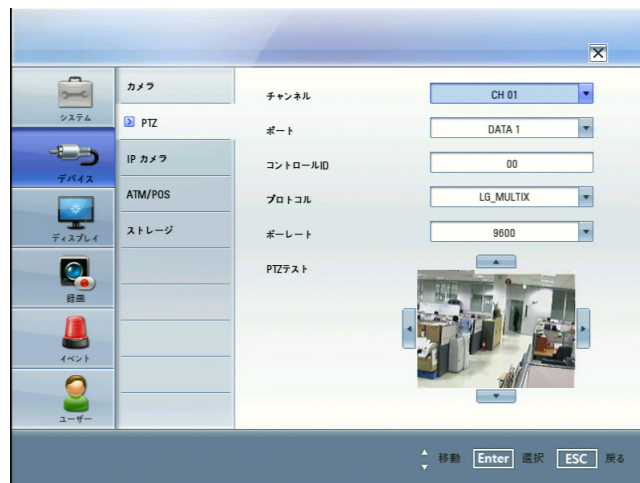
カメラ



- Ch: チャンネル番号を表示します。
- 名称: 最長 20 文字までのチャンネル名を入力します。
- 音声: オーディオ入力のチャンネルを選択します。選択したオーディオ入力のチャンネルから聞くことができます。IP チャンネルでこの機能は利用できません。

PTZ

RS-485ターミナルのデータ・ポートを経て接続したPTZカメラの設定。

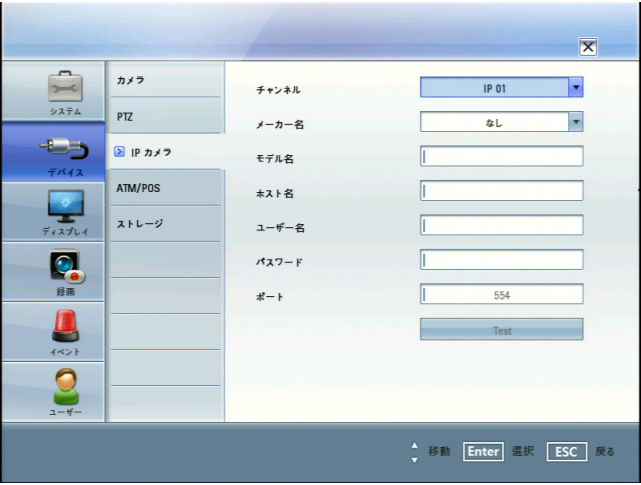


- チャンネル: 希望のチャンネルを選び接続したPTZカメラをセットします。
- ポート: 背面パネルのRS-485ターミナルの接続データ・ポートを選びます。DATA 2ポートは、DVRに接続されたPTZカメラを制御するために、あるいはLKD1000コントローラを用いて制御するために使用されます。データ 2ポートを経由してPTZカメラを使用する場合は、[リモコンID]を[なし]に設定する必要があります。LKD1000コントローラでデータ 2ポート経由のDVRを操作する場合は、[リモコンID]を1で16の番号で設定する必要があります。
- コントロールID: PTZカメラのIDを選択します。PTZカメラと同じ設定であるか確認します。
- プロトコル: PTZカメラがサポートするプロトコルを選びます。

- ・ ポーレート: 通信速度を選びます。
- ・ PTZテスト: PTZ設定の後、選択PTZカメラのパン/チルト機能を試験できます。PTZ試験オプションの右側のプレビュー・ウィンドウから試験スクリーンを見られます。
 - ◀ / ▶: パン方向を試験します。
 - ▲ / ▼: チルト方向を試験します。

！ 注
参照用にサポートしたPTZカメラのリストはページ70にあります。

IP カメラ



- ・ チャンネル: 希望するチャンネルを選択して接続されている IP カメラを設定します。
- ・ メーカー名: ドロップダウンリストから IP カメラのベンダーを選択します。
- ・ モデル名: IP カメラの機種名を入力します。
- ・ ホスト名: IP カメラの IP アドレスを入力します。
- ・ ユーザー名: ユーザー ID を入力します。
- ・ パスワード: ユーザーパスワードを入力します。
- ・ ポート: ポート番号を入力します。
- ・ Test: [Test] を選択して IP カメラの接続テストを行います。

！ 注
対応する IP カメラ仕様

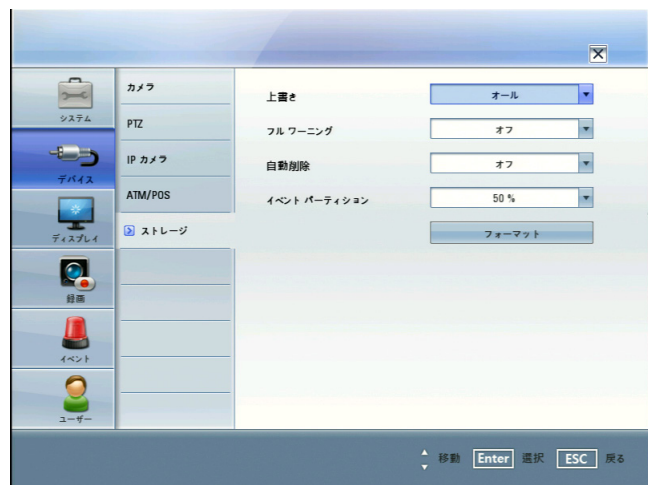
仕様	内容
メーカー名	LG, AXIS
録画モード	連続、インスタント
ビデオコーデック	H.264 ベースラインプロファイル
オーディオの記録と再生	非対応
解像度	CIF, Half D1 (2CIF), D1 (4CIF)
ストリーム	マスター 0 (LG 製カメラのみ)
PTZ	非対応
センサー/モーション入力	非対応

ATM/POS



- ・ インターフェース機器: ドロップダウンリストからインターフェースデバイスを選択します。
 - なし: ATM/POS 機器が DVR に直接接続されている場合に選択します。
 - AVE Hydra: ATM/POS 機器が AVE Hydra 機器を経由して DVR に接続されている場合に選択します。AVE Hydra に設定すると、[カメラ]、[ポーレート]、[データビット]、[ストップビット]、[パリティ] の項目は色が薄くなり、設定できなくなります。
- ・ カメラ: ATM/POS 機器とマッピングするカメラの番号を選択します。
- ・ ポーレート: DVR と ATM/POS 機器間の通信速度のパラメーターを希望する設定速度で選択します。
- ・ データビット: RS-485 通信のデータビット数を選択します。
- ・ ストップビット: 設定したいパラメーターを選択します。ストップビットは、調歩同期方式の伝送での最終データに付加されます。
- ・ パリティ: 設定したいパラメーターを選択します。パリティビットは、パリティチェック (奇偶検査) を行うためにデータに付加されます。

ストレージ



- 上書き:
 - オール: HDDの通常パーティションとイベント・パーティションに録画が一杯になったら上書き録画が可能です。
 - ノーマル パーティション: HDDのノーマルパーティションに録画が一杯になったらHDDのノーマルパーティションに上書き録画が可能です。
 - イベント パーティション: HDDのイベント・パーティションに録画が一杯になったらHDDのイベント・パーティションに上書き録画が可能です。
 - オフ: オーバライトを行いません。
- フル ワーニング: HDDがオーバーフローしたら、警告メッセージが表示されます。
- 自動削除: 自動消去日を設定します。自動消去日を設定すると、選定した日数以内にあるデータ以外の記録データが消去されます。この自動消去機能は、35分毎に動作します。
- イベント パーティション: イベント録画のためイベント・パーティションのスペースを設定します。モーションとセンサーの録画データは、HDD のイベント領域に保存されます。イベント録画を行う前にイベントの領域量を設定する必要があります。
- フォーマット: HDD (ハード・ディスク・ドライブ)を初期化します。HDD のデータがすべて消去されます。



注

イベント・パーティションの値を変更すると、現在、HDDに記録されているデータは削除され、そのパーティションはリセットされます。パーティションは自動的にフォーマットされ、システムが再起動されます。

HDDのフォーマット方法

- [イベント パーティション] 項目を選択して、HDD のイベント領域の割合を設定します。イベント領域を 60% に設定すると、残りの 40% の領域は自動的に基本領域に設定されます。
 - イベント パーティション: HDD の容量をモーションとセンサーの録画データ用に確保する方法。
 - ノーマル パーティション: HDD の容量をインスタントまたは通常の録画データ用に確保する方法。
- [フォーマット]のアイコンを選択してから、ENTERを押します。
- [OK]を選択してから、ENTERを押してフォーマットを開始します。

ディスプレイの設定

スクリーン表示



- チャンネル名: チェックして、チャンネル画面のチャンネル名を表示または削除します。
- チャンネル ステータス: チェックして、チャンネル画面のチャンネルステータスを表示または削除します。

シーケンス



選択した画面分割モードですべてのチャンネルをシーケンス表示します。16 分割 (LE5008/LE4008 シリーズは 8 分割) 表示のシーケンスモードは使用できません。シーケンスモードで表示中に、画面分割モードを変更すると、シーケンス機能は停止します。

- メイン 表示時間: メインモニターに表示するチャンネルのシーケンス時間を選択します。
- スポット 表示時間: スポットモニターに表示するチャンネルのシーケンス時間を選択します。

チャンネル構成



- Ch: チャンネル番号を表示します。
- 名称: 設定したいチャンネルを選択します。IP チャンネルを一度だけ使用することができます。

映像調整

各カメラ・チャンネルの明るさ、コントラストおよびカラー設定を調節します。プレビュー・ウィンドウから設定スクリーンを見られます。



- チャンネル: 調節する望みのチャンネルを選んでください。
- 明るさ: 選択チャンネルの明るさの値を0から100に合わせてください。
- コントラスト: 選択チャンネルのコントラスト値を0から100に合わせてください。
- カラー: 選択チャンネルのカラー値を0から100に合わせてください。

録画設定

スケジュール

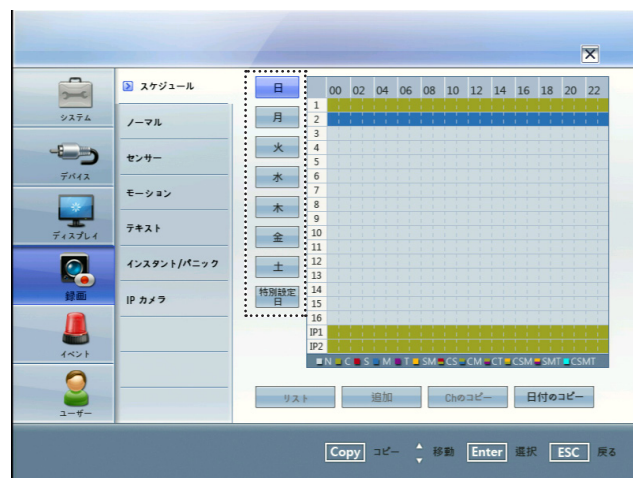
指定した曜日を毎週繰り返して、セットした時間に予約録画ができます。DVRはユーザがセットしたスケジュールで録画を行います。また日時に関係なく手動で録画できます。録画は連続して、またはイベントによるトリガーで行えます(アラームとモーションの検出)。

録画スケジュールのスクリーンは24時間間隔で全チャンネルのスケジュールを示す週の1日を表示します。各1時間セル・ブロック用に録画方法を選択できます。各ブロックに対する録画方法は、見やすいようにカラーで示されています。

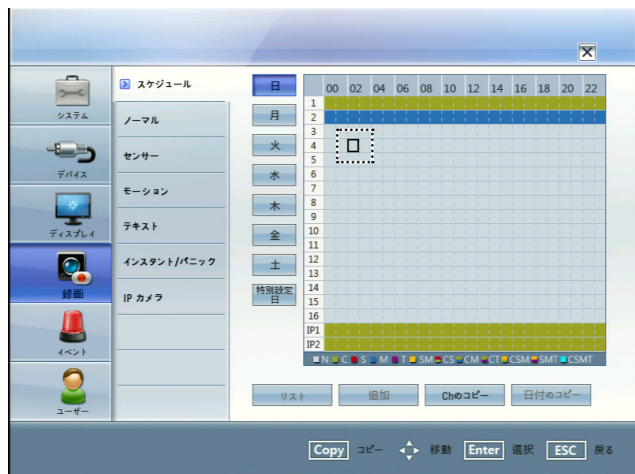


週間の1日録画スケジュールの設定

1. 週の1日を選びます。



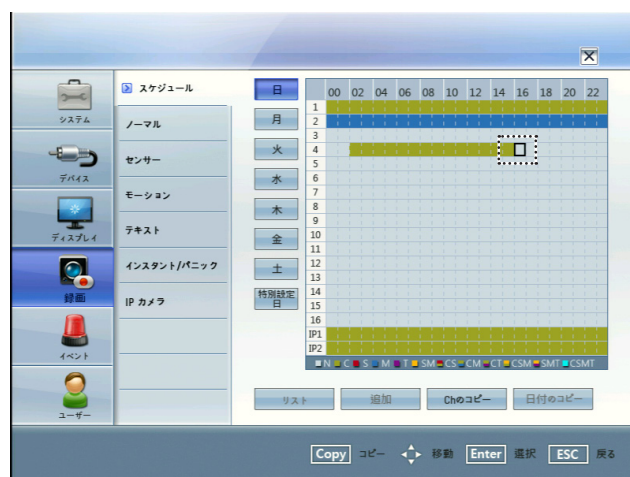
2. 希望のチャンネルを選び録画をスケジュールします。



3. 開始時刻の時間セル・ブロックを選びます。
4. ENTERを押すか、録画モードを選ぶため左マウス・ボタンをクリックします。セル・ブロックのカラーは、自動的に変わります。
 - ・ 灰色: 予約録画なし。
 - ・ 緑 (連続録画): プリセット時間に自動的に録画を開始。
 - ・ 赤 (センサーのイベント録画): センサー・アラームが指定時刻前に発生すると自動的に録画を開始。
 - ・ 青 (モーションのイベント録画): 指定時刻内に、モーションを検出すると自動的に録画を開始。
 - ・ 紫 (テキストイベント記録): 指定された時間内にテキストの入力が検出されると、自動的に記録を開始します。
 - ・ 黄 (センサー+モーション録画): センサー・アラーム信号の入力があると、またはモーションが検出されると、自動的に録画を開始。
 - ・ 緑+赤 (連続+センサー イベント録画) : 録画は、プリセットされた時刻から自動的に始まります。指定された時間以内にセンサーアラームが起これば、連続録画モードがセンサー イベント録画モードに変わり、録画が自動的に始まります。
 - ・ 緑+青 (連続+モーション イベント録画) : 録画は、プリセットされた時刻から自動的に始まります。指定された時間以内にモーションが検知されると、連続録画モードがモーション イベント録画モードに変わり、録画が自動的に始まります。
 - ・ 緑+紫 (連続+テキストイベント記録): プリセット時間から自動的に記録を開始します。指定時間内にテキストの入力が発生した場合、連続記録モードはテキストイベント記録モードに変更され、自動的に記録が開始されます。
 - ・ 緑+黄 (連続+センサー+モーション イベント録画) : 録画は、プリセットされた時刻から自動的に始まります。センサーアラーム信号が入力されると、またはモーションが検知されると、連続録画モードがモーション イベント録画モードに変わり、録画が自動的に始まります。
 - ・ 黄+紫 (センサー+モーション+テキストイベント記録): センサーアラーム信号が入力されると、モーションが検出されるか、またはテキスト入力が発生し自動的に記録を開始します。

- ・ スカイプブルー (連続+センサー+モーション+テキストイベント記録): プリセット時間から自動的に記録を開始します。センサーアラーム信号が入力されると、指定時間内にモーションが検出されるか、またはテキスト入力が発生することでイベントの記録モードが発生し、連続記録モードが変更されて自動的に記録を開始します。

5. スケジュール時刻の確認のため時間スケジュール時刻セル・ブロックの次の時刻セル・ブロックを選びます。
6. このスケジュールの終わりを設定するためには、ENTERを押すか、マウスの左ボタンを繰り返しクリックして灰色を選びます。セル・ブロックの設定はハイライトされます。



7. SETUP/ESCを押して前のメニューに移動します。保存メッセージが表示された場合は、[OK] を選択してから ENTER を押して設定を保存します。
8. SETUP/ESCを繰り返し押すと、設定メニューを終了します。


特別設定日の録画スケジュールの設定

週間スケジュールに加えて、最大10の特別設定日/時間を定義できます。特別な録画スケジュールを設定するには特別設定日付を選びます。

1. スケジュール設定メニューの [特別設定日] ボタンを選択します。
2. セル・ブロックを選択します。
3. [ZOOM +] ボタンを押すか、特別設定日の設定メニューの [追加] アイコンをクリックします。特定の日付の選択メニューが現われます。
4. 年、月および日のための必要な情報を入力します。
 - ・ ◀/▶/▲/▼: 欄、[OK]または[取消]ボタンを移動するため押します。
 - ・ ◀/▶ (または左右マウス・ボタン): 現在位置の値を変更します。
5. ◀/▶/▲/▼を用いて[OK]ボタンを選び、ENTER押します。仮想キーボード・メニューが現われます。
6. 特別設定日の名前を入力します。▲/▼/◀/▶を用いて文字を選び、それからENTERを押して選択を確認します。
7. ▲/▼を用いて[OK]アイコンを選び、それからENTERを押して特別設定日の日付を設定し、特別設定日の設定メニュー・スクリーンに戻ります。
8. スケジュール時間を選択して、各チャンネルに対して録画方法を設定します。

特別設定日のスケジュール・リストのチェック

- 1. [特別設定日] ボタンが選択されている時に [ZOOM -] を押します。
特別設定日のスケジュール・リストが現われます。
- 2. リストの特別設定日のタイトルを選び、ENTERを押します。タイトル色はオレンジに変わります。
- 3. [編集]アイコンを選び、そしてENTERを押して特別設定日を編集するか、[ZOOM -] を押して特別設定日のスケジュールを削除します。
- 4. ESCを押して特別設定日のスケジュール・リストを終了します。

**注**

特別設定日の録画スケジュールが他の録画と重複していたら、特別設定日の録画だけが有効です。

録画スケジュールのコピー

チャンネルのスケジュール・データからコピー

- チャンネルのスケジュール・データを週の選択日内の他のチャンネルにコピーできます。IP チャンネルのスケジュールデータをコピーすることはできません。
- 1. 週の日を選び、ENTERを押します。
 - 2. コピーしたいチャンネルを選びます。
 - 3. COPYを押すと、チャンネル選択メニューが現われます。
 - 4. ◀/▶を用いて左右どちらかの欄に移動し、ENTERを押してターゲットのチャンネルを選びます。ENTERを押して選択チャンネルを取り消せます。
 - 5. ▲/▼を用いて [OK] を選び、ENTERを押して選択を確認します。

一日のスケジュール・データからコピー


- COPYボタンを用いて、スケジュールした曜日を、別の曜日、平日および週末にコピーできます。
- 1. コピーしたい週の日を選びます。
 - 2. COPYを押すと、日付の選択メニューが現われます。
 - 3. ◀/▶を用いてターゲットの日を選びます。
 - 4. ▲/▼を用いて [OK] を選び、ENTERを押して選択の確認をします。

ノーマル

通常の録画に関する設定。



- Ch: チャンネル番号を表示します。
- 解像度: 録画解像度を選びます
- 画質: 録画品質を選びます。
- フレームレート: フレーム・レートをを選びます。フレーム・レートはフレーム数/秒です。解像度によりフレーム・レートは自動的にセットされます。

**注**

LE4000 シリーズ機種の場合は、標準の設定メニューでのみ解像度を設定することができます。「チャンネル 1 でチャンネル 4」、「チャンネル 5 でチャンネル 8」、「チャンネル 9 でチャンネル 12」、および「チャンネル 13 でチャンネル 16」などのグループごとに同じ解像度が設定されています。
標準項目の解像度を変更すると、[モーション プザー]、[センサー]、[テキスト]、[インスタント/パニック] の項目は自動的に同じ解像度に変更されます。

センサー

センサーの録画に関する設定。



- Ch: チャンネル番号を表示します。
- 解像度: 録画解像度を選びます。LE4000 シリーズの機種は表示のみです。

- ・ 画質: 録画品質を選びます。
- ・ フレームレート: フレーム・レートを選びます。フレーム・レートはフレーム数/秒です。解像度によりフレーム・レートは自動的にセットされます。
- ・ プリ: イベント前の記録時間を指定します。時間が設定されている場合、DVRはイベント信号を検出するまでのデータを記録します。
- ・ ポスト: イベント後の記録時間を指定します。時間が設定されている場合、DVRはイベント信号を検出した後からのデータを記録します。

モーション

モーションの録画に関する設定。



- ・ Ch: チャンネル番号を表示します。
- ・ 解像度: 録画解像度を選びます。LE4000 シリーズの機種は表示のみです。
- ・ 画質: 録画品質を選びます。
- ・ フレームレート: フレーム・レートを選びます。フレーム・レートはフレーム数/秒です。解像度によりフレーム・レートは自動的にセットされます。手動でセットする場合、下表を参照してください。
- ・ プリ: イベント前の記録時間を指定します。時間が設定されている場合、DVRはイベント信号を検出するまでのデータを記録します。
- ・ ポスト: イベント後の記録時間を指定します。時間が設定されている場合、DVRはイベント信号を検出した後からのデータを記録します。

テキスト

テキスト記録についての設定。



- ・ Ch: チャンネル番号を表示します。
- ・ 解像度: 録画解像度を選びます。LE4000 シリーズの機種は表示のみです。
- ・ 画質: 録画品質を選びます。
- ・ フレームレート: フレーム・レートを選びます。フレーム・レートはフレーム数/秒です。解像度によりフレーム・レートは自動的にセットされます。手動でセットする場合、下表を参照してください。
- ・ プリ: イベント前の記録時間を指定します。時間が設定されている場合、DVRはイベント信号を検出するまでのデータを記録します。
- ・ ポスト: イベント後の記録時間を指定します。時間が設定されている場合、DVRはイベント信号を検出した後からのデータを記録します。

インスタント/パニック

インスタント/パニック 記録についての設定。




- ・ Ch: チャンネル番号を表示します。
- ・ 解像度: 録画解像度を選びます。LE4000 シリーズの機種は表示のみです。
- ・ 画質: 録画品質を選びます。
- ・ フレームレート: フレーム・レートを選びます。フレーム・レートはフレーム数/秒です。解像度によりフレーム・レートは自動的にセットされます。手動でセットする場合、下表を参照してください。

IP カメラ

IP カメラの記録設定。



- Ch: IP カメラのチャンネル番号を表示します。
- 解像度: 録画解像度を選びます。
- 画質: 録画品質を選びます。
- フレームレート: フレーム・レートを選びます。フレーム・レートはフレーム数/秒です。解像度によりフレーム・レートは自動的にセットされます。手動でセットする場合、下表を参照してください。

**注**

- IPカメラのビデオ映像が表示されない場合は、[解像度] オプションをCIF (352x240または352x288)に設定してください。
- 各録画設定メニューのフレームレートを手動で設定する場合は、以下を参照してください。

LE5016/LE5008 シリーズ		
解像度		フレーム・レート
NTSC	352*240	1, 3, 5, 7.5, 10, 15, 30
	704*240	
	704*480	
PAL	352*288	1, 3, 5, 6, 7.5, 12.5, 25
	704*288	
	704*576	

LE4016/LE4008 シリーズ		
解像度		フレーム・レート
NTSC	352*240	1, 3, 5, 7.5, 10, 15, 30
	704*240	
	704*480	1, 3, 5, 7.5
PAL	352*288	1, 3, 5, 6, 7.5, 12.5, 25
	704*288	
	704*576	1, 3, 6

イベント設定

センサー



- 入力: ALARM-INターミナルの番号を表示します。
- センサー タイプ: センサの状態は、N.O. (ノーマル オープン) あるいはN.C. (ノーマル クローズ)のいずれかに設定できます。
- カメラ: ALARM-INターミナルに接続されたカメラのチャンネルを選びます。
- 出力: RELAY-OUTターミナルに対するアラーム (リレー) 出力を、出力アラーム (リレー) 信号用に選択します。
- 事前調整: プリセット ナンバーを選択します。入力がアクティブに設定されていると、カメラは選択されているプリセットポジションに移動するため、モニターにはカメラの新しい位置の画像が表示されます。

モーション



- チャンネル: モーション検出を設定するチャンネルを選びます。
- 感度: 作成したモーションの検出領域用の感度を設定します。感度は、レベル01 で10またはオフ (OFF) に設定できます。
- リレー出力: モーションが検知されたときに、RELAY-OUTターミナルの番号を出力アラーム (リレー) 信号用に選択します。
- エリア: プレビュー・ウィンドウ・スクリーンの希望のモーション検出領域を選びます。
 - ◀/▶/▲/▼: 黄色いセル・ボックスを他のセル・ゾーンに移動します。

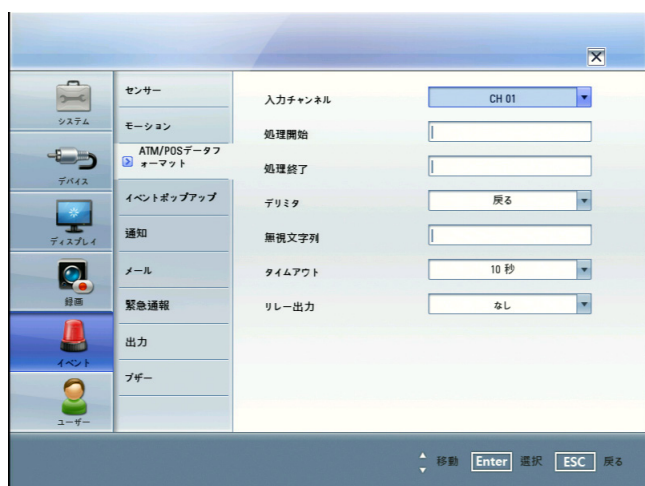
- ENTER: 現在のセル位置のモーション検出領域の選択または取消し。
- 設定の終了はESCを押します。

！ 注

- ・ マウスを用いてモーション検出領域を選べます。
 - 領域の選択: セルを右方向へドラッグ・アンド・ドロップしてモーション検出領域を選びます。
 - 領域の取消し: 選択したセル領域のセルポイントを左方向へドラッグ・アンド・ドロップしてモーション検出領域を取り消します。
- ・ 照明が暗く、被写体の輪郭が不鮮明で見ることができない条件では、感度に関わりなく、モーションイベントが起こらないことがあり得ます。設定に先立ち、モーションイベントを確認してください。

ATM/POSデータフォーマット

ATM (自動現金預払い機) や POS (販売時点情報管理、すなわちキャッシュレジスター) などの機器からのテキスト入力に反応するように DVR を設定できます。この画面で、ご利用入力機器に DVR を連動させることができます。



- ・ 入力チャンネル: マッピングしているカメラのチャンネルを選択します。
- ・ 処理開始: トランザクション開始時刻の文字列を入力します。トランザクションが始まる際に機器が最初に送信するテキスト文字列については、機器メーカーの説明書を参照してください。
- ・ 処理終了: トランザクション終了時刻の文字列を入力します。トランザクションが終了する際に機器が送信するテキスト文字列については、機器メーカーの説明書を参照してください。
- ・ デリミタ: 機器で使う文字を入力して、文字列の終端を区切ります。行区切り文字については、機器メーカーの説明書を参照してください。
- ・ 無視文字列: DVR に無視させたいテキストの文字列をすべて入力します。トランザクション中に機器が送信するテキスト文字列については、装置メーカーの説明書を参照してください。これにより、どのテキスト文字列を記録しなくても問題がないか理解できます。
- ・ タイムアウト: 記録の終了時刻を選択します。
- ・ リレー出力:
 - 01 で 04: RELAY-OUT 端末からアラーム (リレー) 信号を出力します。DVR がテキスト入力を検出すると、連動するすべての RELAY-OUT 端子に出力信号が出力されます。
 - なし: 使用されていません。

！ 注

ATM/POS の記録情報。

オプション設定	ATM/POS の録画操作
[処理開始] および [処理終了] オプションが設定されている場合。	トランザクション開始データを検出すると、自動的に記録を開始します。トランザクション終了のデータを検出すると、アラーム発生後に記録を停止します。
[処理開始] および [処理終了] オプションが設定されていない場合。	トランザクションデータを検出すると、自動的に記録を開始します。トランザクション時間が検出されない場合、アラーム発生後、およびタイムアウトオプションで設定した時間に記録を停止します。

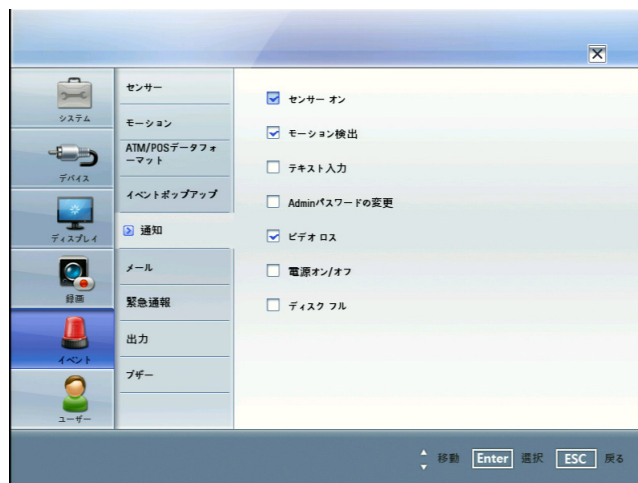
イベント ポップアップ



- ・ スポット モニター: イベント発生時にスポットモニターに表示するイベントタイプを選択します。

通知

選択した項目を有効にしたい場合にチェックします。選択した通知項目が有効になっている場合は、選択した項目の情報を E メールでユーザーに通知します。



- ・ センサー オン: センサーが発生すると E メールを送信します。
- ・ モーション検出: モーション検知が発生すると E メールを送信します。
- ・ テキスト入力: テキスト入力検出されると E メールを送信します。
- ・ Adminパスワードの変更: 管理者パスワードが変更されると E メールを送信します。
- ・ ビデオ ロス: ケーブルが接続されていない、またはカメラが故障しているために、カメラから出力されるビデオ信号が停止すると E メールを送信します。
- ・ 電源オン/オフ: 電源がオン/オフされると E メールを送信します。
- ・ ディスク フル: HDD の残容量がなくなると E メールを送信します。

メール

- ・ 通知: チェックにより通知設定した機器の操作情報を E メールで通知します。
- ・ SMTPサーバー: SMTP サーバアドレスを入力します。通知項目をチェックしないで、SMTP サーバ項目に何も設定されていない場合は、SMTP ポート、ユーザー名、パスワード、および TLS 項目は設定できません。
- ・ SMTPポート: SMTP ポート番号を入力します。普通SMTP用に使用されるは25です。しかしある場合には付加した柔軟性または機密保護のためのこのポート番号を変更するのがよいです。ポート番号を変更する場合は、1で65535の範囲で変更します。
- ・ ユーザー名: ユーザー名を入力します。
- ・ パスワード: パスワードを入力します。
- ・ TLS: TLS (Transport Layer Security : トランスポート層セキュリティ) 機能を利用する場合にチェックします。
- ・ メールアドレス (1で3): メールアドレスを入力します。最大3.電子メールを入力できます。
- ・ Eメール テスト: Eメールの送信試験のために、[Eメールテスト]を選びます。

！ 注

SMTPサーバ、SMTPポート番号、ユーザ名またはパスワード設定はオプションです。DVRはSMTPサーバまたはMTA(メッセージ転送代行)を使用せずに直接電子メールを送れます。ある場合にはすべての電子メールは特別なSMTPサーバに転送する必要があります。そのような場合にはサーバ・ホスト名またはIPアドレスを指定します。SMTPセットアップの詳細は、ネットワーク管理者またはメール・サービスのプロバイダにお尋ねください。

緊急通報

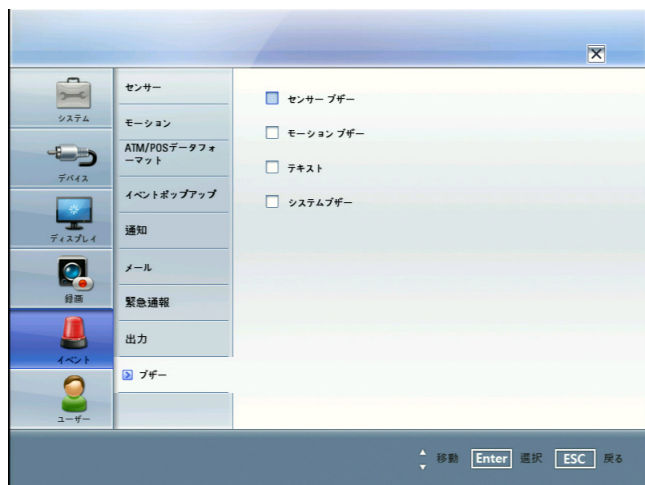
- ・ 通知: チェックにより通知設定した機器の操作情報について、緊急エージェント通知します。
- ・ ホスト名/ポート: 緊急エージェントプログラムのホスト名とポート番号を入力します。この機能のための工場初期ポートは9002です。しかしある場合には付加した柔軟性または機密保護のためこのポート番号を変更するのがよいです。ポート番号を変更する場合は、1025で65535の範囲で変更します。ホスト名とポート番号は9個まで設定することができます。

出力

- ・ リレー オフ
 - アラーム確認: ALM.OFFを用いてアラームを停止します。
 - ポスト アラーム時間: このポスト アラーム時間が経過した後に、アラームが停止されます。
- ・ システム アラーム出力: 選択したケースのアラーム出力端末番号からアラーム (リレー) 信号を出力します。この機能を使用しない場合は、[なし] 項目を選択してください。
 - HDDに壊れているセクタがあるとき。
 - ケーブルが外れたため、またはカメラの誤動作のために、カメラから信号が来なくなりました。

ブザー

選択した項目を有効にしたい場合にチェックします。

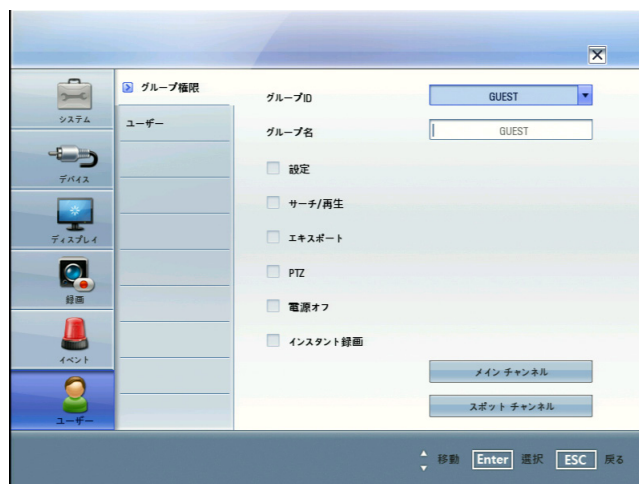


- ・ センサー ブザー: センサーが感知すると音を発します。
- ・ モーション ブザー: モーションを検出すると音を発します。
- ・ テキスト: DVR がテキスト入力を検出すると音が出力されます。
- ・ システム ブザー: オン: 冷却ファンが動作可能になっていない場合、あるいはHDDのセクターが不良である場合に、ブザーが鳴ります。

ユーザ設定

グループ権限

各種アクセス権を設定した新規ユーザーグループを登録することができます。



- ・ グループID: グループ ID を選択してアクセス権を割り当てます。
 - GUEST: ゲストグループのシステムへのアクセス権限には制限があります。このグループのユーザーは、ライブ映像を閲覧し、メインチャンネルまたはスポットチャンネルを隠す機能を設定することができます。
 - ADMINISTRATOR: 管理者グループのシステムへのアクセス権限には制限がありません。このグループのユーザーはすべての機能を利用することができます。
 - [グループ 01] で [グループ 08]: このグループのユーザーは、手動で機能の権限を設定することができます。



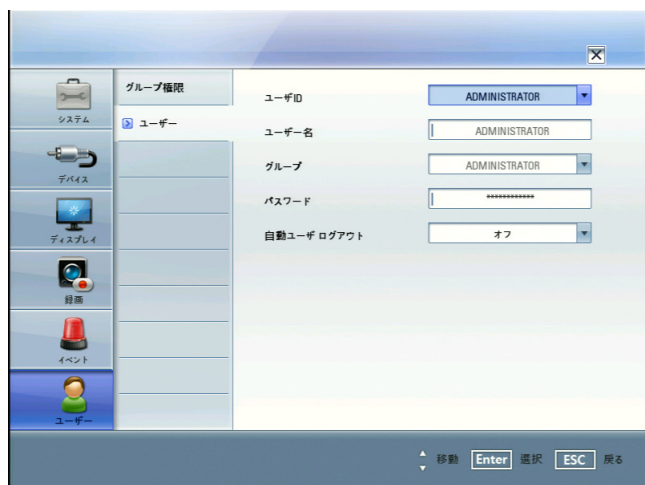
注

権限に対してGUESTまたはADMINISTRATORグループが初めに設定されます。初期設定とグループ名（GUESTおよびADMINISTRATOR）を変更することはできません。

- ・ グループ名: グループ ID 項目からグループ番号を 1 つ選択すると、グループ名を登録することができます。グループ名を入力します。
 - 設定, サーチ/再生, エクスポート, PTZ, 電源オフ, インスタント録画: 選択したグループの権限を設定します。項目をチェックして、権限を有効にします。
- ・ メインチャンネル/スポットチャンネル: チャンネルを選択して、グループユーザーの操作を許可します。隠しチャンネルに LG のロゴが表示されます。

ユーザー

選択したユーザー ID のユーザー名を設定することができます。



1. ドロップダウンリストから [ユーザID] を選択します。
2. 選択したユーザーID のユーザー名を入力します。
3. ドロップダウンリストからユーザーグループを選択します。
4. パスワードを入力します。
5. ドロップダウンリストからユーザーの自動ログアウト時間を選択します。
6. ESC ボタンを押して確認画面を表示します。
7. [OK] を選択して設定を保存するか、[キャンセル] を選択して設定を解除します。

！ 注

- ユーザー ID を [ADMINISTRATOR] に設定すると、[ユーザー名] と [グループ] の項目は変更できませんが、パスワードを変更することはできます。
- ユーザ名とパスワードは大文字と小文字を区別します。

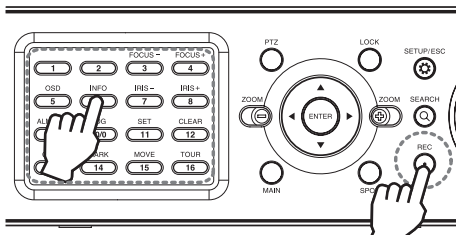
4 操作

インスタント録画

カメラからの画像は内蔵ハード・ディスクに録画されます。すべてのカメラが接続され、時刻と日付を正しく設定したことを確認します。

録画を開始する前に最初にセットアップするシステムの録画メニューの繰返し録画設定をチェックし、次に録画設定を行います。

1. REC ボタンを押してから録画したいチャンネルのボタンを押します。選択したメインモニターのチャンネル画面上で、録画タイプの表示が緑色に点灯します。



2. REC ボタンを押してから録画を停止したいチャンネルのボタンを押します。インスタント録画が停止されると、録画モードはスケジュール録画モード(連続録画/アラーム録画/モーション録画)に変わります。スケジュールが設定されていない場合、メイン モニタの選択されたチャンネル画面上で、ボタンのインジケータはオフになり、録画タイプのインジケータは白になります。

パニック録画

すべてのチャンネルを同時に録画することができます。

この機能はライブチャンネルのみに利用できます。

1. 録画タイプの表示がすべてのライブチャンネル画面で緑色に点灯するまで REC ボタンを押し続けます。DVR が録画を開始します。
2. 録画タイプの表示がすべてのライブチャンネル画面で白色に点灯するまで REC ボタンを押し続けます。DVRは録画を中止します。

注

- 外部録画デバイスはハード・ディスクの録画画像のコピー領域として使用できます。外部録画デバイスへは画像を直接録画できません。
- マウスの左ボタンを用いて、インスタント録画ができます。
 1. カーソルをメイン・モニタ上の希望のチャンネル・スクリーンに移動します。
 2. マウスの左ボタンで録画タイプのインジケータをクリックすると、録画が始まります。これをもう一度クリックすると、インスタント録画は停止して、録画タイプのインジケータがスケジュール録画モード(連続/アラーム録画/モーション録画)に変わります。スケジュールが設定されていない場合は、録画タイプ・インジケータは白に変わります。
- アラーム録画や、モーション録画、連続録画のようにスケジュールされたチャンネルでもインスタント録画ができます。
- インスタント録画が停止されると、録画タイプ・インジケータはスケジュールされた録画モードに変わります。
- 次の場合には、インスタント録画も連続録画もできません。
 - HDDが接続されていない場合
 - HDDがフォーマットされていない場合
 - チャンネルに表示用の映像入力がない場合
 - 上書きを「オフ」または「イベントパーティション」に設定します、するとノーマルパーティションがフルです。
 - HDDの設定で、イベント・パーティションが100%に設定されている場合
- 次の場合には、アラーム録画もモーション録画もできません。
 - HDDが接続されていない場合
 - HDDがフォーマットされていない場合
 - チャンネルに表示用の映像入力がない場合
 - 上書きを「オフ」または「ノーマルパーティション」に設定します、するとイベントパーティションがフルです。
 - HDDの設定で、イベント・パーティションが0%に設定されている場合
 - スケジュール録画(アラーム録画/モーション録画)の設定がなされていない場合
- 録画タイプに対応したHDDのパーティション
 - ノーマル・パーティション: これは、連続録画とインスタント録画のデータを記録するHDDのスペースです。このノーマル・パーティションを0%に設定してしまうと(イベント・パーティションが100%)、連続録画もインスタント録画もできません。
 - イベント・パーティション: これは、アラーム録画とモーション録画のデータを記録するHDDのスペースです。このイベント・パーティションを0%に設定してしまうと、アラーム録画もモーション録画もできません。
- 録画の優先度
インスタント録画 > アラーム記録/モーション記録 > 連続録画

簡単再生

録画を停止しないで録画画像の再生が可能です。

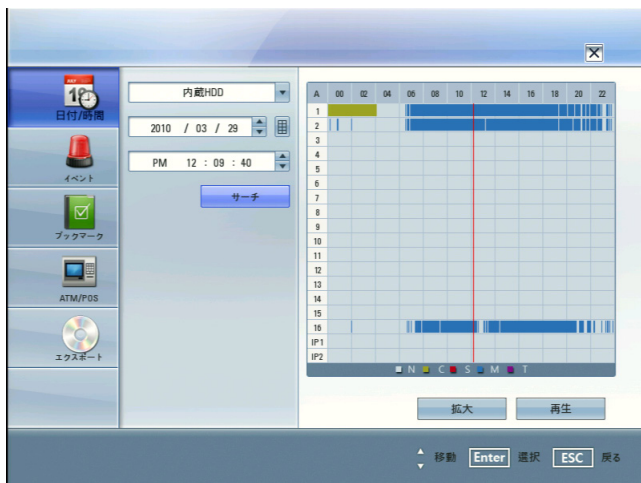
1. 再生したいチャンネルを選びます。
2. ◀▶ (再生) ボタンを押して、1分または2分前の録画画像を再生します。再生画像はフルスクリーン画面で表示されます。
3. 再生の停止は■(停止)を押します。

検索と再生

このデジタル・ビデオ・レコーダの種々の検索機能は、希望の画像の始めに行くのに使用できます。
SEARCHボタンを押すと、検索メニューが表示されます。

日時の検索

日付、時刻および分を指定して録画映像を検索します。



1. ▲/▼ を用いて[日付/時間]アイコンを選び、ENTERを押します。
2. 再生したいデバイスを選択します。
 - ・ 内蔵HDD: 内部HDDデバイスの録画内容の再生または検索。
 - ・ ソース デバイス: ソース デバイスのバックアップ コンテンツを再生あるいはサーチします。
3. 年、月、日そして時刻を設定します。
 - ・ ◀/▶: 前または次の列へ移動します。
 - ・ ▲/▼: 現在の位置の設定値を変更します。
 - ・ ENTER: 列の選択、または設定の確認を行います。
4. [サーチ]アイコンを選び、ENTERを押します。
検索結果が表示されます。
5. ▲/▼ ボタンでチャンネルを選び、ENTERを押します。このステップを繰り返して、他のチャンネルを選択します。
6. ▶ (再生) ボタンを押すか、[再生] アイコンをクリックして再生を開始します。
メインモニターに画像が表示されます。
7. 再生を停止し、検索メニューに戻るためSTOP(■)を押します。
8. [日付/時間]メニューを終了するためSETUP/ESCを押します。

カレンダー アイコンを用いた日にちの選択

1. カレンダー アイコンを選択してから、ENTERを押します。
2. 年または月のコラムを選択してから、ENTERを押します。
3. ◀/▶ を使い、年または月を入力します。
4. ENTERを押して、入力を確定します。
5. ▲/▼/◀/▶ を用いて日にちを選択してから、ENTERを2回押します。
6. [OK] ボタンを選択してから ENTER を押して設定を確定します。

注

- ・ バックアップの進行中に、バックアップ・デバイスのデータを検索できません。
- ・ USBデバイスからバックアップ検索中に外部USBデバイスを取り外さないでください。機能不全の原因になることがあります。
- ・ 時間グラフで示している録画データは録画タイプにより異なるカラーで表示されます。
 - 緑: 連続録画。
 - 赤: センサー録画。
 - 青: モーション検出録画。
 - 灰: 録画なし。
 - 紫: ATM/POS の記録。
- ・ 6時間ごとに詳細時刻を見るのにZOOM+ボタンを用います。

イベント サーチ

録画映像を、日付とイベント・タイプにより検索します。



1. ▲/▼ ボタンで[イベント]アイコンを選び、ENTERを押します。
2. 再生したいデバイスを選択します。
3. 年、月、日そして時刻を設定します。
 - ・ ◀/▶: 前または次の列へ移動します。
 - ・ ▲/▼: 現在の位置の設定値を変更します。
 - ・ ENTER: 列の選択、または設定の確認を行います。
4. ▲/▼/◀/▶ ボタンでチャンネルを選び、ENTERを押して選択を確定します。チャンネルをすべて選択する場合は、[すべてのチャンネル]項目にマークを付けます。
5. [イベントタイプ]を選択してから を押します。

- ▲/▼を用いてイベント・タイプを選び、ENTERを押します。
- [サーチ]アイコンを選び、ENTERを押します。イベント・リストのメニューが現われます。
- イベントリストから録画データを選択してから◀▶(再生)ボタンを押して、[再生]をクリックするか、選択したデータをダブルクリックして再生を開始します。画像がメインモニターに表示されます。
- 再生を停止し、イベント・リストのメニューに戻るためSTOP(■)を押します。
- イベント検索メニューを終了するためSETUP/ESCを繰り返し押しします。

ブックマーク サーチ

ブックマーク機能により登録したブックマークで望みの映像を検索します。



- ▲/▼を用いて[ブックマーク]を選び、ENTERを押します。
- リストの録画データを選び、◀▶(再生)を押して、[再生]をクリックするか選択データをダブル・クリックして再生を開始します。映像はメイン・モニタのPOPウィンドウに表示されます。
- 再生を停止し、ブックマーク・リストのメニューに戻るにはSTOP(■)を押します。
- SETUP/ESCを押してブックマーク検索メニューを終了します。

！ 注

- ブックマーク検索によりバックアップ・データは再生できません。
- 単一のチャンネルの再生のみでブックマークを登録できます。
- リスト上のブックマークを削除する場合は、録画データを選択して、[削除] ボタンを選択してから ENTER を押しします。

ATM/POS 検索

ATM/POS 機器で記録されたテキスト情報を検索します。この機能は、内蔵または外付け HDD のバックアップデータのみに利用できます。



- ▲/▼使用して [ATM/POS]を選び、ENTERを押します。
- 再生したいデバイスを選択します。
- 年、月、日そして時刻を設定します。
 - ◀/▶: 前または次の列へ移動します。
 - ▲/▼: 現在の位置の設定値を変更します。
 - ENTER: 列の選択、または設定の確認を行います。
- ▲/▼/◀/▶ ボタンでチャンネルを選び、ENTERを押して選択を確認します。チャンネルをすべて選択する場合は、[すべてのチャンネル] 項目にマークを付けます。
- 詳細検索の項目を設定します。
 - ナンバー: プリセット番号を表示します。
 - オプションアイテム: 再生したいテキストを入力して検索します。
 - AND/OR: テキスト検索と番号検索機能を同時に使用する場合は、論理演算子を選択します。
 - 値: 値再生したい番号を入力して検索します。
 - >, <, <=, =, >= (比較記号): 番号検索の比較記号を選択します。

>	入力値よりも低い値の検索方法。
<	入力値よりも高い値の検索方法。
<=	入力値以上の値の検索方法。
=	入力値の検索方法。
>=	入力値以下の値の検索方法。

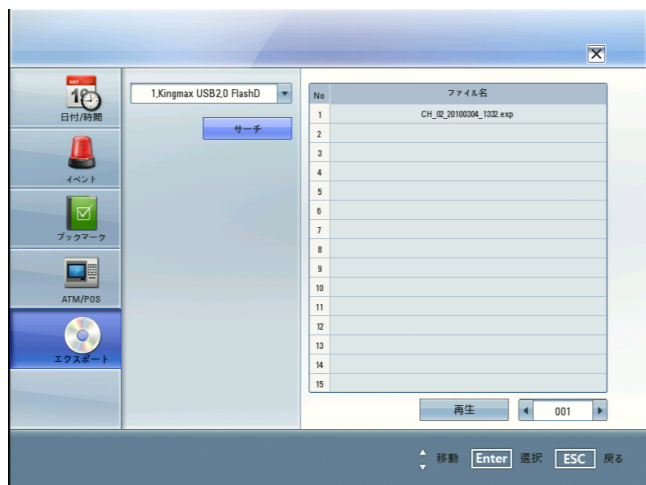
- [サーチ]アイコンを選び、ENTERを押します。
- リストからテキストデータを選択してから◀▶(再生)を押して、[再生]をクリックするか、選択したテキストデータをダブルクリックして再生を開始します。画像がメインモニターに表示されます。
- 停止(■) ボタンを押して再生を停止し、ATM/POS 検索リストメニューに戻ります。

エクスポート検索

外部機器または内蔵 DVD-ROM デバイスからエクスポートしたデータを検索します。

この機能を使用したい場合は、外部機器を接続するか、エクスポートしたデータが保存されている CD/DVD ディスクを挿入してください。警告メッセージが表示されます。

操作を続ける前にエクスポート・デバイスをチェックします。



1. ▲/▼ 使用して [エクスポート] を選び、ENTER を押します。
2. 再生したいデバイスを選択します。
3. [サーチ] アイコンを選び、ENTER を押します。
エクスポートしたファイルのリストメニューが表示されます。
4. エクスポートファイルのリストからエクスポートしたファイルを選択してから ◀▶ (再生) ボタンを押すか、[再生] をクリックして再生を開始します。
画像がメインモニターに表示されます。
5. 停止 (■) ボタンを押して再生を停止し、エクスポートしたファイルのリストメニューに戻ります。

5 LG Network Client プログラム

ご使用の前に

LG Network Client プログラムは、LG 社の DVR で動作する IP 監視ソフトウェアで、ビデオ監視、録画設定、イベント管理機能を提供します。ソフトウェアには、録画済みイベントの複合検索機能が組み込まれています。LG Network Client を使用することで、遠隔からの監視や再生も可能になります。この取扱説明書には、ご利用のネットワーク環境での LG Network Client の利用方法と管理方法について説明しています。ネットワーク環境についてのある程度の知識をお持ちの方を対象としています。技術サポートを必要とする場合は、弊社認定のサービスセンターまでご連絡ください。

推奨PC仕様

LG Network Client プログラムの最高のパフォーマンスと安定性を得るには、以下のオペレーティングシステムが必要です。

項目	動作環境
オペレーティングシステム	Windows XP Professional Service Pack 2 以降
CPU	Intel Pentium IV 以降
ウェブブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6.0 以降
メモリー	512MB 以上の RAM
グラフィックスカード	128MB 以上のビデオ RAM (最新のグラフィックスカードドライバを使用)
解像度	1024 x 768 (32 ビットカラー表示) 以上
ネットワーク	100 メガビットネットワーク (大容量システムにはギガビットネットワークを推奨)

プログラムのインストールを行う前に

- 説明の図は、ご利用の OS (オペレーティングシステム) またはウェブブラウザの種類と異なる場合があります。
- この取扱説明書で説明されている図は Windows XP Professional に基づいています。
- このプログラムの実行中に他のアプリケーションを使用しないでください。メモリー不足やプログラムの故障の原因となります。
- LG 社の DVR がネットワークに接続され、電源が供給されていることを確認してください。

はじめに


お持ちの PC に LG Network Client をインストールする

以下の手順で LG Network Client ソフトウェアをインストールすることができます。

- クライアント・プログラムCDを挿入すると、インストールを自動的に開始します。
ディスクをPCで自動的に実行しなかったら、CDクライアント・プログラムを開き、プログラムを手動でインストールしてください。
- インストールファイルを実行し、以下の画面の指示に従ってお持ちのパソコンにプログラムをインストールします。[LG Emergency Agent] と [LG Export viewer] プログラムは、LG Network Client プログラムをインストールする際に一緒にインストールされます。
- インストール完了後、スタートメニューとデスクトップにプログラムが追加されます。

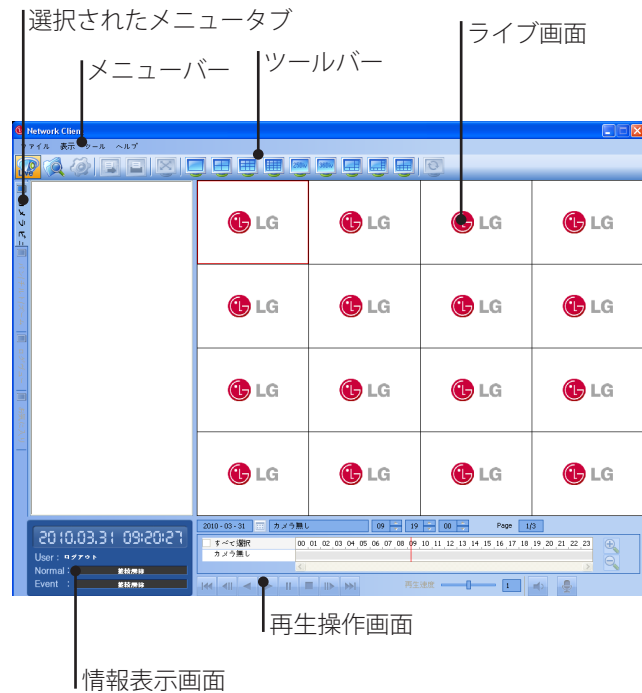
LG Network Client を使用する

- LG Network Client プログラムを起動します。LG Network Client を開始するには、**[スタート]>[すべてのプログラム]>[LG Electronics]>[LG Network Client]>[LG Network Client]** の順で選択するか、デスクトップの **LG Network Client** のアイコンをクリックします。クライアントパスワードの入力画面が表示されます。
- パスワードを入力します。(クライアントパスワードは初期状態で「000000」に設定されています。)
- [OK] ボタンをクリックすると LG Network Client の画面が表示されます。

 **注**

[自動接続] 項目をチェックすると、LG Network Client プログラムは次回から自動的に接続されます。

LG Network Client の概要





メニューバー

メニュー	サブメニュー	内容
ファイル	クライアントのパスワード	Network Client プログラムのパスワードを変更することができます。 1. この項目を選択します。クライアントパスワードの設定画面が表示されます。 2. パスワードを入力します。 3. [OK] をクリックして設定を確定します。
	JPEGで保存する	表示されている画像をキャプチャし、JPEG ファイル形式で保存することができます。 1. 録画データを再生します。 2. 再生中に、希望するポイントで一時停止します。 3. この項目を選択します。JPEG エクスポート 画面が表示されます。 4. 項目を設定します。 5. [保存] ボタンをクリックします。
	バックアップの検索する	バックアップデータを検索し再生します。 1. 検索モードアイコンを選択します。 2. この項目を選択します。バックアップ検索の画面が表示されます。 3. [追加] ボタンをクリックします。 4. 名前を入力します。 5. バックアップファイルを検索して開きます。 6. [OK] ボタンをクリックします。 7. スケジュールや再生操作ボタンを使用してバックアップデータを再生します。

ファイル	バックアップの検索を終了する	バックアップ検索機能を停止/終了する際に使用します。
	ソフトウェアの更新	DVR ソフトウェアの更新や、PTZ プロトコルの追加/更新をする際に使用します。 1. グループ設定を行う権限を与えられたユーザーとして Network Client プログラムにログインします。 2. この項目をクリックします。更新の設定画面が表示されます。 3. リストから更新するデバイスを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> すべて選択: このボタンをクリックすると、リストのデバイスをすべて選択します。 すべて取り消し: このボタンをクリックすると、リストのデバイスの選択をすべて解除します。 4. 更新ファイルを検索して開きます。 5. [アップデート] ボタンをクリックして更新を実行します。更新が完了すると、DVR が再起動されます。 6. [終了] ボタンをクリックします。
	終了	プログラムを終了します。
表示	スクリーン表示	<ul style="list-style-type: none"> チャンネル番号: チャンネル・ウィンドウのチャンネル番号を表示または削除します。 サイト名: チャンネル・ウィンドウのサイト名を表示または削除します。 カメラ名: チャンネル・ウィンドウのカメラ名を表示または削除します。 再生時間: チャンネル・ウィンドウの再生データの日付/時刻を表示または削除します。 PTZ: チャンネル・ウィンドウのPTZカメラのアイコンを表示します。 音声: チャンネル・ウィンドウのオーディオのアイコンを表示します。 すべて選択: チャンネル・ウィンドウのすべてのOSDオプションを表示します。
	シーケンス(表示時間)	5秒、10秒、15秒または20秒のシーケンスを選びます。
	シーケンスモード	<ul style="list-style-type: none"> チャンネルシーケンス: シーケンスモードで選択したサイトの各チャンネルが順次表示されます。 サイトシーケンス: シーケンスモードにログインしたサイトの各チャンネルが順次表示されます。

表示	言語	LG Network Client プログラムの言語を選択します。
	解像度	LG Network Client プログラムの解像度を選択します。
ツール	接続情報	接続リスト 画面を表示します。LG Network Client でサイト名やグループ名の追加、編集、削除をします。
	E-マップ	E-マップ のポップアップ画面を表示します。この機能では、インポートしたマップを使用して、設定した監視環境にある複数のカメラ全体を視覚的に把握することができます。
ヘルプ	クライアント情報	ネットワーククライアントのバージョンを表示します。

 分割	アイコンをクリックすると画面は分割モードに切り替わり、再度アイコンをクリックすると、シーケンス表示で(36分割モードを除きます)画面が切り替わります。画面分割モードを選択します。
 サイクルビュー	すべてのチャンネルを順に見ます。36分割にはシーケンス・モードを使用できません。







情報表示ウィンドウ

現在の日付と時刻、ユーザ情報および選択サイトのHDDリリース・ペースを表示します。

再生操作画面

選択したチャンネルの録画データを再生することができます。

ツールバー

アイコン	内容
 ライブ	監視エリアのライブ映像を表示します。 <ul style="list-style-type: none">カメラビュー: ウィンドウとカメラ情報の監視カメラ映像を見ることができます。パン/チルト/ズーム: PTZカメラを制御できます。ログビュー: システム ログリストを表示します。お気に入り: 現在のカメラ映像の設定を保存することができます。また、以前のカメラビューの設定に戻ることもできます。
 サーチ	検索する監視エリアを表示します。検索機能を使用して、録画データを検索し再生することができます。
 設定	ネットワーク経由で、選択したエリアの構成を設定することができます。
 エクスポート	エクスポート のポップアップ画面が表示されます。
 プリント	選択したチャンネルの記録データの再生を中断するために、PAUSEボタンを押すと、プリント アイコンが使用可能になります。選択したチャンネルの記録データの画像がポーズされていますので、この画像を印刷できます。
 フル スクリーン	ライブ画面をフルスクリーンモードで表示することができます。通常の画面に戻るには、マウスの右ボタンをクリックします。

操作と設定

サイト名またはグループ名の登録

LG Network Client を初めて起動した際に、LG Network Client プログラムで操作を行うサイト名を登録する必要があります。LG Network Client を起動しているパソコンは DVR と同じネットワークにある必要があります。

1. メニューバーの [ツール] から [接続情報] オプションを選択します。接続リストの画面が表示されます。
2. 設定完了後に、[OK] をクリックして設定を確定してから画面を終了します。登録したサイトやグループ名は、[カメラビュー] タブの画面に表示されます。

新規グループ名の作成

1. [グループ追加] ボタンをクリックします。グループ追加画面が表示されます。
2. グループ名を入力します。
3. [OK] ボタンをクリックして追加を確定します。登録したグループ名は 接続リストに表示されます。

グループ名の編集

1. 接続リスト から編集するグループ名を選択します。
2. [編集] ボタンをクリックします。グループ編集 画面が表示されます。
3. 登録したい新規名を既存のグループ名に上書きします。
4. [OK] ボタンをクリックして編集を確定します。

グループフォルダーの削除

1. 接続リスト から編集するグループ名を選択します。
2. [削除] ボタンをクリックします。選択したグループ名が削除されます。
グループ名を削除すると、グループ名内のサイト名もすべて削除します。

サイト名の追加

1. [追加] ボタンをクリックします。接続設定の画面が表示されます。
2. ドロップダウンリストからグループ名を選択します。
3. サイト名の詳細を入力します。
4. IPアドレス: DVRのDDNS設定メニューに入力したIPアドレスまたはホスト名を入力します。
IPアドレスの代りにサーバ名を入力する場合、サーバでDDNS構成を的確にセットアップしてください。
DDNS機能のセットアップにはサーバ・マニュアルを参照してください。

例	IPアドレスを知るには
スタティック IP アドレスを使用する	DVR設定メニューのTCP/IPオプションのIPアドレスを確認します。
ダイナミック IP アドレスを使用する	DHCP 機能を有効にする必要があります。 <ol style="list-style-type: none">1. INFO(情報)を押して、システム情報ウィンドウを表示します。2. 「ネットワークIP」オプションの値を確認します。

DDNS 機能を使用する	DDNS設定メニューの登録ホスト名を確認してください。
DVR は ブロードバンドルーターを経由してネットワークへ接続されます。	ブロードバンドルーターの設定を基準にして、転送ポートを設定する必要があります。設定の詳細に関しては、ブロードバンドルーターのマニュアルを参照してください。ブロードバンドルーターで複数のDVRを使用する場合には、DVR毎にTCP/IPポート番号を設定する必要があります。

5. DVRのTCP/IPポートの番号を入力します。それを入力しない場合ポート番号の初期値が設定されます。
6. ユーザー ID とパスワードを入力します。ユーザー ID とパスワードを設定すると、自動接続機能を利用することができます。
7. [OK] ボタンをクリックします。登録したサイト名は 接続リスト に表示されます。

サイト名の編集

1. 接続リスト から編集するサイト名を選択します。
2. [編集] ボタンをクリックします。接続設定の画面が表示されます。
3. グループ名、IP アドレス、ポート、ユーザー ID、パスワードを指定してから [OK] ボタンをクリックして、設定を確定します。サイト名を編集することはできません。

サイト名の削除

1. 接続リスト から編集するサイト名を選択します。
2. [削除] ボタンをクリックします。選択したサイト名が削除されます。

DVR への接続

1. 登録したサイト名を選択して接続します。
2. サイト名の上でマウスの右ボタンをクリックします。[接続を外す] 項目を選択します。サイト名が自動的に接続され、サイト名が有効になります。サイト名にユーザー ID やパスワードの情報がない場合は、リモートログイン画面が表示されます。その場合、ユーザー ID とパスワードを入力してください。

その場合、ユーザー ID とパスワードを入力してください。

- ユーザー ログイン: DVR を手動で接続する際に選択します。
 - ユーザー ログアウト: サイト名の接続を切断する際に選択します。
 - 接続: DVR に自動で接続する際に選択します。この機能を使用するには、接続情報設定メニューのユーザー ID とパスワードの項目を設定する必要があります。
 - 接続を外す: サイト名の接続を切断する際に選択します。
3. ステップ 1 から 2 を繰り返して、他のサイト名を接続します。



注

LG Network Client プログラムを使用して、5 ユーザーまでを DVR システムに接続することができます。

グループデバイスの接続

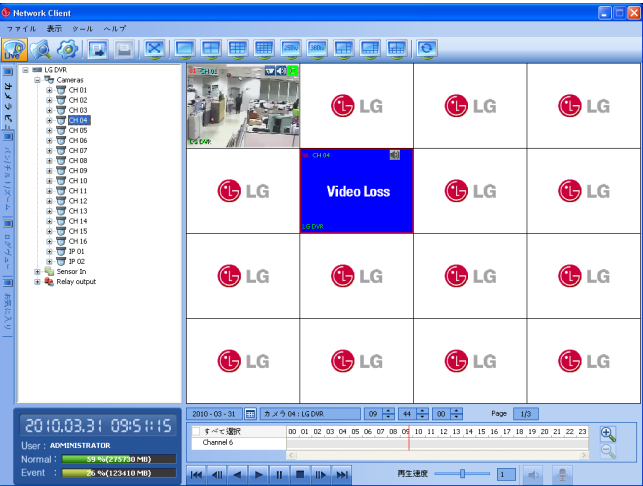
- 登録したグループ名を選択して接続します。
- グループ名の上でマウスの右ボタンをクリックします。
[接続] 項目を選択します。各サイト名がそれぞれ自動的に接続され、サイト名はグループ名内で有効になります。
- ステップ 1 から 2 を繰り返して、他のグループ名を接続します。

サイト名またはグループ名の切断

- 切断するサイト名またはグループ名を選択します。
- サイト名またはグループ名の上でマウスの右ボタンをクリックします。[接続を外す] の項目を選択します。サイト名は切断され、無効になります。
- ステップ 1 から 2 を繰り返して切断します。

ライブ機能を使用する

カメラビュー タブ



- ライブ・モードで[カメラ・ビュー]・タブを選びます。
- 有効のサイト名を選択してからマウスの左ボタンをダブルクリックするか、登録されているサイト名のバツ印をクリックします。
- [Cameras]を選び、左マウス・ボタンをダブル・クリックするか、プラス・マークをクリックします。
- 見たいチャンネル番号を選びます。
- 左マウス・ボタンを用いてチャンネル番号をクリックし、ライブ・ウィンドウ位置にドラッグ・アンド・ドロップします。[Cameras]を選び、ライブ・ウィンドウにドラッグ・アンド・ドロップすると、すべてのチャンネルが表示されます。
- ライブ画像が選択ウィンドウに表示されます。
- ステップ3 で5を繰り返して他のライブ・ウィンドウを設定します。

- !










注
- カメラ・ビューの構成は最初のみ設定してください。その構成セットアップは次回まで記憶されており、そのまま表示されます。
 - カメラビューのメニューツリーについて

	登録されているサイト名またはグループ名を表示します。	
	カメラの情報を表示します。	
		カメラのチャンネル名を表示します。
		解像度を表示します。
		録画フレームレートを表示します。
		画質を表示します。
		録画モードを表示します。
		リレー出力の状態を表示します。
		オーディオ情報を表示します。
	センサー入力情報を表示します。	
		接続されているセンサーの オン/オフ 状態を表示します。
		選択したセンサー入力に対するリレー出力の状態を表示します。
		選択したセンサー入力に対するカメラの状態を表示します。
	リレー出力情報を表示します。	
		マウスのボタンを使用してリレー出力を操作することができます。 <ol style="list-style-type: none">リレー出力の上でマウスの右ボタンをクリックします。オン または オフ を選択します。選択したリレーが有効または無効になります。

簡単再生

録画を停止しないで録画画像の再生が可能です。

1. ライブ・モードで[カメラ・ビュー]・タブを選びます。
2. 再生したいチャンネルを選びます。
3. 日付を選びます。日付は録画データがあるとき青いテキストで表示されます。
4. 再生開始時刻を選びます。開始時刻の検索にタイムラインを用いるとき、Zoom In/Outアイコンを使用してより詳細な検索ができます (4ステップ)。
5. 再生速度を選びます。スライダーを使用して再生速度を選択します。
6. この制御ボタンを用いて再生を開始します。

	このボタンをクリックすると、データの開始地点へジャンプします。
	このボタンを繰り返しクリックすると、1フレームずつ逆コマ送りします。
	このボタンをクリックすると、逆再生/通常再生をします。
	このボタンをクリックすると、再生を一時停止します。
	このボタンをクリックすると、再生を停止します。
	このボタンを繰り返しクリックすると、1フレームずつコマ送りします。
	このボタンをクリックすると、データの最後の1分へジャンプします。
	このボタンをクリックすると、コンピュータのスピーカーのオン/オフを切り替えます。スピーカーボタンは、再生速度オプションが「1」、ライブ画面が1分割モードに設定されている場合に動作します。
	再生モードではマイクアイコンは動作しません。





!

注

- サウンド付きで再生したくない場合、スピーカ・アイコンをクリックして音をミュートにします。
- 音声付きで再生する場合は、ライブ画面を1分割モードに設定する必要があります。
- 管理者グループや検索/再生を行う権限を持つ他のグループユーザーがこの機能を利用することができます。

双方向オーディオコンソール

双方向オーディオ機能は双方向に同時にオーディオストリームを送受信します。
コンピュータのマイクに接続することで、音声をカメラへ伝送することができます。また、コンピュータに接続したスピーカーを経由して、受信した音声をカメラから再生することもできます。
これらのボタンは、ライブ画面が1分割モードになっている場合にのみ動作します。

	オン	このボタンをクリックすると、コンピュータのスピーカーのオン/オフを切り替えます。
	オフ	
	オン	このボタンをクリックすると、コンピュータのマイクのオン/オフを切り替えます。
	オフ	

パン/チルト/ズーム タブ

ネットワークを経てPTZカメラを制御できます。

1. カメラ・ビューのモードでPTZカメラ・チャンネルのウィンドウを選びます。
2. パン/チルト/ズーム・タブを選びます。
3. PTZカメラの制御に仮想リモート・コントロール・ボタンを使用します。

!

注

- 他の人がDVRを用いてPTZカメラを制御すると、PTZ機能を使用できません。その逆も同様です。
- 管理者グループやPTZ操作の権限を持つグループのユーザーがこの機能を利用することができます。

ボタン	機能
	カメラのパン/チルトに用います。
	プリセット位置を確認します。
	パン、チルト、ズームの速度を選択します。
	カメラのズームを調節します。
	カメラの焦点を手動で調節します。
	カメラの絞りを手動で調節します。
	選択プリセット番号を表示
	プリセット番号を入力します。
	カメラのプリセット位置を登録します。
	カメラをプリセット位置に動かします。
	記憶したプリセット位置を削除します。
	プリセット・ツアーを開始します。
	PTZカメラの設定メニューを表示します。

プリセット設定


プリセット位置は、位置番号と関連付けられるカメラ監視位置(プリセット位置)を登録する機能です。
位置番号の入力により、プリセット位置にカメラを移動できます。

!

注

この機能を働かせるには、PTZカメラのプリセット位置を登録する必要があります。

プリセット位置の登録方法

1. カメラを希望する位置に移動させます。
2. [SET]アイコンをクリックします。
3. 登録したいプリセット番号を選びます。
4.  アイコンをクリックします。
位置と番号は記憶されます。
5. ステップ1で4を繰り返して別の位置を追加します。




注

プリセット番号はこのデジタル・ビデオ・レコーダで0から255まで使用できます。しかし実際のプリセット範囲はPTZカメラにより異なります。


プリセット位置の映像へ変更

以下の機能はプリセット機能付きのカメラのみに使用できます。プリセット機能によりコンビネーション・カメラをプログラムしたプリセット位置に移動させます。コンビネーション・カメラにはあらかじめプリセット位置をプログラムする必要があります。

1. [MOVE]アイコンをクリックします。
2. 番号アイコンを使用して記憶したプリセット位置のインデックス番号を入力し、それから  アイコンをクリックします。カメラはカプリセット位置に移動し、その位置のカメラの映像がモニタに現われます。

プリセット位置のクリア

記憶したプリセット位置を削除できます。

1. [CLEAR]アイコンをクリックします。
2. 数字ボタンを押して記憶したプリセットインデックス番号を入力してから、 アイコンをクリックしてプリセット位置を削除します。



注

この機能はPTZカメラにより使用できないことがあります。


プリセット位置のツアー

プリセット位置のすべてをツアーできます。

1. [TOUR]アイコンをクリックします。
カメラの登録したすべてのプリセット位置が選ばれ、カメラ位置の画像がアクティブなウィンドウでオンになります。
2. [TOUR]アイコンをクリックしてツアーを停止できます。

PTZカメラのセットアップ

メニューのそれぞれの項目をセットアップしてカメラを条件に適応させることができます。

1. [SETUP]アイコンをクリックします。
選択した画面に設定メニューが表示されます。
2. 矢印と  アイコンを使用してオプションを設定します。





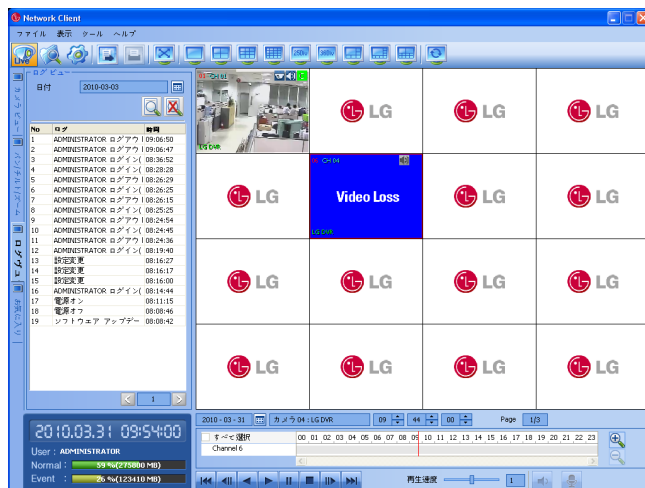
注

- ・ 詳細はPTZカメラのマニュアルを参照してください。
- ・ このプログラムで適切に動作しないPTZカメラもあります。

ログビュー タブ

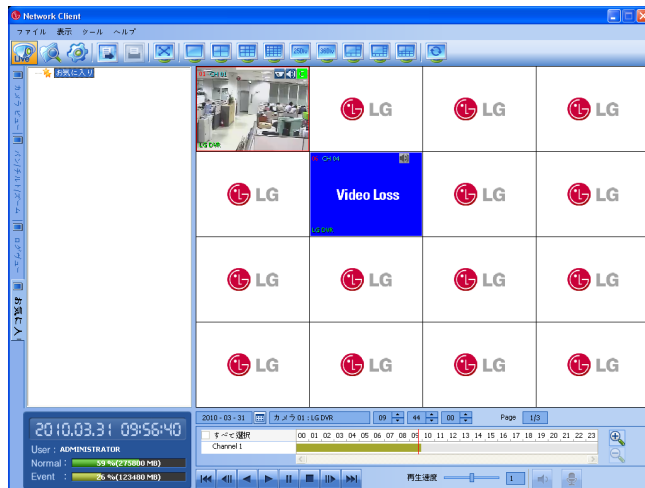
選択したサイト名のシステム ログリストを表示することができます。

1. [ログビュー]タブを選択します。
2.  アイコンをクリックして、日付を選択します。
(選択可能な日は青いテキスト・カラーで表示されます。)
3.  アイコンをクリックします。
システム・ログがリストに表示されます。



お気に入り タブ

現在のカメラ映像の設定を保存することができます。このお気に入りの設定は、次回表示する際に役立ちます。



お気に入りの追加

1. [お気に入り]タブを選択します。
2. [お気に入り]項目を選択し、マウスの右ボタンをクリックします。
3. [お気に入りの追加]項目を選択します。お気に入りの追加画面が表示されます。
4. お気に入り名を入力してから [OK] ボタンをクリックします。入力したお気に入り名は、お気に入り項目に表示されます。

お気に入りの編集

1. 登録したお気に入り名を選択し、マウスの右ボタンをクリックします。
2. [お気に入りの編集]項目を選択します。お気に入りの編集画面が表示されます。
3. 新しい名前を既存の名前に上書きします。
4. [OK] ボタンをクリックして追加を確定します。

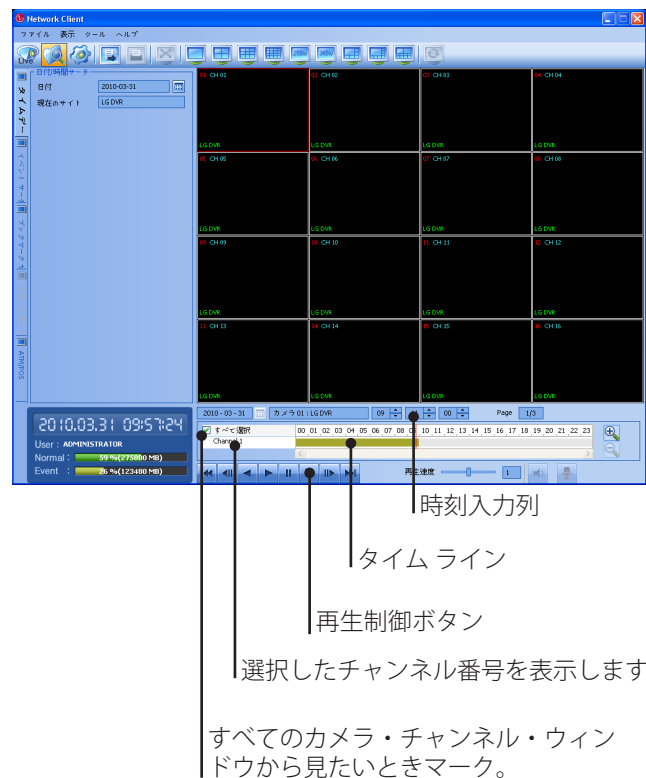
お気に入りの削除

1. 登録したお気に入り名を選択し、マウスの右ボタンをクリックします。
2. [お気に入りの削除] 項目を選択します。選択したお気に入り名が削除されます。

検索機能を使用する

日付/時刻検索 タブ

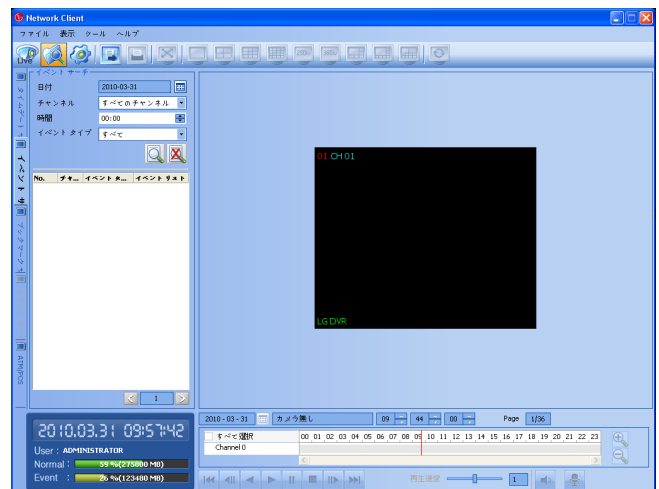
日付、時刻および分を指定して録画映像を検索します。



1. [日付/時間サーチ] タブを選択します。
2. アイコンをクリックして、日付を選択します。(選択可能な日は青いカラーで表示されます)
3. 見たいチャンネル・ウィンドウを選択します。
4. スケジュールや時刻入力列を使用して時刻を選択して、録画データを検索します。
5. 再生制御ボタンを用いて検索したデータを再生できます。

イベント検索 タブ

日付とイベント・タイプによる録画映像を検索します。



1. [イベント サーチ] タブを選択します。
2. アイコンをクリックして、日付を選択します。(選択可能な日は青いカラーで表示されます)
3. イベント検索にカメラ・チャンネルを選びます。
4. 開始時刻を選択します。
4. イベント・タイプを選びます。
6. アイコンをクリックします。イベント・リストが表示されます。
7. イベント・リストのイベントを選びます。
8. 再生制御ボタンを用いて検索したデータを再生できます。

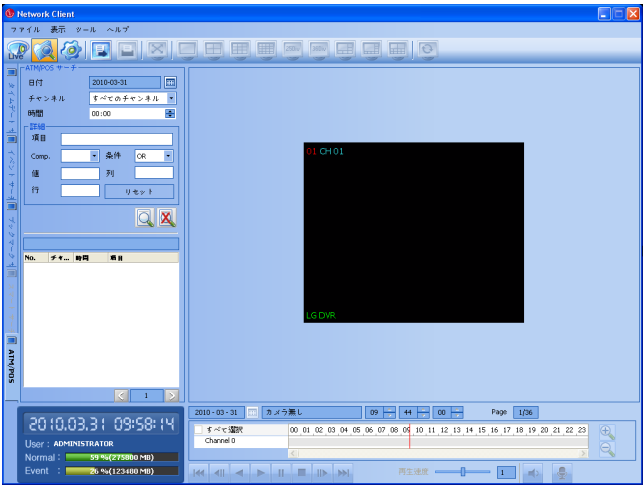
ブックマーク サーチ

ブックマーク機能を利用して、登録したブックマークが付いている希望の映像を検索します。

1. [ブックマーク サーチ] タブを選択します。
2. アイコンをクリックします。すべてのブックマーク・データがリストに表示されます。
3. リストのデータを選びます。
4. 再生制御ボタンを用いて検索したデータを再生できます。

ATM/POS 検索 タブ

ATM/POS 機器で記録されたテキスト情報を検索します。
この機能は、内蔵または外付け HDD のバックアップデータのみに利用できます。

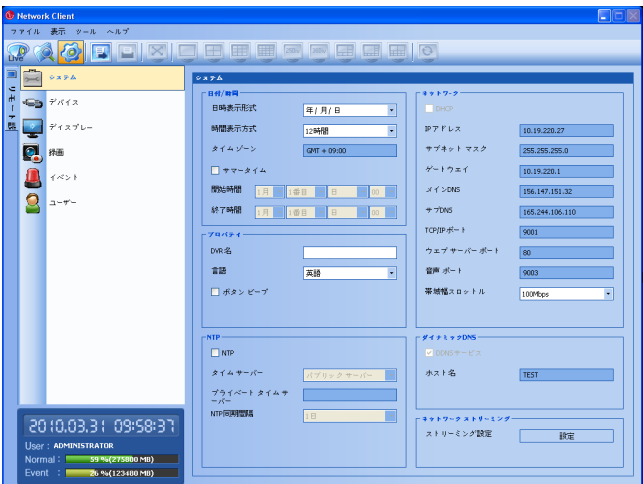


- 1. [ATM/POS サーチ] タブを選択します。
- 2. アイコンをクリックして、日付を選択します。
(選択可能な日は青いカラーで表示されます)
- 3. イベント検索にカメラ・チャンネルを選びます。
- 4. 開始時刻を選択します。
- 5. 詳細検索の項目を設定します。
 - 項目: 再生したいテキストを入力して検索します。
 - Comp.: 番号検索の比較記号を選択します。
 - 条件: テキスト検索と番号検索機能を同時に使用する場合は、論理演算子を選択します。
 - 値: 再生したい番号を入力して検索します。
 - 列: 列を入力します。
 - 行: 行を入力します。
 - リセット: すべての項目をリセットします。
- 6. アイコンをクリックします。
- 7. 再生制御ボタンを用いて検索したデータを再生できます。

リモート設定機能を使用する

この機能を使用して、選択したサイト名の DVR 構成を設定することができます。

システムの設定



日付/時間

- ・ 日時表示形式: 日付表示フォーマットを選びます。
- ・ 時間表示方式: 時刻表示フォーマットを選択します。
- ・ タイム ゾーン: クライアント プログラムでは、このオプション設定は利用できません。
- ・ サマータイム: サマータイム機能を利用する場合はチェックを付けます。
- ・ 開始時間: 夏時間開始の時間を選択します。
- ・ 終了時間: 夏時間終了の時間を選択します。

プロパティ

- ・ DVR名: 最長 20 文字までの DVR 名を入力します。
- ・ 言語: 設定メニューや DVR の情報を表示する言語を選択します。
- ・ ボタン ビープ: チェックして、ボタンビープ音を有効にします。ボタンを使用すると、ボタンビープ音が鳴ります。

NTP

- ・ NTP: DVR の日付と時刻を NTP (Network Time Protocol : ネットワークタイムプロトコル) と呼ばれるタイムサーバと同期させる場合はチェックを付けます。NTP サーバの名前を指定します。
- ・ タイム サーバー: ほとんどの場合に公共を選びます。DVR は5つの公共サーバ (time.nist.gov、time-a.nist.gov、time-b.nist.gov、ntp.nasa.gov、clock.isc.org) の平均時間を得ます。
- ・ プライベート タイムサーバー: プライベート・タイム・サーバのIPアドレスまたはホスト・ネームを入力します。
- ・ NTP同期間隔: NTPタイム・サーバとの同期間隔を1日、1時間、1か月および1週間に設定できます。

ネットワーク

- [帯域幅スロットル] 項目以外のこれらの項目設定は、クライアントプログラムで行うことはできません。
- ・ 帯域幅スロットル: データトラフィックを調整するためにバンド幅を入力します。

DDNS

これらの項目設定は、クライアントプログラムで行うことはできません。

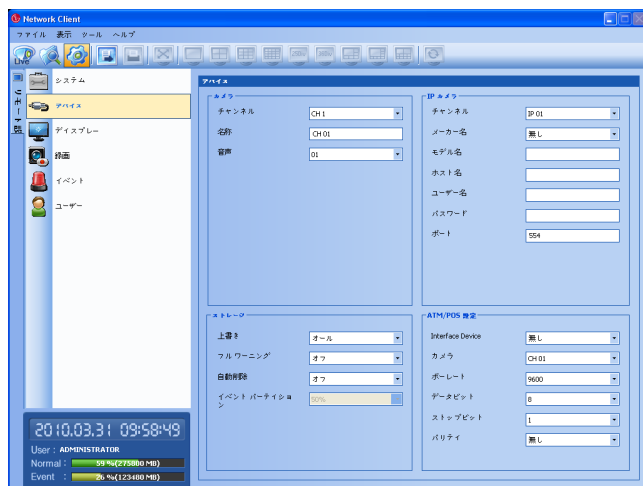
ネットワークストリーミング

- 1. [設定] ボタンをクリックして、ネットワークストリーミングの構成画面を表示します。
 - ・ Ch: チャンネル番号を表示します。
 - ・ 解像度: 録画解像度を選びます。「チャンネル1でチャンネル8」や「チャンネル9でチャンネル16」などのグループごとと同じ解像度が設定されています。
 - ・ 画質: 録画品質を選びます。
 - ・ フレーム レート: フレーム・レートを選びます。フレーム率は、1 秒あたりの転送可能なフレーム数です。解像度によりフレーム・レートは自動的にセットされます。手動でセットする場合、下表を参照してください。

解像度		フレーム・レート
NTSC	352*240	1, 3, 5, 7.5, 10, 15
	704*240	1, 3, 5, 7.5
	704*480	1, 3
PAL	352*288	1, 3, 5, 6, 7.5, 12.5
	704*288	1, 3, 5, 6
	704*576	1, 3

- 2. [OK] ボタンをクリックして設定を確定します。

デバイスの設定



カメラ

- ・ チャンネル: チャンネル番号を選択します。
- ・ 名称: 最長 20 文字までの チャンネル名を入力します。
- ・ 音声: オーディオ入力のチャンネルを選択します。選択したオーディオ入力のチャンネルから聞くことができます。IP チャンネルでこの機能は利用できません。

IP カメラ

- ・ チャンネル: 希望するチャンネルを選択して接続されている IP カメラを設定します。
- ・ メーカー名: ドロップダウンリストから IP カメラのベンダーを選択します。
- ・ モデル名: IP カメラの機種名を入力します。
- ・ ホスト名: IP カメラの IP アドレスを入力します。
- ・ ユーザー名: ユーザー ID を入力します。
- ・ パスワード: ユーザーパスワードを入力します。
- ・ ポート: ポート番号を入力します。

ATM/POS 設定

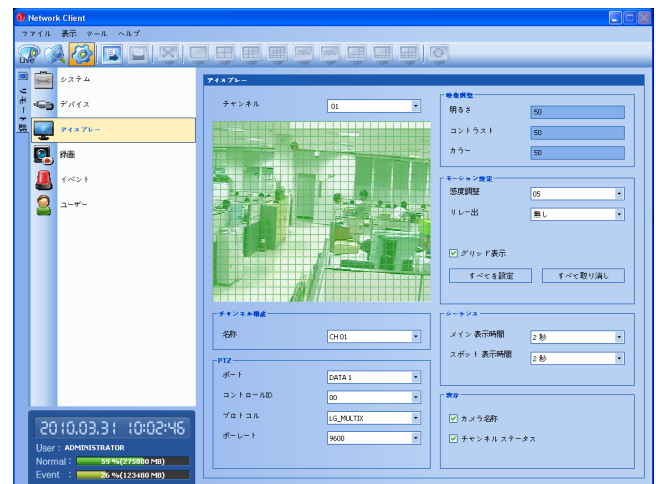
- ・ Interface Device: ドロップダウンリストからインターフェースデバイスを選択します。
- ・ カメラ: ATM/POS 機器とマッピングするカメラの番号を選択します。
- ・ ボーレート: DVR と ATM/POS 機器間の通信速度のパラメーターを希望する設定速度で選択します。
- ・ データビット: RS-485 通信のデータビット数を選択します。
- ・ ストップビット: 設定したいパラメーターを選択します。ストップビットは、調歩同期方式の伝送での最終データに付加されます。
- ・ パリティ: 設定したいパラメーターを選択します。パリティビットは、パリティチェック (奇偶検査) を行うためにデータに付加されます。

ストレージ

- ・ 上書き:
 - オール: HDDの通常パーティションとイベント・パーティションに録画が一杯になったら上書き録画が可能です。
 - ノーマルパーティション: HDDのノーマルパーティションに録画が一杯になったらHDDのノーマルパーティションに上書き録画が可能です。
 - イベントパーティション: HDDのイベント・パーティションに録画が一杯になったらHDDのイベント・パーティションに上書き録画が可能です。

- オフ: オーバライトを行いません。
- ・ フルワーニング: HDDがオーバーフローしたら、警告メッセージが表示されます。
- ・ 自動削除: 自動消去日を設定します。自動消去日を設定すると、選定した日数以内にあるデータ以外の記録データが消去されます。この自動消去機能は、35分毎に動作します。
- ・ イベントパーティション: クライアントプログラムでは、このオプション設定は利用できません。

ディスプレイの設定



- ・ チャンネル: 調節する望みのチャンネルを選んでください。

チャンネル構成

- ・ 名称: 設定したいチャンネルを選択します。

PTZ

RS-485ターミナルのデータ・ポートを経て接続したPTZカメラの設定。

- ・ ポート: 背面パネルのRS-485ターミナルの接続データ・ポートを選びます。DATA 2ポートは、DVRに接続されたPTZカメラを制御するために、あるいはLKD1000コントローラを用いて制御するために使用されます。データ 2ポートを経由して PTZ カメラを使用する場合は、[リモコンID]を [なし] に設定する必要があります。LKD1000 コントローラでデータ 2 ポート経由の DVR を操作する場合は、[リモコンID]を 1 で 16 の番号で設定する必要があります。
- ・ コントロールID: PTZ カメラの ID を選択します。PTZカメラと同じ設定であるか確認します。
- ・ プロトコル: PTZカメラがサポートするプロトコルを選びます。
- ・ ボーレート: 通信速度を選びます。

映像調整

各カメラ・チャンネルの明るさ、コントラストおよびカラー設定を調節します。プレビュー・ウィンドウから設定スクリーンを見られます。

- ・ 明るさ: 選択チャンネルの明るさの値を0から100に合わせてください。
- ・ コントラスト: 選択チャンネルのコントラスト値を0から100に合わせてください。
- ・ カラー: 選択チャンネルのカラー値を0から100に合わせてください。

モーション設定

- ・ 感度調整: 作成したモーション検出エリアの感度を設定します。
- ・ リレー出: モーションが検出されたときの出力アラーム信号にRELAY-OUTターミナルの番号を選びます。
- ・ エリア: モーション検出エリアは、出荷時のデフォルト設定で全エリアにされています。プリビュー ウィンドウ画面上でマウスを使用して、このエリアを変更できます。
 - エリアの選択: マウスの左ボタンでスタート ポイントをクリックして、エンド ポイントまでドラッグアンドドロップします。
 - エリアの消去: マウスの右ボタンでスタート ポイントをクリックして、エンド ポイントまでドラッグアンドドロップします。

！ 注

- ・ グリッドを表示したいときは、[グリッド表示]オプションをマークします。
- ・ すべての領域を選びたいときは、[すべてを設定]ボタンをクリックするか、または選択したエリアを取り消すため[すべて取り消し]ボタンをクリックします。

シーケンス

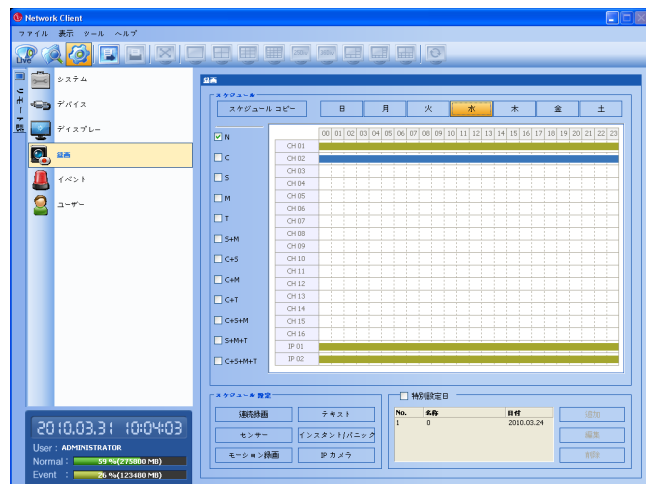
選択した画面分割モードですべてのチャンネルをシーケンス表示します。16 分割 (LE5008/LE4008 シリーズは 8 分割) 表示のシーケンスモードは使用できません。シーケンスモードで表示中に、画面分割モードを変更すると、シーケンス機能は停止します。

- ・ メイン 表示時間: メインモニターに表示するチャンネルのシーケンス時間を選択します。
- ・ スポット 表示時間: スポットモニターに表示するチャンネルのシーケンス時間を選択します。

スクリーン表示

- ・ カメラ名称: チェックして、チャンネル画面のチャンネル名を表示または削除します。
- ・ チャンネル ステータス: チェックして、チャンネル画面のチャンネルステータスを表示または削除します。

録画の設定



1. 週の日を選びます。
2. 望みの録画オプションをマークします。
 - ・ N: 予約録画なし。
 - ・ C (連続録画): プリセット時間に自動的に録画を開始。

- ・ S (センサーのイベント録画): センサー・アラームが指定時刻前に発生すると自動的に録画を開始。
- ・ M (モーションのイベント録画): 指定時刻内に、モーションを検出すると自動的に録画を開始。
- ・ T (テキストイベント記録): 指定された時間内にテキストの入力が検出されると、自動的に記録を開始します。
- ・ S+M (センサー+モーション録画): センサー・アラーム信号の入力があると、またはモーションが検出されると、自動的に録画を開始。
- ・ C+S (連続+センサ イベント録画) : 録画は、プリセットされた時刻から自動的に始まります。指定された時間以内にセンサ アラームが起これば、連続録画モードがセンサ イベント録画モードに変わり、録画が自動的に始まります。
- ・ C+M (連続+モーション イベント録画) : 録画は、プリセットされた時刻から自動的に始まります。指定された時間以内にモーションが検知されると、連続録画モードがモーション イベント録画モードに変わり、録画が自動的に始まります。
- ・ C+T (連続+テキストイベント記録): プリセット時間から自動的に記録を開始します。指定時間内にテキストの入力が発生した場合、連続記録モードはテキストイベント記録モードに変更され、自動的に記録を開始されます。
- ・ C+S+M (連続+センサ+モーション イベント録画) : 録画は、プリセットされた時刻から自動的に始まります。センサ アラーム信号が入力されると、またはモーションが検知されると、連続録画モードがモーション イベント録画モードに変わり、録画が自動的に始まります。
- ・ S+M+T (センサー+モーション+テキストイベント記録): センサーアラーム信号が入力されると、モーションが検出されるか、またはテキスト入力が発生し自動的に記録を開始します。
- ・ C+S+M+T (連続+センサ+モーション+テキスト イベント記録): プリセット時間から自動的に記録を開始します。センサアラーム信号が入力されると、指定時間内にモーションが検出されるか、またはテキスト入力が発生することでイベントの記録モードが発生し、連続記録モードが変更されて自動的に記録を開始します。

3. 希望のチャンネルを選び録画をスケジュールします。
4. 開始時刻のセル・ブロックをクリックし、時間セル・ブロックをドラッグ・アンド・ドロップして選びます。
または
チャンネルの開始時刻セル・ブロックをクリックし、チャンネル間をドラッグ・アンド・ドロップして、複数のチャンネルについて時間ブロックを一度で選びます。セル・ブロックのカラーが変わります。

スケジュールされている日のコピー設定

1. コピーするソース日を選びます。
2. [スケジュール コピー] ボタンをクリックして、スケジュールのコピー設定画面を表示します。
3. コピー先の日を、曜日、平日または週末のオプションの中から選びます。
4. 日付のコピー 項目の [コピー] ボタンをクリックして、スケジュールされているその日のデータをコピーします。

スケジュールされているチャンネルのコピー設定

1. コピーする日を選択します。
2. [スケジュール コピー] ボタンをクリックして、スケジュールのコピー設定画面を表示します。
3. コピーするチャンネルを選択します。
4. コピー先のチャンネルを選択します。
5. チャンネルコピー 項目の [コピー] ボタンをクリックして、スケジュールされているチャンネルのデータをコピーします。

スケジュール構成の設定

1. いずれのボタンでもクリックしても、録画設定の画面を表示します。
2. 詳細項目を設定します。
3. [OK] ボタンをクリックして設定を確定します。

特定日を追加するには

1. [特別設定日] 項目にマークを付けます。
2. [追加] ボタンをクリックします。
3. 特別設定日の名前を入力します。
4. 日付を選択して特定日のスケジュールを設定してから、[追加] ボタンをクリックします。特別設定日がリストに追加されます。
5. 望みの録画オプションをマークします。
6. 各チャンネルごとにスケジュール時間を設定します。

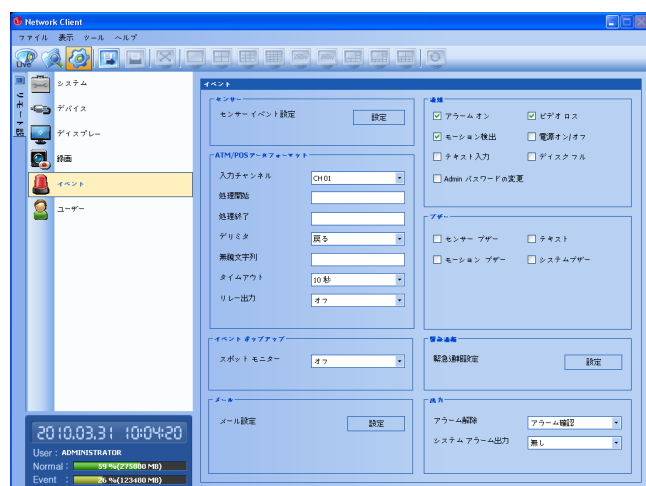
特定日を編集するには

1. リストから特定日のタイトルを選択します。
2. [編集] ボタンをクリックします。
3. 日付を選択して特定日のスケジュールを変更してから、[編集] ボタンをクリックします。
4. 各チャンネルごとにスケジュール時間を変更します。

特定日を削除するには

1. リストから特定日のタイトルを選択します。
2. [削除] ボタンをクリックします。

イベント設定



センサー

1. [設定] ボタンをクリックします。
2. 下層項目の設定。
 - ・ センサー: ALARM-INターミナルの番号を表示します。
 - ・ 入力タイプ: センサの状態は、N.O.(ノーマル オープン)あるいはN.C.(ノーマル クローズ)のいずれかに設定できます。
 - ・ リンクされたカメラ: ALARM-INターミナルに接続されたカメラのチャンネルを選びます。

- ・ 出力: RELAY-OUTターミナルに対するアラーム (リレー) 出力を、出力アラーム (リレー) 信号用に選択します。
- ・ 事前調整: プリセット ナンバーを選択します。入力がアクティブに設定されていると、カメラは選択されているプリセットポジションに移動するため、モニターにはカメラの新しい位置の画像が表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックして設定を確定します。

ATM/POS データフォーマット

ATM (自動現金預払い機) や POS (販売時点情報管理、すなわちキャッシュレジスター) などの機器からのテキスト入力に反応するように DVR を設定できます。この画面で、ご利用入力機器に DVR を連動させることができます。

- ・ 入力チャンネル: マッピングしているカメラのチャンネルを選択します。
- ・ 処理開始: トランザクション開始時刻の文字列を入力します。トランザクションが開始する際に機器が最初送信するテキスト文字列については、機器メーカーの説明書を参照してください。
- ・ 処理終了: トランザクション終了時刻の文字列を入力します。トランザクションが終了する際に機器が送信するテキスト文字列については、機器メーカーの説明書を参照してください。
- ・ デリミタ: 機器で使う文字を入力して、文字列の終端を区切ります。行区切り文字については、機器メーカーの説明書を参照してください。
- ・ 無視文字列: DVR に無視させたいテキストの文字列をすべて入力します。トランザクション中に機器が送信するテキスト文字列については、装置メーカーの説明書を参照してください。これにより、どのテキスト文字列を記録しなくても問題がないか理解できます。
- ・ タイムアウト: 記録の終了時刻を選択します。
- ・ リレー出力:
 - 01 で 04: RELAY-OUT 端末からアラーム (リレー) 信号を出力します。DVR がテキスト入力を検出すると、連動するすべての Alarm-Out 端子に出力信号が出力されます。
 - オフ: 使用されていません。



注

ATM/POS の記録情報。

オプション設定	ATM/POS の録画操作
[処理開始] および [処理終了] オプションが設定されている場合。	トランザクション開始データを検出すると、自動的に記録を開始します。トランザクション終了のデータを検出すると、アラーム発生後に記録を停止します。
[処理開始] および [処理終了] オプションが設定されていない場合。	トランザクションデータを検出すると、自動的に記録を開始します。トランザクション時間が検出されない場合、アラーム発生後、およびタイムアウトオプションで設定した時間に記録を停止します。

イベント ポップアップ

- ・ スポット モニター: イベント発生時にスポットモニターに表示するイベントタイプを選択します。

メール

1. [設定] ボタンをクリックします。
2. 下層項目の設定。
 - ・ 通知: チェックにより通知設定した機器の操作情報を E メールで通知します。
通知オプションが設定されていない場合、その他のオプションを設定できません。
 - SMTPサーバー: SMTP サーバアドレスを入力します。
 - SMTPポート番号: SMTP ポート番号を入力します。普通SMTP用に使用されるは25です。しかしある場合には付加した柔軟性または機密保護のためのこのポート番号を変更するのがよいです。ポート番号を変更する場合は、1 で 65 535 の範囲で変更します。
 - ユーザー名: ユーザー名を入力します。
 - パスワード: パスワードを入力します。
 - ・ TLS: TLS (Transport Layer Security : トランスポート層セキュリティ) 機能を利用する場合にチェックします。
 - メールアドレス (1 で 3): メールアドレスを入力します。最大3.電子メールを入力できます。

注

SMTPサーバ、SMTPポート番号、ユーザー名またはパスワード設定はオプションです。DVRはSMTPサーバまたはMTA(メッセージ転送代行)を使用せずに直接電子メールを送れます。ある場合にはすべての電子メールは特別なSMTPサーバに転送すべきです。そのような場合にはサーバ・ホスト名またはIPアドレスを指定します。SMTPセットアップの詳細は、ネットワーク管理者またはメール・サービスのプロバイダにお尋ねください。

3. [OK] ボタンをクリックして設定を確定します。

通知

選択した項目を有効にしたい場合にチェックします。選択した通知項目が有効になっている場合は、選択した項目の情報を E メールでユーザーに通知します。

- ・ アラーム オン: センサーが発生すると E メールを送信します。
- ・ モーション検出: モーション検知が発生すると E メールを送信します。
- ・ テキスト入力: テキスト入力検出されると E メールを送信します。
- ・ Adminパスワードの変更: 管理者パスワードが変更されると E メールを送信します。
- ・ ビデオ ロス: ケーブルが接続されていない、またはカメラが故障しているために、カメラから出力されるビデオ信号が停止すると E メールを送信します。
- ・ 電源オン/オフ: 電源がオン/オフされると E メールを送信します。
- ・ ディスク フル: HDD の残容量がなくなると E メールを送信します。

ブザー

選択した項目を有効にしたい場合にチェックします。

- ・ センサー ブザー: センサーが感知すると音を発します。
- ・ モーション ブザー: モーションを検出すると音を発します。
- ・ テキスト: DVR がテキスト入力を検出すると音が発せられます。
- ・ システムブザー: 冷却ファンが動作可能になっていない場合、あるいはHDDのセクターが不良である場合に、ブザーが鳴ります。

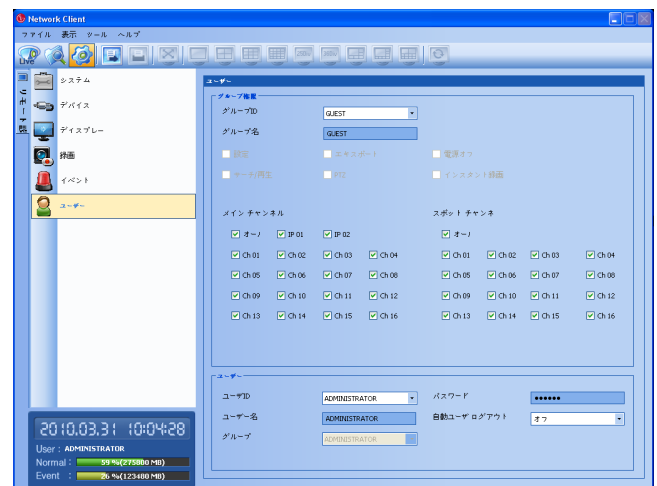
緊急通報

1. [設定] ボタンをクリックします。
2. 下層項目の設定。
 - ・ 通知: チェックにより通知設定した機器の操作情報について、緊急エージェント通知します。
 - ・ ホスト名/ポート: 緊急エージェントプログラムのホスト名とポート番号を入力します。この機能のための工場初期ポートは9002です。しかしある場合には付加した柔軟性または機密保護のためこのポート番号を変更するのがよいです。ポート番号を変更する場合は、1 025 で 65 535 の範囲で変更します。ホスト名とポート番号は 9個まで設定することができます。
3. [OK] ボタンをクリックして設定を確定します。

出力

- ・ アラーム解除
 - アラーム確認: ALM.OFFを用いてアラームを停止します。
 - ポスト アラーム時間: このポスト アラーム時間が経過した後に、アラームが停止されます。
- ・ システム アラーム出力: 選択したケースのアラーム出力端末番号からアラーム (リレー) 信号を出力します。この機能を使用しない場合は、[なし] 項目を選択してください。
 - HDDに壊れているセクタがあるとき。
 - ケーブルが外れたため、またはカメラの誤動作ために、カメラから信号が来なくなりました。

ユーザ設定



グループ権限

各種アクセス権を設定した新規ユーザーグループを登録することができます。

- ・ グループID: グループ ID を選択してアクセス権を割り当てます。
 - GUEST: ゲストグループのシステムへのアクセス権限には制限があります。このグループのユーザーは、ライブ映像を閲覧し、メインチャンネルまたはスポットチャンネルを隠す機能を設定することができます。
 - ADMINISTRATOR: 管理者グループのシステムへのアクセス権限には制限がありません。このグループのユーザーはすべての機能を利用することができます。
 - [グループ 01] で [グループ 08]: このグループのユーザーは、手動で機能の権限を設定することができます。

！ 注

GUESTとADMINISTRATORグループは、初期設定ではすべての機能に権限のある状態で設定されています。初期設定とグループ名（GUESTおよびADMINISTRATOR）を変更することはできません。

- グループ名: グループID項目からグループ番号を1つ選択すると、グループ名を登録することができます。グループ名を入力します。
 - 設定, サーチ/再生, エクスポート, PTZ, 電源オフ, インスタント録画: 選択したグループの権限を設定します。項目をチェックして、権限を有効にします。
- メインチャンネル/スポットチャンネル: チャンネルを選択して、グループユーザーの操作を許可します。隠しチャンネルにLGのロゴが表示されます。

ユーザー

- ドロップダウンリストから[ユーザID]を選択します。
- 選択したユーザーIDのユーザー名を入力します。
- ドロップダウンリストからユーザーグループを選択します。
- パスワードを入力します。
- ドロップダウンリストからユーザーの自動ログアウト時間を選択します。

！ 注

- ユーザーIDを[ADMINISTRATOR]に設定すると、[ユーザー名]と[グループ]の項目は変更できませんが、パスワードを変更することはできます。

エクスポート機能を使用する

記録されている画像や音声データを、DVR装置からPCへコピーできます。管理者やエクスポート操作の権限を持つ他のグループユーザーがこの機能を利用することができます。

- サーバー: 選択されているサーバーの名前が表示されます。
- チャンネル: データをエクスポートするチャンネルを選択します。
- 音声: 音声データのエクスポートのオンまたはオフを設定します。
- スタート: コピーの開始日/開始時刻を設定します。
- 終了: コピーの終了日/終了時刻を設定します。
- 保存先: エクスポートされたデータを保存する現在のフォルダーを表示します。エクスポートされたデータを保存するPC上のフォルダーを選択(作成)できます。最初のフォルダーは、「C:\LG Exported Files」です。保存するフォルダーを変更する場合は、[...] ボタンをクリックして新規フォルダーを選択します。
- データの種類: 保存するファイルのフォーマットを、「Native [*exp]」と「AVI」から選択できます。ネイティブファイルは、拡張子「exp」(*.exp)を用いて、AVIファイルは拡張子「avi」(*.avi)を用いて保存されます。保存された「*.exp」ファイルはエクスポートビューアプログラムで再生できます、そして「*.avi」ファイルはウィンドウズメディアプレーヤーまたはその他の「avi」ファイルプレーヤーで再生できます。
- 追加: リストにエクスポート設定を追加します。
- 編集: リスト上で選択されたエクスポート設定を編集します。
- 消去: リストから選択されたエクスポート設定スケジュールを削除します。
- エクスポート: クリックして、選択されたエクスポート設定のデータをエクスポートを開始します。
- キャンセル: クリックして、データのエクスポートをキャンセルします。
- 戻る: クリックしてウィンドウを閉じます。

データのエクスポート方法

- チャンネル項目を設定します。複数のチャンネルを選択する必要があります。
- オーディオ項目を選択します。
 - オン: オーディオデータをエクスポートする場合に選択します。
 - オフ: オーディオデータをエクスポートしない場合に選択します。
- 日にち/時刻のオプションを設定します。
- エクスポートされたデータを保存するPC上のフォルダーを設定します。
- データのタイプを選択します。

6. [追加]ボタンをクリックします。構築されたサーバー、開始時刻、終了時刻およびステータスをリストします。
7. リストに登録済みのエクスポート設定スケジュールを選択します。
8. [エクスポート]ボタンを押して、設定を確認します。ステータスコラムに、エクスポートのステータスが表示されます。

！ 注

- エクスポートされるデータのファイル名は、自動的に[サーバー名_チャンネル番号_エクスポート開始時刻.exp(または"avi")]となります。
- エクスポートディレクトリを指定しないと、エクスポートディレクトリはデフォルトのディレクトリに設定されます、またサブディレクトリは開始時刻で作成されます。
- ネットワーククライアントからログアウトすると、エクスポートシーケンスは終了されます。
- 存在しないデータに対して時刻を設定すると、エクスポート機能は動作しません。
- 次の条件に対して、警告メッセージが表示されます。
 - 開始日/開始時刻が終了日/終了時刻と同じであるとき。
 - 開始日/開始時刻が終了日/終了時刻よりも後であるとき。
 - チャンネルを選択しない場合。

E マップ機能を使用する

この機能を使用することで、設定した監視環境にある複数のカメラ全体を視覚的に把握することができます。

E マップの概要



- マップビュー分割モード の選択アイコン: アイコンをクリックすると、画面が分割モードに切り替わります。マップビュー分割モードを選択します。
- E マップ設定アイコン: クリックをして操作時間を設定します。
- E-マップリスト: インポートしたE マップを表示します。
- E マップビュー画面: 登録したE マップを表示します。

マップの追加

1. [E-マップ追加] ボタンをクリックします。E マップの追加画面が表示されます。
2. [E-マップパス] 項目の [...] ボタンをクリックします。
3. マップ画像のファイルを検索して開きます。E マップ名を変更する場合は、[E-マップ名] 項目を選択して新しい名前を既存の名前に上書きします。
4. カメラのチャンネルやセンサーをマップ上にドラッグ&ドロップします。

！ 注

登録したカメラやセンサーを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

- 4.1 カメラまたはセンサーを選択します。
- 4.2 選択したカメラまたはセンサーの上でマウスの右ボタンをクリックします。
- 4.3 [削除] 項目を選択して削除します。
5. [OK] ボタンをクリックして、設定を保存してから画面を閉じます。
6. ステップ1から5を繰り返すことで、最大16画面の他のE マップを追加することができます。

マップ表示

1. E マップのリストから表示したいE マップを選択します。
2. 表示したいE マップの位置にE マップをドラッグ&ドロップします。画面に映像が表示されます。
3. ステップ1から2を繰り返すことで、他のE マップを表示することができます。

マップの編集

1. E マップビュー画面から編集したいE マップを選択します。
2. [E-マップ編集] ボタンをクリックします。E マップビュー画面が表示されます。
3. カメラの位置やE マップ名の編集、カメラの削除を行います。
4. [OK] ボタンをクリックして、E マップを保存してから画面を終了します。

マップの削除

1. E マップのリストから表示したいE マップを選択します。
2. [E-マップ削除] ボタンをクリックします。選択したE マップが削除されます。

イベントの削除

1. イベントリストからイベントを選択します。
2. [削除リスト] ボタンをクリックしてイベントを削除します。[すべて選択] 項目を選択すると、イベントがすべて削除されます。

追加プログラム

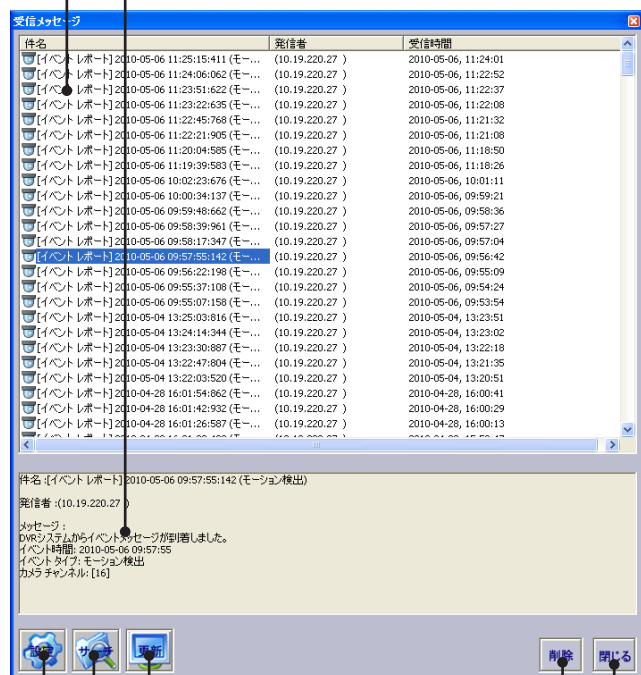
緊急エージェント・プログラム

イベント設定メニューの 通知 と 緊急 項目の設定に応じて、システムからメッセージが送信されます。

Emergency Agent の概要

受信したメッセージのリストを表示します。

受信メッセージの詳細ビューです。



リストの選択メッセージを削除します。

[受信メッセージ] ウィンドウを閉じます。

リストの受信メッセージをリフレッシュします。

検索ウィンドウを表示します。

ポート変更ウィンドウを表示します。

Emergency Agent プログラムを有効にするには

1. [LG Emergency Agent] プログラムを起動させます。Emergency アイコンがシステムトレイに表示されます。
2. 通知機能が動作する時はいつでもメッセージ・ボックスがスクリーンの右下に表示されます。メッセージ・ボックスは5秒間表示されます。
3. メッセージをチェックします。
4. [受信メッセージ] ウィンドウを表示するため5秒以内にメッセージ・ボックスをクリックしてください。
または
システム・トレイのプログラム・アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[メッセージ・ボックスの確認] オプションを選び[受信メッセージ]ウィンドウを表示します。
5. 受け取ったメッセージのすべての主題をチェックできます。
6. [閉じる]ボタンをクリックして[受信メッセージ]ウィンドウを閉じます。

ポートの設定

1. [設定]ボタンをクリックします。オプションのウィンドウが表示されます。
2. 緊急エージェント・リッスン・ポートのポート番号を入力します。工場初期ポートは9002です。しかしある場合には付加した柔軟性または機密保護のためこのポート番号を変更したほうがよいです。
3. [OK]ボタンをクリックして終了します。

メッセージサーチ

1. [サーチ]ボタンをクリックします。メッセージ検索ウィンドウが表示されます。
2. 検索方法を選びます。
 - ・ イベント サーチ: メッセージの選択イベント・タイプにより検索。
 - ・ 日付サーチ: 選択日付により検索。
3. [サーチ]ボタンをクリックします。検索メッセージは[受信メッセージ] ウィンドウに表示されます。

リストからメッセージの削除

1. 削除したいメッセージを選びます。
2. [削除]ボタンをクリックします。確認ウィンドウが表示されます。
3. [あり] ボタンをクリックしてメッセージを削除します。

エクスポート・ビューア・プログラム

このプログラムを用いてPCのエクスポート・データを再生できます。このプログラムは、クライアント・プログラムインストールする時、あるいはデータをエクスポートする時に、自動的にインストールされます。

Export Viewer の概要



メニューバー

メニュー	サブメニュー	内容
ファイル	開く	データ・ファイルを開きます。
	プリント	現在、再生されている画像を印刷します。
	JPEGで保存する	表示されている画像をキャプチャし、JPEG ファイル形式で保存することができます。 1. 録画データを再生します。 2. 再生中に、希望するポイントで一時停止します。 3. この項目を選択します。JPEG エクスポート 画面が表示されます。 4. 項目を設定します。 5. [保存] ボタンをクリックします。
	終了	プログラムを終了します。
表示	言語	エクスポート・ビューア・プログラムで使う言語を選択します。
	映像サイズ	データファイルのビデオサイズを選択します。

ヘルプ	Export Viewer 情報	エクスポート・ビューアの情報を表示します。
-----	------------------	-----------------------

再生制御ボタン

	ファイルの初めへジャンプ
	一時停止
	再生を開始
	再生を停止
	ファイルの終わりへジャンプ

透かしの設定

再生するファイルが元の録画ファイルと異なると、透かしオプション付きで警告ウィンドウが現われます。

映像情報

- ・ ファイル名: ファイル名を表示します。
- ・ 映像信号方式: データのビデオ・タイプを表示します。
- ・ 日にち/時刻: データの録画日と時刻を表示します。
- ・ 録画モード: データの保存モードを表示します(連続、モーション、その他)。
- ・ カメラ番号: 録画データのカメラ・チャンネル番号を表示します。

エクスポートしたデータを再生するには

1. PC 上の、または外付け USB デバイスの Export Viewer フォルダ内にある LG Export Viewer プログラムを起動させます。
エクスポートされるデータCDあるいはDVDを挿入すると、エクスポート・ビューア・プログラムが自動的に起動します。
2. [ファイル]>[開く]を選択します。開いているウィンドウが表示されます。
3. USBデバイスのルート・ディレクトリを選択して、希望するファイルを検索、選択します。
再生可能なファイル・フォーマットの例は、Channel name_date_time.exp です。
4. [開く]ボタンをクリックします。
選択データは自動的に再生されます。
5. 再生を停止するのに [STOP]ボタンをクリックします。

プログレッシブバー

プログレッシブバーを使用して画像を直接検索することができます。スライダーバーをクリックしたまま再生したい位置へ移動してから指を離します。または、プログレッシブバー上で再生したい地点をクリックします。

ウェブビューアー プログラム

ウェブビューアーへのログイン








1. ウェブ ブラウザーを開始します。ブラウザーは Windows の Internet Explorer を推奨します。
2. アドレスボックスに、「HTTP://」 と DVR の IP アドレスを入力します。DVR の DDNS 設定メニューで入力したホスト名を使用できます。
3. キーボードの ENTER ボタンを押すと、Web ビューアとリモートログイン メニューが表示されます。
4. ユーザー名とパスワードを入力します。
5. [OK] ボタンをクリックします。


！ 注

- ウェブ ビューアーが表示されない場合は、DVRのTCP/IPの設定を確認します。
- DVRを最初に接続する場合には、セキュリティ警告ウィンドウが表示されます。ウェブ ビューアーを使用するプログラムをインストールするためには、セキュリティ警告ウィンドウの[Install]をクリックする必要があります。[Don't Install]をクリックすると、ウェブ ビューアー プログラムは利用できません。

Web ビューアの概要

ウェブビューアーを用いて、ライブ画像を制御できます。

	クリックして ライブビュー モードに切り替えます。
	クリックして PTZ ビュー モードに切り替えます。
	クリックすると、WebViewer コントロール プロパティのポップアップ画面が表示されます。
	このアイコンをクリックして、リモート エキスポートのウィンドウがポップアップされます。
	ライブ画面をフルスクリーンモードで表示することができます。通常の画面に戻るには、マウスの右ボタンをクリックします。
	スクリーン・モード選択アイコン
	すべてのチャンネルを順に見ます。16分割にはシーケンス・モードを使用できません。
	表示されている画像をキャプチャし、JPEG ファイル形式で保存することができます。最初のフォルダーは、「C:\LG Exported Files」です。保存フォルダーを変更する場合は、WebViewer コントロール プロパティの画面から [保存先] 項目を設定します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. チャンネル画面を選択します。 2. 選択したチャンネル名を確認します。 3. 録画データを検索してから、録画データを再生します。 4. 再生中の画像をキャプチャしたい時にこのボタンをクリックします。

	ライブ画面表示ウィンドウ。
--	---------------

ライブ画面コントロール

- マウス左ボタン：チャンネルを選択します。1スプリットモードに設定する場合は、選択されたチャンネルをダブルクリックします。普通の画面に戻るには、再度ダブルクリックします。
- マウス右ボタン：フルスクリーンモードを終了する場合は、マウスの右ボタンをクリックしてノーマルスクリーンに戻します。

PTZビュー コントロール

1. [PTZ View] アイコンをクリックして、PTZ ビューモードに切り替えます。PTZバーチャルリモコンが表示されています。
2. PTZカメラを制御するためにバーチャル リモート コントロール ボタンを使います。

録画データの再生

1. カメラの表示画面を選びます。
2. 日付を選びます。日付は録画データがあるとき青いテキストで表示されます。
3. 再生開始時刻を選びます。開始時刻の検索にタイムラインを用いるとき、Zoom In/Outアイコンを使用してより詳細な検索ができます (4ステップ)。
4. 再生したいチャンネルを選択します。「Select All」オプションをチェックすると、すべてのチャンネルを各カメラのチャンネルウィンドウに同時に再生できます。
5. 再生速度を選びます。
6. この制御ボタンを用いて再生を開始します。

！ 注

管理者や検索/再生を行う権限を持つ他のグループユーザーがこの機能を利用することができます。

WebViewer コントロール プロパティの画面を使用する

1. [設定] ボタンをクリックします。WebViewer コントロール プロパティの画面が表示されます。
2. 下層項目の設定。
 - スクリーン表示: 確認後、チャンネル画面の選択したオプションを表示または消します。
 - シーケンス: チャンネルのシーケンス時間を選択します。
 - Video Display: DirectX 機能を使用する場合はチェックします。
 - Snapshot Save Path: キャプチャされた画像ファイルを保存するフォルダーを表示します。保存するフォルダーを変更する場合は、[...] ボタンをクリックして新規フォルダーを選択します。
3. [OK]ボタンをクリックして終了します。

6 トラブルシューティング

サービス部に連絡する前に問題の考えられる原因を以下のガイドによりチェックしてください。

症状	解決法
システムの電源がオンにならない。	電源コードが正しく接続されているかチェックします。
	入力電圧が正しいかチェックします。
	電源コードが正しく接続されていてもシステムの電源がオンにならなかったら、サービス・センターに連絡してください。
システム電源はオンになるが、ビデオ・データがモニタに表示されない。	モニタ電源コードが適切に接続されているをチェックする。
	モニタがオンになるか確かめる。
	DVRのビデオ出力コードが適切にモニタに接続されているかチェックする。
	電源コードのプラグを抜き、再度プラグを差し込む。
カメラ番号はスクリーンに表示されますが、カメラの画像は表示されません。	カメラのビデオ出力がDVRシステムに正しく接続されているかチェックする。
	カメラの電源コードが正しく接続されているかチェックする。
	カメラからDVRシステムへのビデオ・コード接続が問題でないかチェックする。
	DVRシステムをオフにし、再びオンにする。
カメラのビデオはスクリーンに示されるが、システムはビデオを録画しない。	録画設定メニューの録画モードをチェックする。
	システム情報ウィンドウのHDD 検出状態をチェックする。HDD 検出の状態が異常であれば、HDDフォーマットとHDDの接続をチェックする。
	HDD の録画可能なディスク・スペースをチェックする。
	上書き録画セットアップ・メニューの上書きオプションをチェックする。
録画したビデオの検索が不可能。	タイム・テーブルの検索を試みている時に録画したビデオ・データがあるか確認する。
	録画したビデオ・データがなかったら、録画設定メニューの録画モードをチェックする。
	システム情報ウィンドウのHDD 検出状態をチェックする。HDD 検出状態が異常な場合、HDDフォーマットとHDDの接続をチェックする。
	ユーザのタイプをチェックする。検索機能はノーマル ユーザには利用できません。

症状	解決法
ビデオ・データと共に録音したオーディオ・データを再生しない。	オーディオ録音オプションがオーディオを録画したいカメラに正しく設定されているかチェックする。
	システムの背面上のスピーカとオーディオ(ライン入力)が正しく接続されていることをチェックする。
	接続スピーカが正しく働かチェックする。
ビデオの色がおかしいカメラ、あるいはビデオの映像が異常であるカメラがある。	システムに接続されているカメラに問題があったら、動作しているビデオ出力に別のカメラを試みてカメラが破損していないことを確かめる。
	この装置のビデオ・フォーマットの設定が接続カメラのビデオ・フォーマットと同じであることをチェックする。領域により、カメラのビデオ・フォーマットはPALかNTSCをサポートできます。カメラのビデオ・フォーマットにより、ビデオ・プロセス非常に異なることがあり、従ってビデオ・フォーマットの設定がカメラのビデオ・フォーマットと異なっていれば、ビデオ・データの認識は難しいです。
画像に多くのノイズがある。	カメラからのビデオ信号出力に問題があるかどうかどうかチェックする。正常なビデオ出力を持っている別のカメラで試みて、カメラが損傷しないことをチェックする。
	カメラとDVR間のビデオ・コード接続が切断や交叉していたり短絡しているかチェックする。
	カメラとDVRシステム間のビデオ・コード接続のまわりに高圧ワイヤーがあるかチェックする。それはビデオ品質を劣化させるノイズ問題の原因になることがある。
	カメラとDVRシステム間のビデオ・コード接続が正しいビデオ・コードであるかチェックする。通常の電力供給コードがビデオ・コードの代りに用いられているとき、スクリーンのノイズが発生することがあります。
接続センサーが動作しない。	カメラ設定のセンサーの種類が接続センサーと同じであることをチェックする。
	システムが録画設定メニューの録画スケジュール・ウィンドウでセンサーを使用するように設定されていることをチェックする。
	センサーがALARM-INに適正に接続されていることをチェックする。
接続PTZカメラが動作しない。	システムがカメラ設定メニューでPTZカメラを使用するように設定されていることをチェックする。
	PTZカメラの電源コードが適正に接続されていることをチェックする。
	PTZカメラの信号コードがをきちんと接続されていることをチェックする。
	PTZカメラを制御する選択チャンネルをチェックする。
	ユーザのタイプをチェックする。PTZカメラの制御はNormal Userには利用できません。

症状	解決法
この製品から送られるE-mailが受信されない。	SMTPサーバ設定なしで電子メールの受信に失敗する。 <ul style="list-style-type: none">・ ネットワークが正しく設定されていることを確かめる。・ メールアドレスが正しく入力されていることを確かめる。・ 入力したメールアドレスのスパム・メール設定をチェックする。 (スパム・メールの設定をしたら、いくらかのメールが自動的に削除されるかスパム・メール・ボックスに分類されます)・ SMTPメール・サービス会社のいくつかはプライベートSMTPサーバからの電子メールサをポートしていない。この場合、公用SMTPサーバを使用する。
	SMTPサーバを設定しても電子メールが受信されない。 <ul style="list-style-type: none">・ [Please check the SMTP information or internet cable]メッセージが表示される時<ul style="list-style-type: none">- SMTPサーバ・アドレスをチェックする。- SMTPポート番号をチェックする。(標準設定は25)。- ネットワーク設定をチェックする。・ [Please check the authentication information]メッセージが表示される時。<ul style="list-style-type: none">- ユーザ名をチェックする。- パスワードをチェックする。・ エラー・メッセージなしでメール受信に失敗した。<ul style="list-style-type: none">- 受信者のメールアドレスをチェックする。- 電子メールが受信者のメール設定でスパム・メールとして分類されていないことをチェックする。
リモート・コントロールが正常に動作しない。	リモート・コントロールの電池をチェックする。
	リモート・コントロールのID設定をチェックする(ページ29参照)。

!

注

以下の症状が現れたら、:

- ・ 前面パネルLEDのうちのどれかが点灯しない。
- ・ DVRが正常に動作しない。

下記によりDVRを再起動できます:

1. DVRをオフにし、数秒後にDVRを再びオンにする。
2. レコーダ が再起動後に正常に動作しないとき、サービス・センターにご連絡ください。

7

補足説明

推奨デバイス

推奨 USB メモリー

番号	メーカー	モデル名	容量
1	LG Electronics	XTICK Mini Slide / Slide	1 G/2 G/4 G
2	IOCELL	CellDisk Swing	1 G/2 G/4 G/8 G
3	Sony	MicroVault	1 G/2 G/4 G
4	HP	S100 / M100 / V210W	1 G/2 G/4 G
5	SANDISK	Cruzer Micro	512 M/1 G
6	TRANSCEND	JF	1 G/2 G
7	IMATION	Flash Drive Nano / Icon	1 G/2 G
8	Samsung Electronics	Classic&Simple	1 G/2 G/4 G/8 G



注

上の表に示されているUSBメモリー以外のUSBメモリーの中には、DVRがその読み込みはしますが正常な動作をしないかもしれないものがあります。

推奨外部機器

デバイス	容量	ファイルシステム	クライアントプログラムのバックアップ検索機能
USB HDD	最大 1 TB。	FAT 32 (このファイルシステムは Windows と Linux のシステムに対応します。)	あり
E-SATA HDD	制限なし。	EXT4 (Linux ファイルシステム) このファイルシステムは、Windows システムに対応しません。	なし

推奨 CD/DVD メディア

メーカー	CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW
Imation	○	○	○	○	○	○
Memorex	○	○	○	○	○	○
MITSUBISHI	○	○	○	○	○	○
PHILIPS	○	○	○	○	○	○
SONY	○	○	○	○	○	○
Verbatim	○	○	○	○	○	○




注

8 cm (1.4 GB) のMini CD/DVD および二層タイプのメディア(DVD)はサポートしていません。

デバイスに対してサポートされている機能のリスト

デバイス	インスタント・バックアップ	スケジュール・バックアップ	エクスポート	構成インポート/エクスポート
CD/DVD	O	X	O	X
USB memory	O	O	O	O
USB HDD	O	O	O	O
E-SATA HDD	O	O	O	O

**注**

構成インポート/エクスポート用にUSBメモリ・スティックまたはHDDを用いる場合、他の外部USBデバイスを切断しなければなりません。

サポートされているPTZカメラのリスト

プロトコル名	メーカ	パン/チルト	ズーム	フォーカス	アイリス	プリセット	ツアー	セットアップ
		スピードコントロール						
LG_MULTIX	LG	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
		あり	なし					
LG_MULTIX EXTENTION	LG	なし	あり	あり	あり	なし	なし	あり
		なし	なし					
LG_SD168	LG	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
		あり	なし					
LG_LS903	LG	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり
		なし	なし					
LG_ZOOM	LG	なし	あり	あり	あり	なし	なし	あり
		なし	なし					
LPT_A100L	LG	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし
		なし	なし					
PELCO_D	PELCO	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
		あり	なし					
PELCO_P	PELCO	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
		あり	なし					
GANZ_DSCP	CBC	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
		あり	あり					
GANZ_P360V1	CBC	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし
		あり	なし					
GE KALATEL_CYBERDOM	KALATEL	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし
		あり	なし					
PANASONIC_CS850	PANASONIC	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
		あり	なし					
BOSCH_AUTODOME	BOSCH	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし
		あり	あり					
SAMSUNG_SCC	SAMSUNG	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
		あり	なし					

タイムゾーン

タイムゾーン名	タイムゾーン略語	タイムゾーン	DST
エニウェトク、クワジャリン	EK	-12:00	
ミッドウェー、サモア	MIS	-11:00	
ハワイ	HAW	-10:00	
アラスカ	ALA	-09:00	-08:00
太平洋標準時（米国とカナダ）、ティファナ	PST	-08:00	-07:00
山地標準時（米国とカナダ）、チワワ、ラパス、マサトラン、アリゾナ	MST	-07:00	-06:00
中部標準時（米国+カナダ）、サスカチュワン、グアダラハラ、メキシコシティ、モンテレー、中央アメリカ	CST	-06:00	-05:00
東部標準時（米国+カナダ）、インディアナ（東部）、ボゴタ、リマ、キトー	EST	-05:00	-04:00
大西洋標準時（カナダ）、カラカス、ラパス、サンティアゴ	AST	-04:00	
ユーファンランド	NWF	-03:30	-02:30
ブラジル、ブエノスアイレス、ジョージタウン、グリーンランド	BBA	-03:00	
中部大西洋	MAT	-02:00	
アゾレス、カボヴェルデ諸島	AZO	-01:00	
グリニッチ標準時：ダブリン、エディンバラ、リスボン、ロンドン、カサブランカ、モンロヴィア	GMT	0	+01:00
アムステルダム、ベオグラード、ブラティスラヴァ、ブダペスト、リュブリャナ、ブラハ、サラエヴォ、スコプリエ、ワルシャワ、ザグレブ、ブラッセル、コペンハーゲン、マドリッド、パリ、ベルリン、ローマ、ストックホルム、ウィーン、西中央アフリカ	AMS	+01:00	+02:00
アテネ、イスタンブール、ミンスク	AIM	+02:00	+03:00
ブカレスト、カイロ、プレトリア、エルサレム、ハラレ、プレトリア	BCP	+02:00	+03:00
ヘルシンキ、リガ、イスラエル、キエフ、ソフィア、タリン、ヴィリニウス	HRI	+02:00	+03:00
バグダッド、クウェート、リヤド、ナイロビ	BKR	+03:00	+04:00
モスクワ、サンクトペテルブルグ、ヴォルゴグラード	MSV	+03:00	+04:00
テヘラン	THE	+03:30	+04:30
アビダビ、マスカット、バクー、トビリシ、エレヴァン	ABT	+04:00	
カブール	KAB	+04:30	
エカチェリンブルグ、イスラマバード、カラチ、タシケント	EIK	+05:00	
ボンベイ、カルカッタ、マドラス、ニューデリー、チェンナイ、コルカタ	BCD	+05:30	
アルマトゥイ、ダッカ、コロンボ、アスタナ、スリジャヤワルデナプラ、ノヴォシビルスク	ADC	+06:00	
バンコック、ハノイ、ジャカルタ、クラスノヤルスク	BHJ	+07:00	
北京、長清、香港、ウルムチ	BHU	+08:00	
パース、シンガポール、台北、北京、重慶、香港特別自治区、ウルムチ、クアラルンプール、イルクーツク、ウランバートル	SST	+08:00	
大阪、札幌、東京	OST	+09:00	
ソウル、ヤクーツク	SYA	+09:00	
アデレード、ダーウィン	ADA	+09:30	
ブリスベーン、グアム、ポートモレスビー	BGP	+10:00	
キャンベラ、メルボルン、シドニー	CMS	+10:00	
ホーバート、ウラジオストク	HVL	+10:00	
マガダン、ソロモン諸島、ニューカレドニア	MSN	+11:00	+12:00
オークランド、ウエリントン	AWE	+12:00	
フィジー諸島、カムチャッカ、マーシャル諸島	FKM	+12:00	

工場初期構成の設定

第1レベル	第2レベル	第3レベル	初期設定	工場出荷時の設定
システム	特性	DVR名	空欄	あり
		言語	オプションは機種によって異なります。	あり
		ボタン音	オフ	あり
		映像信号方式	NTSC または PAL	なし
		設定インポート	-	-
		設定エクスポート	-	-
		工場出荷初期設定	-	-
	ネットワーク	DHCP	オン	あり
		IPアドレス	空欄	あり
		サブネット マスク	空欄	あり
		ゲートウェイ	空欄	あり
		メインDNS	空欄	あり
		サブDNS	空欄	あり
		TCP/IPポート	9001	あり
		ウェブ サーバー ポート	80	あり
		音声 ポート	9003	あり
		帯域幅スロットル	100 Mbps	あり
	ネットワークストリーミング	Ch	-	-
		解像度	352X240 (NTSC)/352X288 (PAL)	あり
		画質	標準	あり
		フレーム レート	15 (NTSC)/12.5 (PAL)	あり
	ダイナミックDNS	DDNSサービス	オフ	あり
		ホスト名	空欄	あり
		登録済みホスト	空欄	あり
		アップデート	-	-

	日付/時間	日付	(2010.01.01)	なし
		時間	現在時間	なし
		日時表示形式	年 / 月 / 日	あり
		時間表示方式	24HR	あり
		タイムゾーン	オプションは機種によって異なります。	なし
		サマータイム	オフ	なし
		サマータイム開始	1月, 1番目, 日, 00	なし
		サマータイム終了	1月, 1番目, 日, 00	なし
	NTP	NTP	オフ	あり
		サーバー	パブリックサーバー	あり
		プライベート タイム サーバー	空欄	あり
		NTP同期間隔	1日	あり
		NTPテスト	-	-
	コントローラ	IRリモートID	1	あり
		リモコンID	なし	あり
	アップデート	デバイス	-	あり
		サーチ	-	-
		No	-	-
		ファイル名	空欄	-
		アップデート	-	-
	バックアップ	パーティション選択	オール	あり
		スケジュール	オフ	あり
		デバイス	-	あり
		スケジュール開始	日, 00, 00	あり
		時間範囲 日付	現在の日付	あり
		時間範囲 開始	日, 00, 00	あり
		時間範囲 終了	日, 00, 00	あり
		サイズ推定	-	-
		バックアップスタート	-	-
		メディア消去	-	-
デバイス	カメラ	Ch	-	-
		名称	CH 01 で CH 16, IP 01, IP 02	あり
		音声	01 で 04, なし	あり

	PTZ	チャンネル	CH 01	あり
		ポート	なし	あり
		コントロールID	00	あり
		プロトコル	LG_MULTIX	あり
		ボーレート	9600	あり
		PTZテスト	-	-
	IP カメラ	チャンネル	IP 01	-
		メーカー名	なし	あり
		モデル名	空欄	あり
		ホスト名	空欄	あり
		ユーザー名	空欄	あり
		パスワード	空欄	あり
		ポート	554	あり
		Test	-	-
	ATM/POS	インターフェース機器	なし	あり
		カメラ	CH 01	あり
		ボーレート	9600	あり
		データビット	8	あり
		ストップビット	1	あり
		パリティ	なし	あり
	ストレージ	上書き	オール	あり
		フルワーニング	オフ	あり
		自動削除	オフ	あり
		イベントパーティション	50%	なし
		フォーマット	-	-
ディスプレイ	スクリーン表示	チャンネル名	オン	あり
		チャンネルステータス	オン	あり
	シーケンス	メイン表示時間	2 秒	あり
		スポット表示時間	2 秒	あり
	チャンネル構成	Ch	-	-
		名称	CH 01 ~ CH 16	あり
	映像調整	チャンネル	CH 01	-
		明るさ	50	あり
		コントラスト	50	あり
		カラー	50	あり

録画	スケジュール	日	S+M	あり
		月	S+M	あり
		火	S+M	あり
		水	S+M	あり
		木	S+M	あり
		金	S+M	あり
		土	S+M	あり
		特別設定日	S+M	あり
		リスト	-	-
		追加	-	-
		Chのコピー	-	-
		日付のコピー	-	-
	ノーマル	Ch	-	-
		解像度	352X240 (NTSC)/352X288 (PAL)	あり
		画質	標準	あり
		フレーム レート	30 (NTSC)/25 (PAL)	あり
	センサー	Ch	-	-
		解像度	352X240 (NTSC)/352X288 (PAL)	あり
		画質	標準	あり
		フレーム レート	30 (NTSC)/25 (PAL)	あり
		プリ	オフ	あり
		ポスト	10秒	あり
	モーション	Ch	-	-
		解像度	352X240 (NTSC)/352X288 (PAL)	あり
		画質	標準	あり
		フレーム レート	30 (NTSC)/25 (PAL)	あり
		プリ	オフ	あり
		ポスト	10秒	あり
	テキスト	Ch	-	-
		解像度	352X240 (NTSC)/352X288 (PAL)	あり
		画質	標準	あり
		フレーム レート	30 (NTSC)/25 (PAL)	あり
		プリ	オフ	あり
		ポスト	10秒	あり

	インスタント/パニック	Ch	-	-
		解像度	352X240 (NTSC)/352X288 (PAL)	あり
		画質	標準	あり
		フレーム レート	30 (NTSC)/25 (PAL)	あり
	IP カメラ	Ch	-	-
		解像度	352X240 (NTSC)/352X288 (PAL)	あり
		画質	標準	あり
		フレーム レート	30 (NTSC)/25 (PAL)	あり
イベント	センサー	入力	-	あり
		センサー タイプ	N.O.	あり
		カメラ	01 で 16	あり
		出力	なし	あり
		事前調整	なし	あり
	モーション	チャンネル	CH 01	あり
		感度	05	あり
		リレー出力	なし	あり
		エリア	オールセレクト	-
	ATM/POSデータフォーマット	入力チャンネル	CH 01	あり
		処理開始	空欄	あり
		処理終了	空欄	あり
		デリミタ	戻る	あり
		無視文字列	空欄	あり
		タイムアウト	10 分	あり
		リレー出力	なし	あり
	イベント ポップアップ	スポット モニター	オフ	あり
	通知	センサー オン	オフ	あり
		モーション検出	オフ	あり
		テキスト入力	オフ	あり
		Admin/パスワードの変更	オフ	あり
		ビデオ ロス	オフ	あり
		電源オン/オフ	オフ	あり
		ディスク フル	オフ	あり

	メール	通知	オフ	あり
		SMTPサーバー	空欄	あり
		SMTPポート	25	あり
		ユーザー名	空欄	あり
		パスワード	空欄	あり
		TLS	オフ	あり
		メールアドレス 1	空欄	あり
		メールアドレス 2	空欄	あり
		メールアドレス 3	空欄	あり
		Eメール テスト	-	-
	緊急通報	通知	オフ	あり
		ホスト名	空欄	あり
		ポート	9002	あり
	出力	リレー オフ	アラーム確認	あり
		システム アラーム出力	なし	あり
	ブザー	センサー ブザー	オフ	あり
		モーション ブザー	オフ	あり
		テキスト	オフ	あり
		システム ブザー	オフ	あり
ユーザー	グループ権限	グループID	GUEST	あり
		グループ名	GUEST	あり
		設定	オフ	あり
		サーチ/再生	オフ	あり
		エクスポート	オフ	あり
		PTZ	オフ	あり
		電源オフ	オフ	あり
		インスタント録画	オフ	あり
		メイン チャンネル	すべて有効	あり
		スポット チャンネル	すべて有効	あり
	ユーザー	ユーザID	ADMINISTRATOR	あり
		ユーザー名	ADMINISTRATOR	あり
		グループ	空欄	あり
		パスワード	"000000"	あり
		自動ユーザ ログアウト	オフ	あり

録画タイム・テーブル(250GB HDD)

解像度 (NTSC/PAL)	品質	FPS (NTSC/PAL)	録画時間 (Hr)			
			映像(NTSC/PAL)		映像+音声(NTSC/PAL)	
			8ch	16ch	8ch	16ch
352x240 / 352x288	ロング	30/25	1022/800	838/683	511/400	461/368
		15/12.5	1188/1142	947/917	594/571	527/509
		10/8	1508/1416	1139/1086	754/708	649/615
		7.5/6	1573/1588	1176/1185	787/794	673/679
		5/5	2095/1658	1445/1223	1047/829	855/704
		3/3	2441/2023	1602/1411	1220/1011	967/831
		1/1	3182/2677	1891/1700	1591/1338	1186/1040
	ロー	30/25	765/574	657/511	383/287	354/270
		15/12.5	996/779	820/668	498/390	450/360
		10/8	1162/963	930/798	581/481	517/436
		7.5/6	1220/1098	967/889	610/549	539/491
		5/5	1342/1130	1042/910	671/565	587/504
		3/3	1408/1160	1082/929	704/580	612/516
		1/1	1765/1493	1280/1131	882/746	742/643
	標準	30/25	668/497	584/449	334/249	312/236
		15/12.5	881/671	741/587	441/336	403/313
		10/8	975/805	806/686	487/402	441/370
		7.5/6	1033/939	846/782	517/470	465/427
		5/5	1178/950	940/789	589/475	523/431
		3/3	1331/1114	1035/899	666/557	582/497
		1/1	1605/1370	1194/1059	802/685	685/597
	ハイ	30/25	541/411	485/378	271/206	256/197
		15/12.5	686/542	598/486	343/271	319/256
		10/8	794/671	678/587	397/336	366/313
		7.5/6	819/770	696/661	409/385	376/356
		5/5	994/787	819/673	497/393	449/363
		3/3	1032/802	845/684	516/401	464/369
		1/1	1166/990	933/816	583/495	518/447
	最高	30/25	511/342	461/318	256/171	242/165
		15/12.5	618/471	545/428	309/236	290/224
		10/8	692/578	603/514	346/289	322/272
		7.5/6	736/681	636/594	368/341	341/317
		5/5	859/721	726/624	430/360	393/334
		3/3	998/823	822/700	499/412	451/378
		1/1	1247/1064	984/866	624/532	550/477

704x240 / 704x288	ロング	30/25	563/425	502/389	281/212	265/203
		15/12.5	764/602	657/533	382/301	353/283
		10/8	899/771	753/661	449/385	410/356
		7.5/6	949/888	788/746	474/444	431/405
		5/5	1175/925	938/772	587/463	522/421
		3/3	1235/980	976/810	617/490	545/443
		1/1	1553/1337	1165/1039	777/669	666/585
	ロー	30/25	469/330	426/308	235/165	223/159
		15/12.5	625/465	551/423	312/233	293/222
		10/8	724/577	627/513	362/288	336/272
		7.5/6	774/695	664/605	387/348	357/323
		5/5	924/713	771/619	462/357	420/331
		3/3	1065/853	867/721	533/427	478/391
		1/1	1347/1152	1045/924	673/576	588/513
	標準	30/25	369/251	342/238	185/125	178/122
		15/12.5	479/343	435/319	240/171	228/165
		10/8	544/437	487/399	272/218	257/209
		7.5/6	571/514	509/463	286/257	269/244
		5/5	666/530	583/476	333/265	311/251
		3/3	731/537	632/481	365/268	339/254
		1/1	843/697	714/606	422/348	387/324
	ハイ	30/25	293/222	276/212	147/111	142/109
		15/12.5	398/312	366/292	199/156	191/151
		10/8	457/391	416/361	228/196	218/188
		7.5/6	496/472	448/429	248/236	235/225
		5/5	567/492	505/445	283/246	267/234
		3/3	691/569	602/507	345/285	322/268
		1/1	828/752	703/647	414/376	380/348
	最高	30/25	254/192	241/185	127/96	124/94
		15/12.5	340/266	317/252	170/133	164/129
		10/8	386/334	357/312	193/167	186/161
		7.5/6	418/398	384/367	209/199	200/191
		5/5	489/401	442/370	244/201	232/192
		3/3	507/406	458/374	254/203	241/195
		1/1	630/545	555/488	315/273	295/258

704x480 / 704x576	ロング	30/25	302/236	284/224	151/118	146/115
		15/12.5	430/337	394/315	215/169	206/163
		10/8	470/435	427/398	235/217	224/208
		7.5/6	573/516	511/465	287/258	270/245
		5/5	712/536	618/481	356/268	331/254
		3/3	876/683	738/596	438/342	401/318
		1/1	1250/999	986/823	625/500	551/451
	ロー	30/25	236/169	225/163	118/84	115/83
		15/12.5	322/237	301/225	161/118	156/115
		10/8	381/307	352/288	191/153	183/149
		7.5/6	412/368	378/341	206/184	197/177
		5/5	500/372	451/345	250/186	237/179
		3/3	516/404	465/372	258/202	245/194
		1/1	682/559	595/499	341/280	318/264
	標準	30/25	198/138	190/134	99/69	97/68
		15/12.5	272/194	257/186	136/97	132/95
		10/8	317/253	297/240	159/127	154/123
		7.5/6	351/304	327/286	176/152	169/147
		5/5	418/317	383/297	209/159	200/153
		3/3	503/365	454/339	252/183	239/176
		1/1	663/552	581/494	332/276	310/261
	ハイ	30/25	160/113	155/110	80/57	79/56
		15/12.5	217/160	207/154	108/80	106/78
		10/8	255/207	242/198	127/103	124/101
		7.5/6	277/249	261/237	138/125	134/121
		5/5	322/265	301/251	161/133	156/129
		3/3	339/315	316/295	170/158	164/153
		1/1	445/377	406/349	223/189	212/181
	最高	30/25	139/104	135/102	69/52	68/51
		15/12.5	200/150	192/145	100/75	98/74
		10/8	236/196	224/188	118/98	115/96
		7.5/6	266/237	252/226	133/119	130/116
		5/5	312/242	292/230	156/121	151/118
		3/3	318/306	297/287	159/153	154/148
		1/1	422/371	387/343	211/185	202/178

仕様

モデル			LE5008 シリーズ	LE5016 シリーズ
			LE4008 シリーズ	LE4016 シリーズ
映像	入力		8	16
	出力	ループスルー	8	16
		コンポジット	1	1
		VGA	1	1
		スポット	1	1
音声	入力		2	4
	出力		2	2
アラーム	入力		8	16
	出力		2	4
	プリアラーム録画		最大60秒	
録画	フレームレート (/秒)	NTSC	最大240 IPS @ 704x480	最大480 IPS @ 704x480
			最大240 IPS @ 352x240	最大480 IPS @ 352x240
		PAL	最大200 IPS @ 704x576	最大400 IPS @ 704x576
			最大200 IPS @ 352x288	最大400 IPS @ 352x288
検索	再生機能		FF、FB、フレーム前進 始点へ、終点へ	
	検索モード		日付/時間, カレンダー, イベント (モーション ブザー, アラーム), ブックマーク, テキスト	
ディスプレイ	フレームレート (/秒)	NTSC	240 IPS (リアルタイム/チャンネル)	480 IPS (リアルタイム/チャンネル)
		PAL	200 IPS (リアルタイム/チャンネル)	400 IPS (リアルタイム/チャンネル)
	分割モード		1, 4, 9, 1+5, 1+7	1, 4, 9, 16, 1+5, 1+7
ストレージ	内蔵 HDD	最大容量	4TB (HDD 4 台まで)	
	外付け HDD	インターフェース型	E-SATA	
		最大容量	制限なし	
バックアップ	バックアップ・インターフェース		USB 2.0 (x3), E-SATA, ネットワーク	
	サポート可能デバイス		メモリ・スティック, CD-RW, DVD-RW, 外付け HDD	
シリアルI/F	PTZ制御インターフェース		RS-485 (x2)	
	シリアル・インターフェース		RS-232C (D-SUB9) (x2)	
ネットワーク	ネットワーク接続		イーサネット 10/100/1000 Mbps (RJ-45)	
	ネットワーク伝送速度		最大240 IPS	
	バンド幅制御		あり	
セキュリティ	パスワード保護		あり	
	イメージ鑑定		あり	

電源	AC Free 100~240 V, 50/60 Hz	
消費電力	最大消費電力 80 W (HDD 4 台搭載時)	
寸法(幅x奥行x高)	430 mm x 430 mm x 96 mm	
重量(HDD除く)	6.85 kg	6.97 kg
動作温度/湿度	0℃ で 40 ℃ / 0 %RH で 80 %RH	

機種名	LE5016/LE5008/LE4016/LE4008
お買い上げ年月日	年 月 日
販売店名	

- ◆ 保証期間：機器保証期間は1年間です。
- ◆ 修理・アフターサービスのご相談は、お買い上げ販売店までお問合せ下さい。

G-NET CORPORATION